

パーソナル オーディオシステム

取扱説明書・保証書

準備する

聞く

録音する

設定メニュー

その他

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書と別冊の「BLUETOOTH®接続ガイド」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。





安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

3～6ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

機器を本箱や組み立て式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源ボタンを押して電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。

電池は、直射日光、火などの過度な熱にさらさないでください。

付属の電源コードセットは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

機銘板は本機の底面に表示されています。

USB端子の出力電圧／電流は、DC 5V 500mA (最大)です。本機の底面の機銘板に右のとおり記載されています。

USB DC 5V ≡ 500mA

ご注意

この装置に対し光学機器を使用すると、目の危険を増やすことになります。

レーザーの仕様

- 放射時間：連続
- レーザー出力：44.6 μ W 未満

この出力値は、7mmの開口部にて光学ピックアップブロックの対物レンズ面より200mmの距離で測定したものです。



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない

本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない。内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニー相談窓口にご依頼ください。



禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナを縮めて使用を中止し、その後は触れないでください。



接触禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。



禁止

海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



指示



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

またロッドアンテナ付きの製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、アンテナを縮めてください。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も十分に確認してください。



禁止

幼児の手の届かない場所に置く

CDぶたなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



禁止

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する

異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。



指示

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

本製品では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池

単2形アルカリ電池(本体用)

単3形アルカリ電池またはマンガン電池(時計用)

単4形アルカリ電池またはマンガン電池(リモコン用)

危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービスステーションにご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

警告

- 小さい電池は飲みこむおそれがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲みこんだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 乾電池は、機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。ショートさせない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。
- 長期間使用しないときは電池を取りはずす。
- 水などでぬらさない。風呂場などの湿気の多いところでは使わない。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

目次

安全のために	2
この取扱説明書の使いかた	8

準備する

準備1：付属品を確かめる	9
準備2：リモコンを準備する	9
準備3：時計用電源を準備する	9
準備4：本体用電源を準備する	10
準備5：地域を設定する(初期設定)	12
準備6：時計を合わせる(初期設定)	13

聞く

CDを聞く	15
データCD (MP3/WMAディスク)の フォルダや曲を選んで聞く	19
USB機器の音楽を聞く	20
フォルダや曲を選んで聞く	24
SDカードの音楽を聞く	25
フォルダや曲を選んで聞く	28
いろいろな再生方法で音楽を聞く	29
繰り返し聞く(リピート再生)	29
順不同に聞く(シャッフル再生)	30
選んだフォルダ内の曲だけを聞く (フォルダ中再生)	31
聞きたい曲を好きな順に聞く (プログラム再生)	31
語学学習に便利な機能を使う	34
再生位置を進める/戻す (イージーサーチ機能)	34
再生速度を変更する (デジタルピッチコントロール機能)	34
必要な部分だけ繰り返し聞く (A-Bリピート機能)	35
BLUETOOTH機器の音楽を聞く	36
ペアリングする	36
音楽を聞く	40

ラジオを聞く	42
受信状態をよくする	43
放送周波数を選んで聞く (マニュアル選局)	45
ラジオ放送局を自動で登録する (ラジオ局自動登録)	46
「お気に入りラジオ局」ボタンに 登録する	47
「お気に入りラジオ局」ボタンに 登録した放送局を聞く	47
ワイドFMを聞く	48
外部機器をつないで聞く	48
ヘッドホンをつないで聞く	49
おやすみタイマーを使う	50
タイマーを使って目覚める (アラーム)	51

録音する

ウォークマン®、“ポケットビット” などのUSB機器やSDカードに 録音する	54
CDをUSB機器に録音する (シンクロ録音)	55
CDをSDカードに録音する (シンクロ録音)	58
ラジオをUSB機器に録音する	62
ラジオをSDカードに録音する	63
外部機器の音声をUSB機器に録音する	64
外部機器の音声をSDカードに録音する	65
ラジオの予約録音をする	66
予約時刻の制限について	69
録音した曲や音声を削除する	70
USB機器/SDカードのデータを 削除する	70
USB機器/SDカードのフォルダ (グループ)構成と録音データ について	71

この取扱説明書の使 いかた

設定メニュー

設定ボタンから設定する	74
共通設定	75
再生モードの設定	78
USB機器/SDカード使用時の設定	79
ラジオ受信時の設定	81
BLUETOOTH使用時の設定	83

その他

故障かな?と思ったら	84
使用上のご注意	91
主な仕様	92
再生できるディスクについて	94
本機で使用できる機器について	95
SDカードの使用について	96
再生できるファイルについて	98
BLUETOOTH機器について	99
BLUETOOTH無線技術について	100
各部のなまえ	102
保証書とアフターサービス	105
索引	106

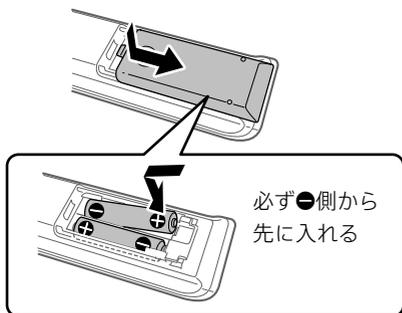
- 操作を始める前に「準備する」(9ページ)をご覧ください。接続などの準備を済ませてください。
- 本書では、本体のボタンを基本に操作を説明しています。特に記載がない場合は、本体とリモコンのどちらのボタンでも操作できます。どちらか一方のボタン操作に限定される場合は、「リモコンの+10ボタン」、「本体の電源ボタン」のように表記します。

準備1：付属品を確かめる

製品を箱から出したら、付属品(93ページ)がそろっているか確認してください。

準備2：リモコンを準備する

電池ぶたを開き、付属の単4形乾電池2本を⊕と⊖の向きを正しく入れてください。



ご注意

- 電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
 - 新しい電池と使った電池、または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
 - 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出してください。
 - 液漏れしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- リモコンでの操作が正常に動作するように、本機の設置場所を移動するなど、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにしてください。

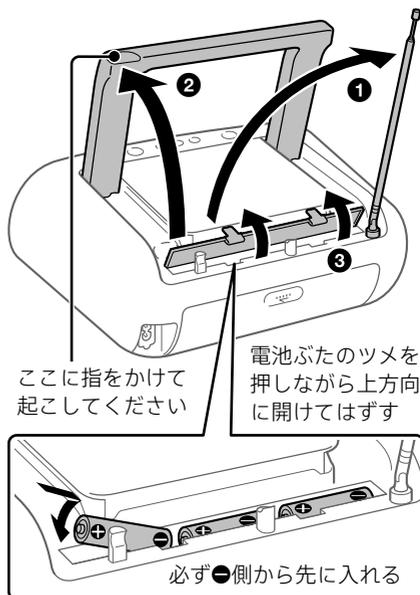
準備3：時計用電源を準備する

時計時刻保持用電池を入れる

停電時や電源コードが接続されていないときに時計や内蔵タイマーの設定内容を保つためには、時計時刻保持用電池として別売りの単3形乾電池3本を入れておく必要があります(以下、「時計用電池」と呼びます)。電源コードを抜くことがなければ、時計用電池を入れる必要はありませんが、本機を移動してお使いになるときなど、電池の入れ忘れや電池の消耗にご注意ください。

本機は時計用電池のみでは動作しません。必ず電源コードを接続するか、本体用電池(単2形乾電池6本)を入れてお使いください。時計も、電源コードを接続しているか、本体用電池を入れているときのみ表示されます。

FMアンテナ(①)とハンドル(②)を起こしてから電池ぶた(③)を開き、別売りの単3形乾電池3本を⊕と⊖の向きを正しく入れてください。



時計用電池の残量を確認するには
「時計用電池残量」(77ページ)をご覧ください。

💡 ちょっと一言

電池の交換時期は約6か月です。使いきった電池は取りはずし、3本とも新しい電池に交換してください。

⚠️ ご注意

電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

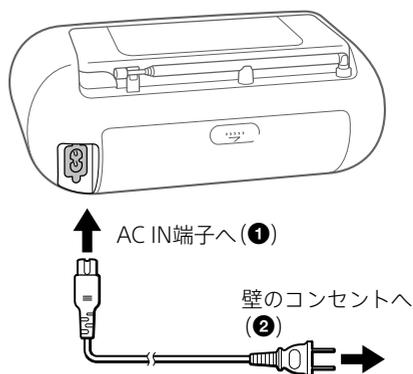
- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 新しい電池と使用した電池、または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- 長い間本機を使わないときは、電池を取り出してください。
- 本機では市販のニッケル水素電池などの充電電池は使用できません。
- 乾電池を出し入れするときは、本体やCD、USB機器、SDカードなどが傷つくのを防ぐために次のことを必ず守ってください。
 - CDを取り出す。
 - USB機器を取りはずす。
 - SDカードを抜く。
 - FMアンテナを元の位置に戻す。
- 乾電池を交換すると、時計はお買い上げ時の設定に戻ります。時計を合わせ直してください。

準備4：本体用電源を準備する

本機は家庭用電源、または乾電池(別売)のいずれかを選んでお使いになれます。

電源コードを接続する

本体のAC IN端子へ差し込んだあと(①)、壁のコンセントへ差し込んでください(②)。



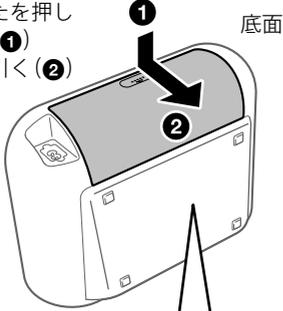
AC IN端子の奥に当たるまでしっかり差し込んでください。

乾電池で使用する

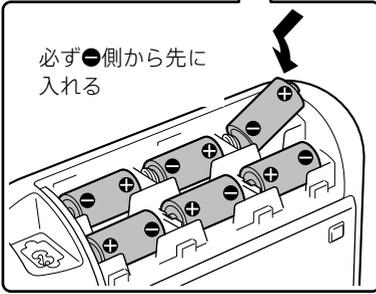
電池ぶたを開き、別売りの単2形アルカリ乾電池6本を⊕と⊖の向きを正しく入れてください。

乾電池でお使いになるときは、電源コードは抜いてください。

電池ぶたを押し
ながら①
手前に引く②

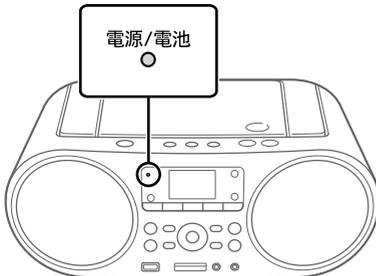


必ず⊖側から先に
入れる



乾電池の交換について

乾電池のみで使用中、乾電池が消耗してくると自動で電源が切れるようになります。このようなときは、すべて新しい電池に交換してください。



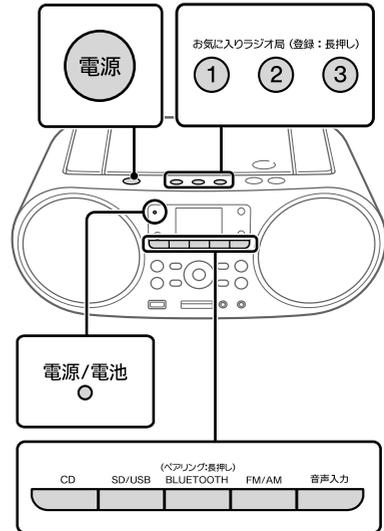
ご注意

買い置きしてある乾電池を入れたときに電源が入らない場合は、販売店で新しい電池を購入して交換してみてください。

電源について

電源を入れるには、電源ボタンを押すか、本体の機能ボタン(CD、SD/USB、BLUETOOTH、FM/AM、音声入力)またはお気に入りラジオ局ボタンを押してください(電源/電池ランプが点灯します)。機能ボタンまたはお気に入りラジオ局ボタンで電源を入れた場合には、電源が入ると同時に選んだ音源に切り換わります。

電源を切るときは、どちらの場合も電源ボタンを押してください(電源/電池ランプが消灯します)。



ご注意

乾電池でお使いの場合は、リモコンで電源を入れることはできません。

💡 ちょっと一言

電源コードを接続して本機をお使いのときは、リモコンの機能切換ボタンを押しても電源が入ります。音源は前回電源を切ったときのままです。

準備5：地域を設定する(初期設定)

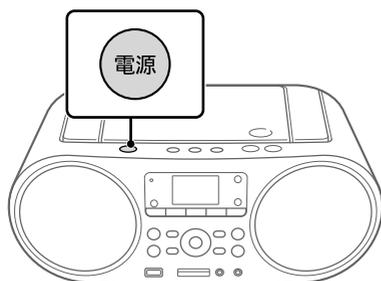
お買い上げのあと初めて電源コードを接続すると、表示窓に「電源を入れて初期設定してください」と表示され、電源を入れるとラジオの地域設定モードになります。

表示窓の画面の表示に従って地域を設定すると、地域に応じた放送局が登録されます。

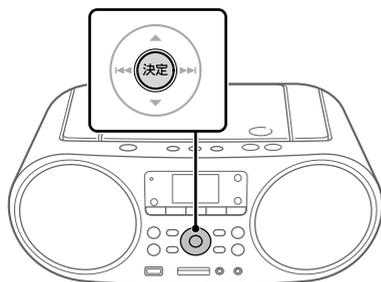
💡 ちょっと一言

地域設定を行うと、自動時刻補正機能(76ページ)がオンになります。

1 電源ボタンを押す。

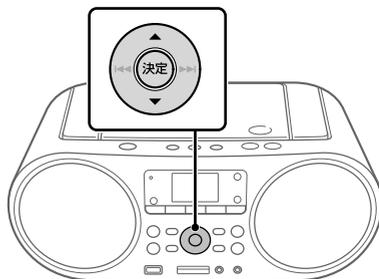


2 決定ボタンを押して次に進む。



お住まいの地域の
ラジオ局を
登録します
次へ

3 本体の▲▼ボタンでお住まいの地方を選び、決定ボタンを押す。



地域設定
◆ 地域設定なし
北海道
東北地方

「地域設定なし」を選ぶと、放送局は登録されず、自動時刻補正(76ページ)も働きません。

4 本体の▲▼ボタンでお住まいの地域を選び、決定ボタンを押す。

北海道
札幌
函館
旭川

5 決定ボタンを押して登録を完了する。

地域設定
放送局の登録が
変更されます
OK

設定が保存されます。

「準備6：時計を合わせる(初期設定)」
(13ページ)へ進んでください。

設定できる地域について

地域設定では次の54地域から選べます。

地方	地域			
北海道	札幌	函館	旭川	帯広
	釧路	北見	室蘭	
東北地方	青森	岩手	宮城	秋田
	山形	福島		
関東地方	茨城	栃木	群馬	埼玉
	千葉	東京	神奈川	
中部地方	新潟	富山	石川	福井
	山梨	長野	岐阜	静岡
	愛知	三重		
近畿地方	滋賀	京都	大阪	兵庫
	奈良	和歌山		
中国地方	鳥取	島根	岡山	広島
	山口			
四国地方	徳島	香川	愛媛	高知
九州・沖縄地方	福岡	北九州	佐賀	長崎
	熊本	大分	宮崎	鹿児島
	沖縄			

地域設定をやり直すには

「地域設定」(81ページ)をご覧ください。

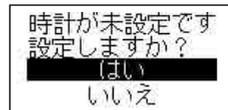
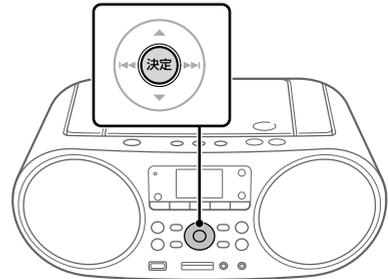
電源コードを抜いても、設定した地域は保持されません。

準備6：時計を合わせる(初期設定)

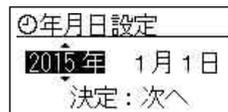
お買い上げのあと初めて電源コードを接続したときは、地域設定モードに続いて日付と時刻の設定モードになります。

- 時計を合わせる前に、本機に時計用電池を入れてください(9ページ)。
- 自動時刻補正機能(76ページ)を有効にするには、現在時刻との差が3分以内になるように時計を合わせてください。

1 「はい」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



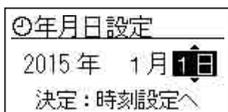
2 本体の▲▼ボタンで設定したい「年」を選び、決定ボタンを押す。



3 本体の▲▼ボタンで設定したい「月」を選び、決定ボタンを押す。



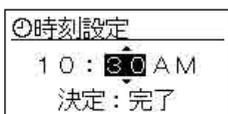
4 本体の▲▼ボタンで設定したい「日」を選び、決定ボタンを押して時刻設定に進む。



5 本体の▲▼ボタンで「時」を合わせ、決定ボタンを押す。



6 本体の▲▼ボタンで「分」を合わせ、決定ボタンを押して設定を完了する。



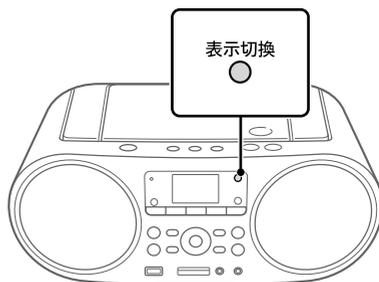
設定が保存されます。

💡 ちょっと一言

- 「年」「月」「日」や「時」「分」の選択をするときに▲▼ボタンを押したままにすると、指を離すまで連続して数値が変わります。
- 「年」「月」「日」や「時」の設定を決定ボタンを押したあとにやり直したいときは、◀◀ボタン(または本体の戻るボタン)を押すことで、一つ前の選択項目に戻ることができます。

現在日時を表示するには

電源が入っている状態で本体の表示切換ボタンを繰り返し押しすと、現在日時が表示されます。ただし、設定メニューと録音予約メニューの操作中には表示できません。



時計を合わせ直すには

設定メニューの「日付と時刻」(75ページ)から設定してください。

ご注意

- アラーム(51ページ)や予約録音機能(66ページ)を使うには、本機の時計を合わせておく必要があります。また、設定した日時は録音時のフォルダ・ファイル名などにも使用されるため、時計は正確に設定することをおすすめします。
- 次の場合、電源がオフの状態では、表示窓に「電源を入れて初期設定してください」と表示されます。
 - お買い上げ後に時計を合わせていない場合
 - 時計用電池を本体に入れていない状態(または電池が消耗した状態)で電源コードを抜いたり停電して、時計設定がリセットされた場合
- 次の場合、時計設定の画面は自動的に終了します。
 - 設定操作中に約3分間何も操作しない場合
 - CDぶたを開けた場合
 - 予約録音を開始した場合
 - アラームを開始した場合

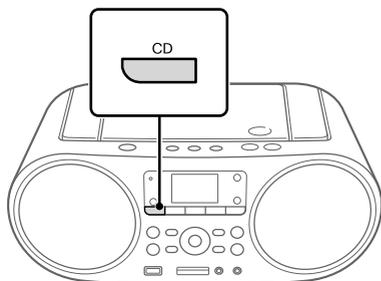
CDを聞く

あらかじめ、次の準備をしてください。

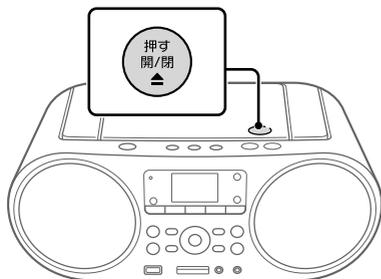
- 本体用電源を準備する(10ページ)。
- 再生可能なディスクのタイプとファイルフォーマットについて確認する。
詳しくは「再生できるディスクについて」(94ページ)、「再生できるファイルについて」(98ページ)をご覧ください。

1 本体のCDボタンを押す。

自動で電源が入ります。



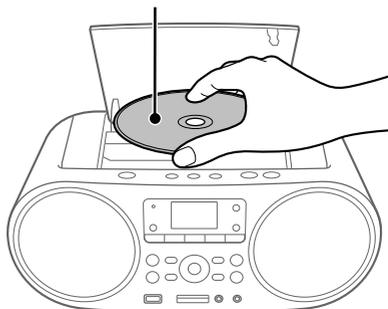
2 開/閉▲部を押してCDぶたを開ける。



3 ディスクをセットし、CDぶたを閉める。

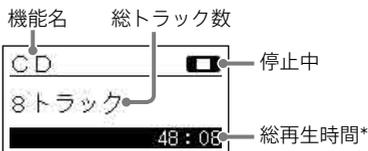
ディスクの中央部を押して回転部にしっかり装着し、開/閉▲部を押してCDぶたを閉めます。

文字のある面を上



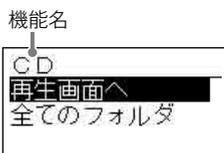
ディスクが読み込まれると、表示窓に停止画面が表示されます。

音楽CDの場合



* 全トラックを合算した時間。

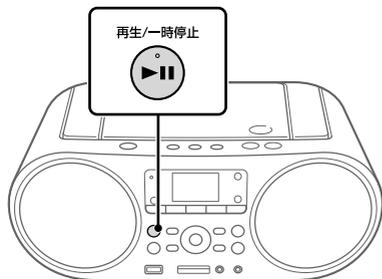
データCD (MP3/WMAディスク)の場合*



* USB機器、SDカードの再生の場合も機能名以外は同じ画面になります。

4 ▶|| (再生/一時停止)ボタンを押す。

再生が始まります。

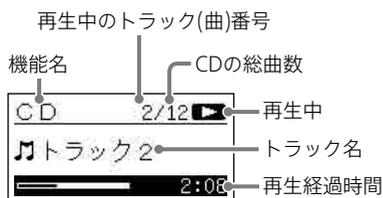


データCD (MP3/WMAディスク)の再生については、「データCD (MP3/WMAディスク)の再生の順番について」(19ページ)や「データCD (MP3/WMAディスク)のフォルダや曲を選んで聞く」(19ページ)もあわせてご覧ください。

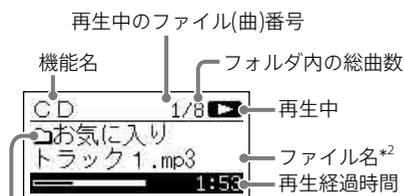
再生画面について

再生中は、現在再生している曲の情報が表示窓に表示されます。

音楽CDの場合



データCD (MP3/WMAディスク)の場合*1



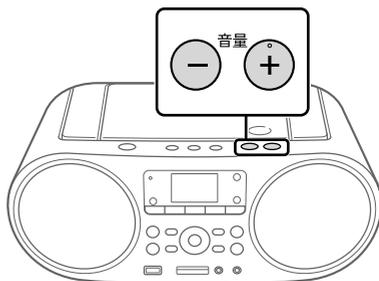
フォルダ(グループ)名*2

*1 USB機器、SDカードの再生の場合も機能名以外は同じ再生画面になります。

*2 再生中の曲に曲情報が登録されているときは、曲名やアルバム名などを確認することができます。詳しくは、「曲情報を表示するには(データCDのみ)」(18ページ)をご覧ください。

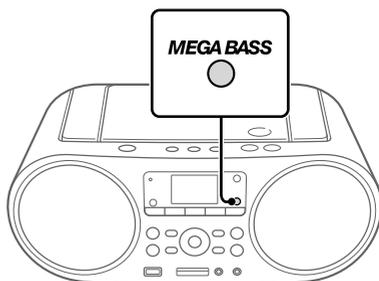
音量を調節するには

音量+または-ボタンを押す。
ボタンを押したままにすると、指を離すまで連続して音量が調節できます。
音量レベルは、「0」から「最大」の31段階で調節できます。



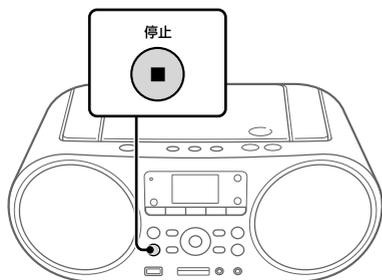
迫力のある重低音を楽しむには

本体のMEGA BASSボタンを押す。
表示窓に「MEGA BASS」と表示されます。音量を上げててもひずみにくく、また小音量時でも迫力のある低音が得られます。
MEGA BASSをオフにするには、本体のMEGA BASSボタンをもう一度押します。



再生をやめるには

- (停止) ボタンを押す。



再生中に■ (停止) ボタンを1回だけ押した場合は、リジューム停止状態となり、▶|| (再生/一時停止) ボタンを押すことで再生していた曲の続きから再生することができます(リジューム再生機能)。

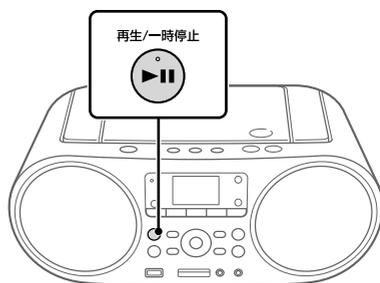
リジューム停止状態のときにもう一度■ (停止) ボタンを押すと完全停止状態となり、▶|| (再生/一時停止) ボタンを押すと最初の曲から再生します。

ご注意

- 停止した位置によっては、リジューム再生の始まりがずれることがあります。
- 以下の操作をすると、停止した位置の記録は消え、リジューム再生は無効になります。
 - CDぶたを開けたとき
 - 再生モード(29ページ)を「♻️」(シャッフル再生)、「PGM」(プログラム再生)または「🔁 PGM」(プログラムリピート再生)に変えたとき
 - 電源コードを抜いたとき
- 再生モードが「♻️」(シャッフル再生)、「PGM」(プログラム再生)または「🔁 PGM」(プログラムリピート再生)のときは、リジューム再生できません。

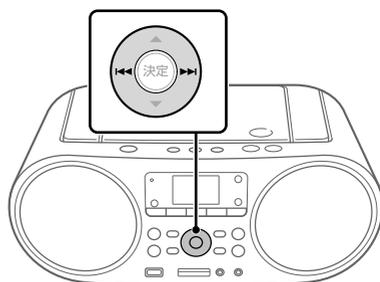
再生中に一時停止するには

- ▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す。もう一度押すと再生が始まります。



曲の頭に戻す/次の曲へ進むには

- ◀◀または▶▶ボタンを押す。

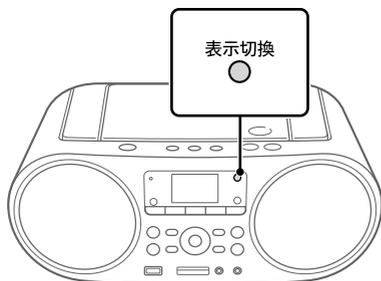


再生中に早戻し/早送りするには

- **早戻し**
再生中に◀◀ボタンを押したままにして、聞きたいところで指を離す。
- **早送り**
再生中に▶▶ボタンを押したままにして、聞きたいところで指を離す。

曲情報を表示するには(データCDのみ)

再生中または一時停止中に、本体の表示切換ボタンを押す。



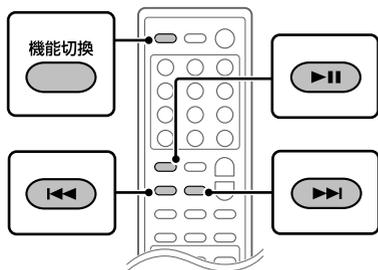
再生中のファイルに曲情報(曲名/アーティスト名/アルバム名)が登録されている場合は、曲情報を確認することができます。ファイルに曲情報が登録されていない場合は、曲名の代わりにファイル名が表示され、アーティスト名とアルバム名の代わりに「不明」と表示されます。

曲の再生順や繰り返しを選ぶには

「いろいろな再生方法で音楽を聞く」(29ページ)をご覧ください。

リモコンで再生するには

機能切換ボタンを繰り返し押しして「CD」を選び、▶▶ (再生/一時停止) ボタンを押す。◀◀▶▶ ボタンで曲戻し/曲送りができます。



曲番号を入力して曲を選ぶには(ダイレクト入力)

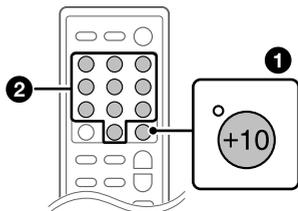
CDの曲番号を選択するとき、リモコンの数字ボタンを使って直接的に入力できます。

(例1) 20を入力する場合

+10ボタンを2回押してから、数字ボタンの0を押す。

(例2) 3を入力する場合

数字ボタンの3を押す。



1 番号が10以上のときは10の位の数だけ+10ボタン(1)を押す。

番号が9以下のときは押さずに手順2を行う。

2 1の位の数の数字ボタン(2)を押す。

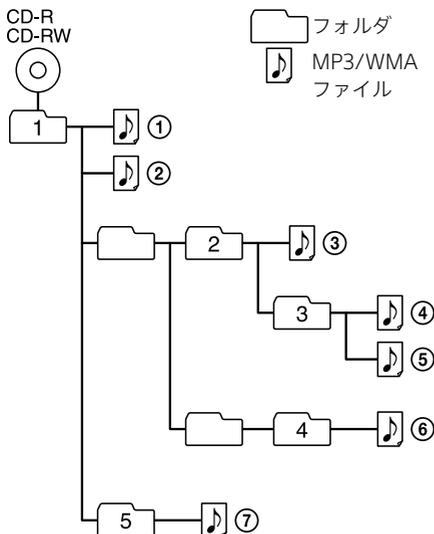
ディスクを取り出すには

開/閉▲部を押してCDぶたを開け、ディスクを取り出す。再生中の場合は、■ (停止) ボタンを押し、再生を止めてから取り出してください。

データCD (MP3/WMAディスク)の再生の順番について

MP3またはWMAフォーマットのファイル(曲)を記録したディスクでは、フォルダ*構成や書き込みの方法によって再生の順番が異なる場合があります。次の図のディスクの例では、①から⑦の順にファイルが再生されます。

* ファイルをグループ分けして格納する場所のことを「フォルダ」と呼びます。



(使用できる最大ディレクトリ階層：8階層)

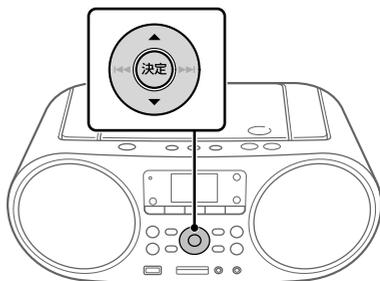
ご注意

- 本機が認識できるディスク上の最大フォルダ数は256、最大ファイル数は999です。この数を超える場合、本機では再生できません。
- ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては、再生が始まるまでに時間がかかったり、再生されない場合があります。
- データCD (MP3/WMAディスク)には、MP3/WMA以外のフォーマットのファイルや不要なフォルダを書き込まないでください。
- 本機が対応するオーディオファイルのフォーマットは次のとおりです。
 - MP3: 拡張子「.mp3」
 - WMA: 拡張子「.wma」上記に該当する拡張子をファイル名が持っても、フォーマットが異なっている場合は、本機では再生できない、または再生するときに不具合が生じる場合があります。

データCD (MP3/WMAディスク)のフォルダや曲を選んで聞く

聞きたいファイル(曲)や、ファイルが入っているフォルダ(グループ)を選んで、再生を始めることができます。

- 1 本体のCDボタンを押し、ディスクを入れる(15ページ)。
- 2 本体の▲▼ボタンを押しして「全てのフォルダ」を選び、決定ボタンを押す。



すべてのフォルダと、再生できるファイル(曲)が表示されます。

- 3 本体の▲▼ボタンを押ししてフォルダを選び、決定ボタンを押す。

上の階層を表示するには戻るボタンを押します。
- 4 再生を始める。

選んだフォルダの1曲目から再生を始める場合

▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す。

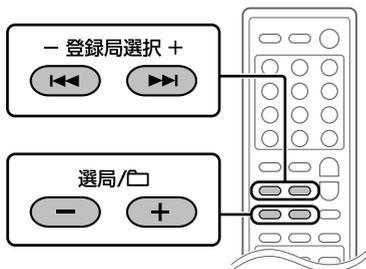
フォルダ内の曲を選んで再生を始める場合

▲▼ボタンを押しして曲を選び、決定ボタンを押す。

再生が始まります。

リモコンでフォルダや曲を選ぶには

- 曲戻し/曲送り
◀◀ボタン(曲戻し)または▶▶ボタン(曲送り)を押す。
- フォルダ選択
◻+ボタンまたは◻-ボタンを押す。



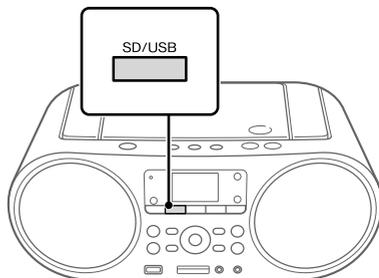
USB機器の音楽を聞 く

ウォークマン®や“ポケットビット” (ソニー製USBメモリー)などのUSB機器を本機につないで、USB機器に保存されている曲を本機で聞くことができます。

再生可能なUSB機器のタイプとファイルフォーマットについて詳しくは、「本機で使用できる機器について」(95ページ)、「再生できるファイルについて」(98ページ)をご覧ください。

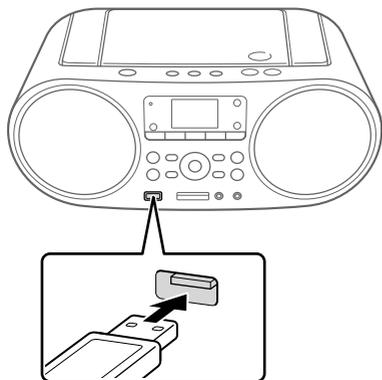
1 本体のSD/USBボタンを押し、「USB」を選ぶ。

自動で電源が入ります。
ボタンを押すたびに「SD」と「USB」が切り換わります。



2 USB端子にUSB機器を差し込む。

「読み込み中」と表示されます。表示窓に「読み込み中」が表示されている間は、USB機器を抜かないでください。

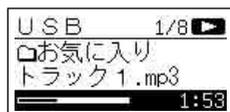
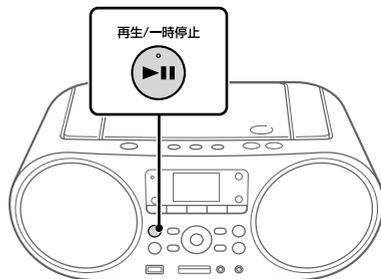


USB機器に記録されているファイル(曲)やフォルダ(グループ)の数によっては、読み込みに時間がかかる場合があります。USB機器が読み込まれると、表示窓に停止画面が表示されます。



3 ▶|| (再生/一時停止)ボタンを押す。

再生が始まります。



再生中の画面については詳しくは、「再生画面について」(16ページ)の「データCD (MP3/WMAディスク)の場合」をご覧ください。

音量を調節するには

音量+または-ボタンを押す(16ページ)。

迫力のある重低音を楽しむには

本体のMEGA BASSボタンを押す(16ページ)。

再生をやめるには

■ (停止) ボタンを押す(16ページ)。

再生中に■ (停止) ボタンを1回だけ押した場合は、リジューム停止状態となり、▶|| (再生/一時停止) ボタンを押すことで再生していた曲の続きから再生することができます(リジューム再生機能)。

リジューム停止状態のときにもう一度■ (停止) ボタンを押すと完全停止状態となり、▶|| (再生/一時停止) ボタンを押すと最初の曲から再生します。

ご注意

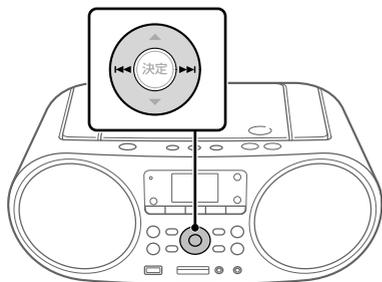
- 停止した位置によっては、リジューム再生の始まりがずれることがあります。
- 以下の操作をすると、停止した位置の記録は消え、リジューム再生は無効になります。
 - 再生モード(29ページ)を「♻️」(シャッフル再生)、「PGM」(プログラム再生)または「🔁 PGM」(プログラムリピート再生)に変えたとき
 - 電源コードを抜いたとき
 - USB機器を取り外したとき
 - 別のUSB機器に交換したとき
- 再生モードが「♻️」(シャッフル再生)、「PGM」(プログラム再生)または「🔁 PGM」(プログラムリピート再生)のときは、リジューム再生できません。

再生中に一時停止するには

▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す。もう一度押すと再生が始まります。

曲の頭に戻す/次の曲へ進むには

◀◀または▶▶ボタンを押す。



再生中に早戻し/早送りするには

• 早戻し

再生中に◀◀ボタンを押したままにして、聞きたいところで指を離す。

• 早送り

再生中に▶▶ボタンを押したままにして、聞きたいところで指を離す。

曲情報を表示するには

再生中または一時停止中に、本体の表示切換ボタンを押す(18ページ)。

再生中のファイルに曲情報(曲名/アーティスト名/アルバム名)が登録されている場合は、曲情報を確認することができます。ファイルに曲情報が登録されていない場合は、曲名の代わりにファイル名が表示され、アーティスト名とアルバム名の代わりに「不明」と表示されます。

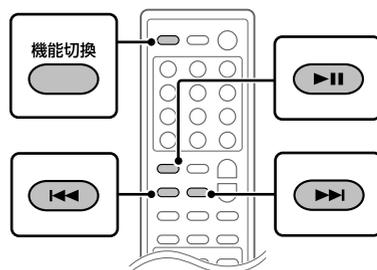
曲の再生順や繰り返しを選ぶには

「いろいろな再生方法で音楽を聞く」(29ページ)をご覧ください。

リモコンで再生するには

機能切換ボタンを繰り返し押しして「USB」を選び、▶||ボタンを押す。

再生画面(16ページ)が表示されているときは、◀◀▶▶ボタンで曲戻し/曲送りができます。

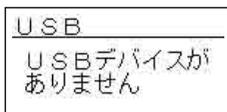


曲番号を入力して曲を選ぶには

「曲番号を入力して曲を選ぶには(ダイレクト入力)」(18ページ)をご覧ください。

USB機器を取り外すには

- 1 本体の■ (停止) ボタンを押したままにし、「USBデバイスがありません」が表示されたら指を離す。



- 2 CDボタンやFM/AMボタンなどを押してUSB以外の機能に切り換えるか、電源ボタンを押して電源を切る。
- 3 USB端子からUSB機器を抜く。

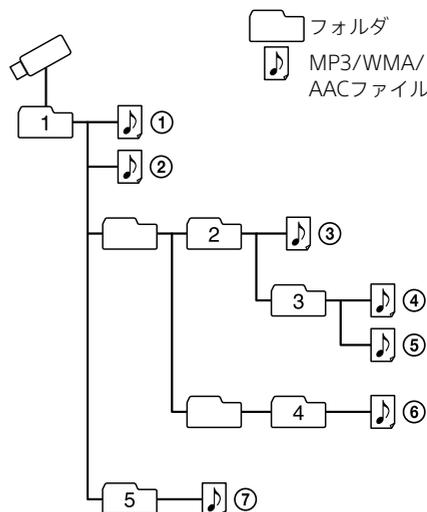
ご注意

- 表示窓に「読み込み中」が表示されている間は、USB機器を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- USB機器が認識されない場合は、USB機器を抜き、もう一度差し込み直してください。
- USB機器を抜くときは、必ず上記「USB機器を取り外すには」の手順に従ってください。この手順に従わずにUSB機器を抜くと、USB機器内のデータが破損したり、USB機器そのものが壊れるおそれがあります。

USB機器の再生の順番について

MP3、WMAまたはAACフォーマットのファイル(曲)を記録したUSB機器では、フォルダ*構成や書き込みの方法によって再生の順番が異なる場合があります。次の図のディスクの例では、①から⑦の順にファイルが再生されます。

* ファイルをグループ分けして格納する場所のことを「フォルダ」と呼びます。



(使用できる最大ディレクトリ階層：8階層)

ご注意

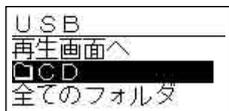
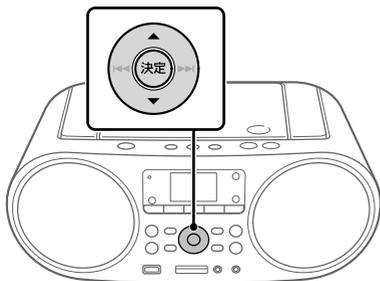
本機で録音した場合には、ファイルの再生の順番は録音順になります。ただし、すでに録音済みのファイルをUSB機器から削除したあとに録音すると、新たに録音されたファイルがその位置に入り、再生の順番が変わることがあります。また、パソコンでファイルの削除やコピー、あるいはファイル名の変更などをしたあとに再生すると、録音した順番とおりに再生できないことがあります。

フォルダや曲を選んで聞く

聞きたいファイル(曲)や、ファイルが入っているフォルダ(グループ)を選んで、再生を始めることができます。

1 本体のSD/USBボタンを押して「USB」を選び、USB機器を差し込む(20ページ)。

2 本体の▲▼ボタンを押してフォルダを選び、決定ボタンを押す。



本機で録音した場合は、音源を録音したときの機能名のフォルダ(「CD」、「FM」など)を選びます。本機の録音機能を使わずに、パソコンを使ってオーディオファイルをUSB機器にコピーした場合は、「全てのフォルダ」を選んで目的のフォルダ、曲を選択してください。

上の画面が表示されていないときは、■(停止)ボタンまたは本体の戻るボタンを繰り返し押して表示してください。

3 目的のフォルダまたは曲が表示されるまで手順2を繰り返す。

上の階層を表示するには戻るボタンを押します。

フォルダ構成について詳しくは「USB機器 / SDカードのフォルダ(グループ)構成と録音データについて」(71ページ)をご覧ください。

4 再生を始める。

選んだフォルダの1曲目から再生を始める場合

▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す。
再生が始まります。

フォルダ内の曲を選んで再生を始める場合

▲▼ボタンを押して曲を選び、決定ボタンを押す。
再生が始まります。

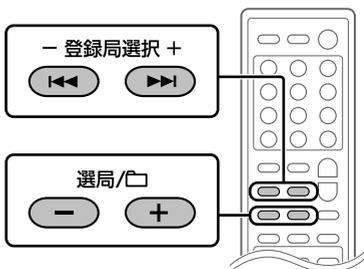
再生中にリモコンでフォルダや曲を選ぶには

• 曲戻し/曲送り

◀◀ ボタン(曲戻し)または▶▶ ボタン(曲送り)を押す。

• フォルダ選択

☐+ ボタンまたは☐- ボタンを押す。



💡 ちょっと一言

本体のボタンでもフォルダや曲を選ぶことができます。▲▼ボタン(☐+ ボタン)でフォルダを選択し、◀◀▶▶ボタンで曲を選びます。

SDカードの音楽を聞く

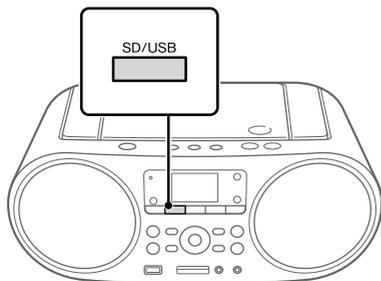
あらかじめ、次の準備をしてください。

- 本体用電源を準備する(10ページ)。
- 再生可能なSDカードのタイプとファイルフォーマットについて確認する。詳しくは「SDカードの使用について」(96ページ)、「再生できるファイルについて」(98ページ)をご覧ください。

1 本体のSD/USBボタンを押し、「SD」を選ぶ。

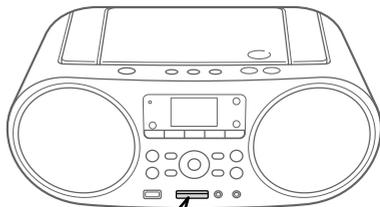
自動で電源が入ります。

ボタンを押すたびに「SD」と「USB」が切り換わります。



2 SDカードスロットにSDカードを入れる。

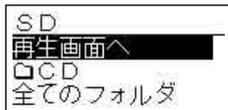
表示窓に「読み込み中」と表示されている間は、SDカードを抜かないでください。



SDカード

おもて面を上向きに、切り欠き部(A)を右にして、「カチッ」と音がするまで押し込む

SDカードに記録されているファイル(曲)やフォルダ(グループ)の数によっては、読み込みに時間がかかる場合があります。SDカードが読み込まれると、表示窓に停止画面が表示されます。

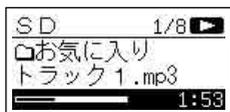
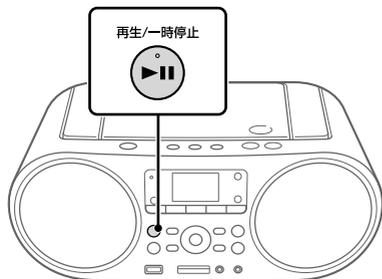


ご注意

microSDおよびmicroSDHCは、専用のSDカードアダプターに入れてから使用してください。詳しくは、「SDカードの使用について」(96ページ)をご覧ください。

3 ▶▶ (再生/一時停止)ボタンを押す。

再生が始まります。



再生中の画面については詳しくは、「再生画面について」(16ページ)の「データCD (MP3/WMAディスク)の場合」をご覧ください。

音量を調節するには

音量+または-ボタンを押す(16ページ)。

迫力のある重低音を楽しむには

本体のMEGA BASSボタンを押す(16ページ)。

再生をやめるには

■ (停止)ボタンを押す(16ページ)。

再生中に■ (停止)ボタンを1回だけ押した場合は、リジューム停止状態となり、▶▶ (再生/一時停止)ボタンを押すことで再生していた曲の続きから再生することができます(リジューム再生機能)。

リジューム停止状態のときにもう一度■ (停止)ボタンを押すと完全停止状態となり、▶▶ (再生/一時停止)ボタンを押すと最初の曲から再生します。

ご注意

- 停止した位置によっては、リジューム再生の始まりがずれることがあります。

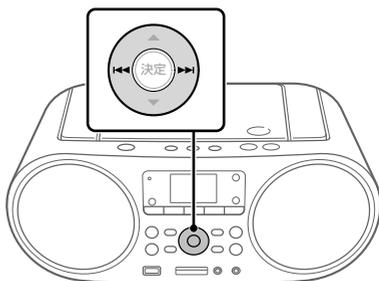
- 以下の操作をすると、停止した位置の記録は消え、リジューム再生は無効になります。
 - 再生モード(29ページ)を「♻️」(シャッフル再生)、「PGM」(プログラム再生)または「🔄 PGM」(プログラムリピート再生)に変えたとき
 - 電源コードを抜いたとき
 - SDカードを取り出したとき
 - 別のSDカードに交換したとき
- 再生モードが「♻️」(シャッフル再生)、「PGM」(プログラム再生)または「🔄 PGM」(プログラムリピート再生)のときは、リジューム再生できません。

再生中に一時停止するには

▶▶ (再生/一時停止)ボタンを押す。もう一度押すと再生が始まります。

曲の頭に戻す/次の曲へ進むには

◀◀または▶▶▶▶ボタンを押す。



再生中に早戻し/早送りするには

• 早戻し

再生中に◀◀ボタンを押したままにして、聞きたいところで指を離す。

• 早送り

再生中に▶▶▶▶ボタンを押したままにして、聞きたいところで指を離す。

曲情報を表示するには

再生中または一時停止中に、本体の表示切換ボタンを押す(18ページ)。

再生中のファイルに曲情報(曲名/アーティスト名/アルバム名)が登録されている場合は、曲情報を確認することができます。ファイルに曲情報が登録されていない場合は、曲名の代わりにファイル名が表示され、アーティスト名とアルバム名の代わりに「不明」と表示されます。

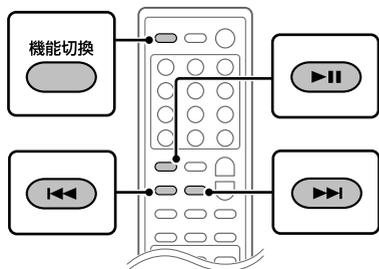
曲の再生順や繰り返しを選ぶには

「いろいろな再生方法で音楽を聞く」(29ページ)をご覧ください。

リモコンで再生するには

機能切換ボタンを繰り返し押して「SD」を選び、▶▶ボタンを押す。

再生画面(16ページ)が表示されているときは、◀◀▶▶ボタンで曲戻し/曲送りができます。

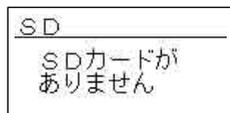


曲番号を入力して曲を選ぶには

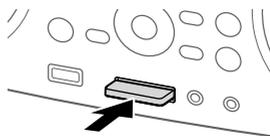
「曲番号を入力して曲を選ぶには(ダイレクト入力)」(18ページ)をご覧ください。

SDカードを取り出すには

- 1 本体の■(停止)ボタンを押したままにし、「SDカードがありません」が表示されたら指を離す。



- 2 カチッと音がするまでSDカードを奥へ軽く押し込み、ゆっくりと引抜く。



ご注意

- 表示窓に「読み込み中」が表示されている間は、SDカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- SDカードが認識されない場合は、SDカードを取り出し、もう一度入れ直してください。

SDカードの再生の順番について

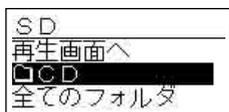
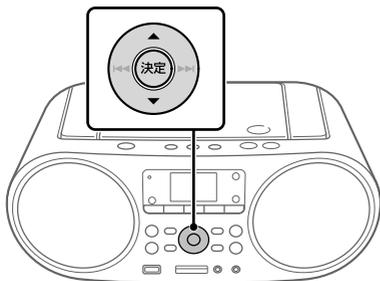
SDカードに録音された曲の再生の順番は、USB機器と同じように、フォルダ構成や書き込みの方法によって異なる場合があります。詳しくは「USB機器の再生の順番について」(23ページ)をご覧ください。

フォルダや曲を選んで聞く

聞きたいファイル(曲)や、ファイルが入っているフォルダ(グループ)を選んで、再生を始めることができます。

1 本体のSD/USBボタンを押して「SD」を選び、SDカードを入れる(25ページ)。

2 本体の▲▼ボタンを押してフォルダを選び、決定ボタンを押す。



本機で録音した場合は、音源を録音したときの機能名のフォルダ(「CD」、「FM」など)を選びます。本機の録音機能を使わずに、パソコンを使ってオーディオファイルをSDカードにコピーした場合は、「全てのフォルダ」を選んで目的のフォルダ、曲を選択してください。上の画面が表示されていないときは、■(停止)ボタンまたは本体の戻るボタンを繰り返し押して表示してください。

3 目的のフォルダまたは曲が表示されるまで手順2を繰り返す。

上の階層を表示するには戻るボタンを押します。

フォルダ構成について詳しくは「USB機器／SDカードのフォルダ(グループ)構成と録音データについて」(71ページ)をご覧ください。

4 再生を始める。

選んだフォルダの1曲目から再生を始める場合

▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す。

フォルダ内の曲を選んで再生を始める場合

▲▼ボタンを押して曲を選び、決定ボタンを押す。

再生が始まります。

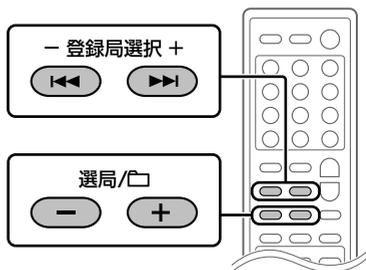
再生中にリモコンでフォルダや曲を選ぶには

• 曲戻し/曲送り

◀◀ ボタン(曲戻し)または▶▶ ボタン(曲送り)を押す。

• フォルダ選択

◻+ ボタンまたは◻- ボタンを押す。



💡 ちょっと一言

本体のボタンでもフォルダや曲を選ぶことができます。▲▼ボタン(◻+ボタン)でフォルダを選択し、◀◀▶▶ボタンで曲を選びます。

いろいろな再生方法 で音楽を聞く

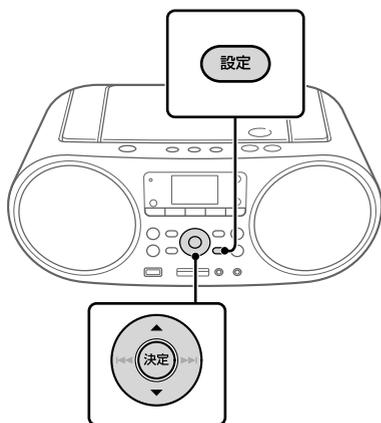
音楽CD、データCD、USB機器、SDカードの音楽を再生するとき、再生モードを設定することでいろいろな再生方法で曲を楽しむことができます。

「PGM プログラム再生」と「 PGM プログラムリピート」については、再生中、一時停止中は使用できません。これらモードをお使いの場合は、あらかじめ再生を停止してください。その他の再生モードについては、再生中、一時停止中、停止中のいずれの状態でも設定することができます。

繰り返し聞く(リピート再生)

CDやUSB機器、SDカードの1曲または全曲を繰り返して聞くことができます。

- 1 本体の設定ボタンを押してから、本体の▲▼ボタンを押して「再生モード」を選び、決定ボタンを押す。



- 2 本体の▲▼ボタンを押してリピート再生の種類を選び、決定ボタンを押す。



リピート再生は次の4種類あります。

- 1曲だけ繰り返す( 1 曲リピート)
- 全曲を繰り返す( 全曲リピート)
- 選んだフォルダ内の全曲を繰り返す( フォルダリピート)
- プログラム登録した曲を繰り返す( PGM プログラムリピート)

停止中または一時停止中に切り換えたときは、 (再生/一時停止)ボタンを押して再生を開始してください。



再生方法表示

1曲だけ繰り返すには

- 1 本体の設定ボタンを押してから、本体の▲▼ボタンを押して「再生モード」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 本体の▲▼ボタンを押して「 1 曲リピート」を選び、決定ボタンを押す。
停止中または一時停止中に切り換えたときは、 (再生/一時停止)ボタンを押して再生を開始してください。

全曲を繰り返すには

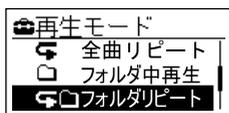
- 1 本体の設定ボタンを押してから、本体の▲▼ボタンを押して「再生モード」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 本体の▲▼ボタンを押して「全曲リピート」を選び、決定ボタンを押す。



停止中または一時停止中に切り換えたときは、▶|| (再生/一時停止) ボタンを押して再生を開始してください。

選んだフォルダ内の全曲を繰り返すには (MP3/WMAディスク、USB機器、SDカードのみ)

- 1 本体の設定ボタンを押してから、本体の▲▼ボタンを押して「再生モード」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 本体の▲▼ボタンを押して「フォルダリピート」を選び、決定ボタンを押す。
再生中に「フォルダリピート」に切り換えたときは、現在再生している曲を含むフォルダがフォルダリピート再生の対象となります。
別のフォルダを選びたいときは、■ (停止) ボタンを押して再生を停止してから、「データCD (MP3/WMAディスク) のフォルダや曲を選んで聞く」(19ページ) または「フォルダや曲を選んで聞く」(24ページ、28ページ) の手順に従ってフォルダを選択してください。
▶|| (再生/一時停止) ボタンを押すと、フォルダリピート再生が始まります。



リピート再生をやめるには

- 1 本体の設定ボタンを押してから、本体の▲▼ボタンを押して「再生モード」を選び、決定ボタンを押す。

- 2 本体の▲ボタンを押して「通常再生」を選び、決定ボタンを押す。



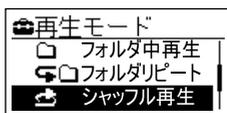
ご注意

CDぶたを開けたとき、USB機器またはSDカードを交換したとき、および本機の電源を入れ直したときは、再生モードが「通常再生」に戻ります。

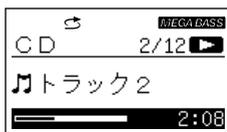
順不同に聞く (シャッフル再生)

CD、USB機器やSDカードに入っている全曲を順不同に聞くことができます。

- 1 本体の設定ボタンを押してから、本体の▲▼ボタンを押して「再生モード」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 本体の▲▼ボタンを押して「シャッフル再生」を選び、決定ボタンを押す。



停止中または一時停止中に切り換えたときは、▶|| (再生/一時停止) ボタンを押してください。



ご注意

- シャッフル再生中に◀◀ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。ひとつ前に再生された曲に戻ることはできません。
- CDぶたを開けたとき、USB機器またはSDカードを交換したとき、および本機の電源を入れ直したときは、再生モードが「通常再生」に戻ります。

シャッフル再生をやめるには

- 1 本体の設定ボタンを押してから本体の▲▼ボタンを押して「再生モード」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 本体の▲ボタンを押して「通常再生」を選び、決定ボタンを押す。

**選んだフォルダ内の曲だけを聞く
(フォルダ中再生)**

データCD (MP3/WMAディスク)とUSB機器とSDカードでは、選択中のフォルダ内の曲のみを再生することができます。

- 1 本体の設定ボタンを押してから、本体の▲▼ボタンを押して「再生モード」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 本体の▲▼ボタンを押して「 フォルダ中再生」を選び、決定ボタンを押す。



再生中に「フォルダ中再生」に切り換えたときは、現在再生している曲を含むフォルダが再生の対象となります。

別のフォルダを選びたいときは、■ (停止) ボタンを押して再生を停止してから、「データCD (MP3/WMAディスク)のフォルダや曲を選んで聞く」(19ページ)または「フォルダや曲を選んで聞く」(24ページ、28ページ)の手順に従ってフォルダを選択してください。▶|| (再生/一時停止) ボタンを押すと、選択したフォルダの最初の曲からフォルダ内の再生が始まります。

フォルダ中再生をやめるには

- 1 本体の設定ボタンを押してから本体の▲▼ボタンを押して「再生モード」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 本体の▲ボタンを押して「通常再生」を選び、決定ボタンを押す。

**聞きたい曲を好きな順に聞く
(プログラム再生)**

聞きたい曲を聞きたい順に25曲までプログラム登録することができます。

再生中と一時停止中は、曲のプログラム登録、他の再生モードからプログラム再生への切り換えができません。再生を停止してから操作を行ってください。

- 1 再生が停止していることを確認し、本体の設定ボタンを押してから、本体の▲▼ボタンを押して「再生モード」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 本体の▲▼ボタンを押して「PGM プログラム再生」を選び、決定ボタンを押す。



再生モードが「プログラム再生」に切り換わります。

プログラム登録済みの場合は手順7の操作へ進んでください。

- 3 「登録」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



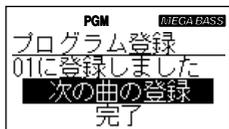
4 本体の▲▼ボタンを押して曲を選び、決定ボタンを押す。

データCD (MP3/WMAディスク)とUSB機器とSDカードでは、▲▼ボタンを押してフォルダを選び決定ボタンを押す操作を繰り返し、曲を表示してから選んでください。

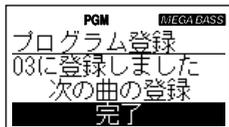


5 引き続き曲を登録する場合は、「次の曲の登録」が選択されていることを確認して決定ボタンを押し、手順4の操作を行う。

データCDとUSB機器とSDカードで別のフォルダ内の曲を登録したい場合は、本体の戻るボタンを繰り返し押してフォルダ一覧画面に戻ってから、手順4の操作を行ってください。



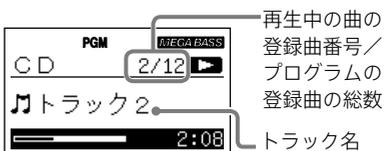
6 手順5の操作を繰り返してプログラム登録が終わった場合は、本体の▼ボタンを押して「完了」を選び、決定ボタンを押す。



7 ▶|| (再生/一時停止)ボタンを押す。



プログラムした順に再生が始まります。



プログラム再生が終わっても、登録したプログラムは保持されます。▶|| (再生/一時停止)ボタンを押すと、同じプログラムをもう一度聞くことができます。

ご注意

CDぶたを開けたとき、USB機器またはSDカードを交換したとき、および本機の電源を入れ直したときは、再生モードが「通常再生」に戻り、登録したプログラムは消去されます。

曲順を確認するには

- 1 ■ (停止)ボタンを押してプログラム再生を停止する。
登録曲番号とトラック名が表示されます。
- 2 本体の▲▼ボタンを押す。
登録曲番号順に切り換わります。

プログラム再生をやめるには

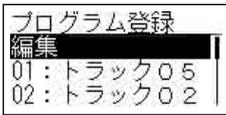
- 1 本体の設定ボタンを押してから、本体の▲▼ボタンを押して「再生モード」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 本体の▲ボタンを押して「通常再生」を選び、決定ボタンを押す。

登録済みのプログラムに追加で曲を登録するには

曲を登録したプログラムの情報は、本機のメモリーに保持されているため、プログラムが消去されていない限り(32ページ「ご注意」)、次の手順で後から曲を追加することができます。

他の再生モードになっている場合は、「プログラム再生」に切り換えてください。

- 1 停止中に本体の▲▼ボタンを押して「編集」を選び、決定ボタンを押す。



- 2 「登録」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



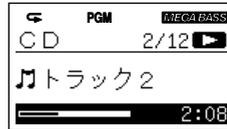
- 3 「聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム再生)」の手順4～6の操作を行う。

プログラム登録した曲を繰り返すには(プログラムリピート再生)

- 1 プログラム再生が停止していることを確認し、本体の設定ボタンを押す。
- 2 本体の▲▼ボタンを押して「再生モード」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 本体の▲▼ボタンを押して「PGM プログラムリピート」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 ▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す。



プログラムの曲を削除するには

「1曲削除」の場合

- 1 停止中に本体の▲▼ボタンを押して「編集」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 本体の▲▼ボタンを押して「1曲削除」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 本体の▲▼を押して削除したい曲を選び、決定ボタンを押す。
- 4 本体の▲ボタンを押して「削除」を選び、決定ボタンを押す。

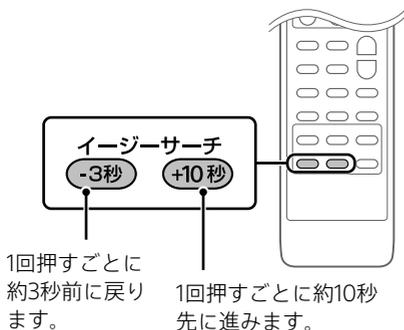
「全曲削除」の場合

- 1 停止中に本体の▲▼ボタンを押して「編集」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 本体の▲▼ボタンを押して「全曲削除」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 本体の▲ボタンを押して「全曲削除」を選び、決定ボタンを押す。

語学学習に便利な機能を使う

再生位置を進める／戻す (イージーサーチ機能)

CDの音声トラック (CD-DA) やデータCDのMP3/WMAファイル、USB機器またはSDカードのMP3/WMA/AACファイルの再生中にリモコンのイージーサーチボタンを押すことで、音声を戻して聞き直したり、進めて聞くことができます。



ご注意

- CD、USB機器、SDカードの停止または一時停止中は、イージーサーチ機能は使えません。
- 最後の曲で残り再生時間が10秒未満の場合、イージーサーチ+10秒ボタンを押すと、先頭の曲に戻ります。

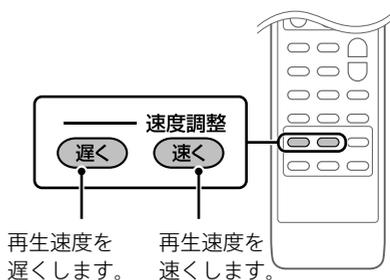
再生速度を変更する (デジタルピッチコントロール機能)

語学学習などで再生速度を調節したいときに使用します。

CDの音声トラック (CD-DA) やデータCDのMP3/WMAファイル、USB機器またはSDカードのMP3/WMA/AACファイルの再生中にリモコンの速度調整ボタンを押して再生速度を変更します。

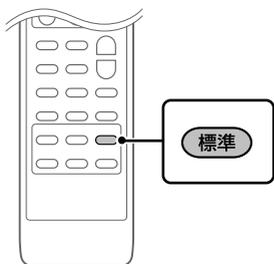
再生速度は、CD-DAとMP3の場合は0.5倍速から1.5倍速の11段階、WMAとAACの音声の場合は0.5倍速から1.2倍速の8段階で変更できます。

再生速度 (倍速)	
×1.5	(速く)
×1.4	↑
×1.3	
×1.2	(標準)
×1.1	
×1.0	↓
×0.9	
×0.8	(遅く)
×0.7	
×0.6	
×0.5	



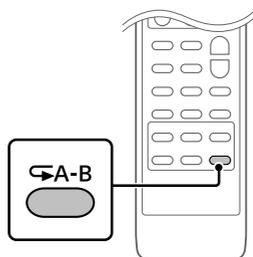
再生速度を元に戻すには

リモコンの速度調整 標準ボタンを押す。
再生速度が×1.0になります。



2 もう一度、リモコンの◀A-Bボタンを押して、B点を指定する。

リピートの範囲が確定します。



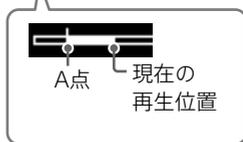
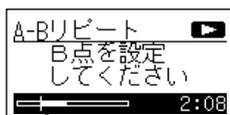
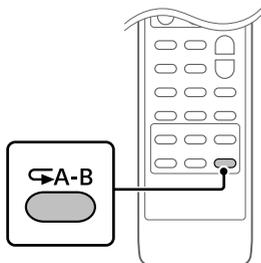
聞く

必要な部分だけ繰り返し聞く (A-Bリピート機能)

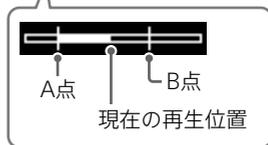
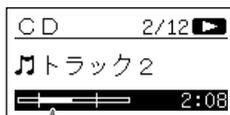
CDの音声トラック (CD-DA) やデータCDのMP3/WMAファイル、USB機器またはSDカードのMP3/WMA/AACファイルの再生中に聞きたい部分の始めと終わりを指定して、繰り返し聞くことができます。

1 再生中にリモコンの◀A-Bボタンを押して、A点を指定する。

表示窓に「B点を設定してください」と表示されます。



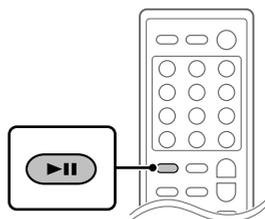
A-Bリピート再生が始まります。



A-Bリピート範囲の指定をやめるには

B点を指定する前にリモコンの▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す。

A点の指定が解除され、通常の再生に戻ります。



A-Bリピート再生をやめるには

A-Bリピート再生中に、リモコンの↔A-Bボタンを押す。

A-Bリピート設定が解除され、通常の再生に戻ります。

A-Bリピート再生を停止するには

A-Bリピート再生中に、リモコンの▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す。

A-Bリピートの設定を保持したまま再生が止まります。もう一度リモコンの▶|| (再生/一時停止) を押すと、A-Bリピート再生が開始します。

サーチ機能を使ってA-BリピートのB点を設定するには

再生中に◀◀ ボタン(早戻し)または▶▶ ボタン(早送り)を押したままにして、B点を指定する位置を探すことができます。同様にリモコンのイージーサーチボタンを押して再生位置を移動し、指定する位置を探すこともできます。

💡 ちょっと一言

A点より前の位置でもB点到指定できます。再生位置を探して先頭まで移動すると、先頭をB点としてA-Bリピート再生が始まります。

A-Bリピートの範囲を変えるには

A-Bリピート再生中に、↔A-Bボタンを押して通常の再生に戻してから、手順1と2を行う。

📌 ご注意

A点を指定したあと、↔A-Bボタンを押さずにCD-DAトラック(曲や音声データ)またはオーディオファイルの終わりまで再生すると再生が止まり、この位置をB点としてA-Bリピート再生が始まります。

BLUETOOTH機器の音楽を聞く



BLUETOOTH機器やスマートフォンとの接続のしかたについて詳しくは、別冊の「BLUETOOTH®接続ガイド」をご覧ください。「BLUETOOTH®接続ガイド」がお手元ないときは、本書でも同様に確認いただけます。操作はスマートフォンやBLUETOOTH機器によって異なることがあります。機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ペアリングする

ペアリングとは

BLUETOOTH機器では、あらかじめ、接続する互いの機器を登録しておく必要があります。この登録のことを「ペアリング」といいます。ペアリングは初めて接続する機器に対して必要な操作で、一度ペアリングで機器を登録すれば次回からはペアリングの操作の必要はありません。

お使いの機器に合わせて、以下の2つのパターンからペアリングの方法をお選びください。NFC機能を搭載しているスマートフォンの場合は、パターンBの方法で本機に「タッチするだけ」でペアリングが完了します。NFC機能を搭載していないスマートフォンやその他のBLUETOOTH機器の場合にはパターンAをご利用ください。

NFCとは

携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。指定の場所に「タッチする」だけで、簡単にデータ通信が可能となります。

NFC機能を搭載していないBLUETOOTH機器でペアリングするとき：

パターンA へ(37ページ)

NFC機能を搭載しているスマートフォンでペアリングするとき(「NFC簡単接続」)：

パターンB へ(38ページ)

操作をはじめの前に、以下をご確認ください。

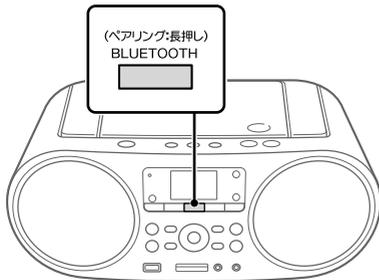
- 電源コードが接続されているか、本機の電源/電池ランプが点灯している。
- 接続するスマートフォンやBLUETOOTH機器の取扱説明書を準備する。

パターンA

NFC機能を搭載していないスマートフォンやその他のBLUETOOTH機器でペアリングするとき

1 接続する機器を1m以内の距離に配置して、本機のBLUETOOTHボタンを押す。

お買い上げ後に初めてBLUETOOTH機能を使うときなど、本機にペアリング情報がない状態では、BLUETOOTHボタンを押すと表示窓に「ペアリング」と表示され、BLUETOOTHアイコン(📶)が点滅して、自動でペアリングモードになります。



2台目以降の機器をペアリングする場合

本機の電源が入った状態で、BLUETOOTHボタンをスピーカーから「ピピッ」と音がするまで(約2秒間)押したままにする。

本機は合計8台までのBLUETOOTH機器をペアリングしてお使いいただけます。

ペアリングを途中でやめるには

CDボタン、SD/USBボタンなどを押して、BLUETOOTH以外の機能に切り換える。

ご注意

お買い上げ後に初めて機器をペアリングする場合は、ペアリングが完了するまでペアリングモードは解除されず、BLUETOOTHアイコン(📶)と「ペアリング」が点滅し続けます。すでに他の機器がペアリングされている場合は、BLUETOOTHアイコン(📶)が点滅し、「ペアリングまたは接続を行ってください」と表示されます。

手順が完了する前に本機のペアリングモードが解除されてしまった場合は、もう一度ははじめからやり直してください。

2 接続するBLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオンにする。

詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

3 接続するBLUETOOTH機器の画面に表示されている「ZS-RS80BT」を選び、決定する。

BLUETOOTH機器の画面に「ZS-RS80BT」が表示されない場合は、もう一度手順2から操作してください。

ご注意

機器によっては検出した機器の一覧を表示できない場合があります。

4 接続するBLUETOOTH機器の画面でパスキー*の入力を要求されたら「0000」を入力する。

本機の表示窓のBLUETOOTHアイコン (📶) が点滅から点灯に変わったら、本機とBLUETOOTH機器の接続が完了した状態になります。

接続した機器の名称が取得された場合は、表示窓に名称が表示されます。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。



ご注意

- 本機のパスキーは「0000」に固定されています。パスキーが「0000」でないBLUETOOTH機器とペアリングすることはできません。
- 本機は合計8台までのBLUETOOTH機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で最後に接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- ペアリング情報を消去(41ページ)すると、登録していたBLUETOOTH機器とのペアリングがうまくいかないことがあります。その場合は、お使いのBLUETOOTH機器側の本機の登録をいったん削除して、もう一度ペアリングし直してください。
- 本機は複数の機器とペアリングできますが、それらの機器の音楽を同時に再生することはできません。

パターンB

NFC機能を搭載しているスマートフォンでペアリングするとき(「NFC簡単接続」)スマートフォンでタッチするだけで、自動的に本機の電源が入り、スマートフォンのペアリングや接続ができます。

対応するスマートフォン

- NFC機能またはおサイフケータイ機能を搭載したスマートフォン(対応OS : Android™ 2.3.3以降、Android 3.xを除く)。詳しくは、サポートページ(<http://www.sony.jp/support/radio/>)をご覧ください。

1 スマートフォンに「NFC簡単接続」アプリをダウンロードする。

Google Play™で入手できるAndroid専用の無料のアプリです。

「NFC簡単接続」で検索するか、以下の二次元コードでアクセスし、アプリをダウンロードします。ダウンロードには別途通信料が発生します。

💡 ちょっと一言

スマートフォンによっては、アプリをダウンロードしなくても、NFC機能によりタッチ操作で簡単に接続できる場合があります。またその場合、スマートフォンの動作や仕様は本書の説明と異なることがあります。詳しくは、お使いのスマートフォンに付属の取扱説明書をご覧ください。



二次元コードでアクセス
二次元コード読み取りアプリでご利用ください。

2 スマートフォンで「NFC簡単接続」アプリを起動する。

アプリの画面が表示されていることを確認します。

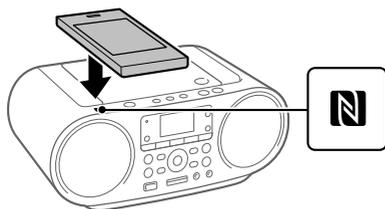
3 スマートフォンのNFC機能をオンにする。

詳しくは、お使いのスマートフォンに付属の取扱説明書をご覧ください。

4 スマートフォンを本機にタッチする。

本機のNマーク部分にスマートフォンをタッチします。スマートフォンが反応するまで、タッチし続けてください。

本機を認識するとスマートフォンが反応します。



ご注意

スマートフォンの画面がロックされた状態では、スマートフォンが動作しません。画面のロックを解除してから、本機にタッチしてください。

スマートフォンの画面の指示に従って接続を完了させてください。

本機の表示窓のBLUETOOTHアイコン

(Bluetooth) が点滅から点灯に変わったら、本機とBLUETOOTH機器の接続が完了した状態になります。接続した機器の名称が取得された場合は、表示窓に名称が表示されます。



💡 ちょっと一言

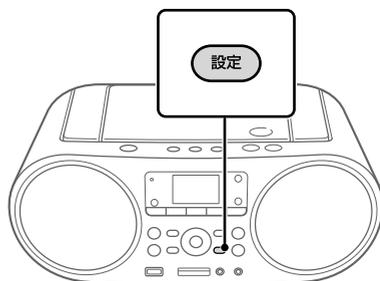
- 接続がうまくいかないときは次のことを行ってください。
 - 「NFC簡単接続」アプリを起動し、本機のNマーク部分の上でゆっくり動かす。
 - スマートフォンにケースを付けている場合は、ケースをはずす。
 - 「NFC簡単接続」アプリが起動していることを確認する。
- 接続を切断するには、もう一度タッチします。
- ヘッドホンなど他のNFC対応機器に接続しているNFC対応スマートフォンを本機にタッチすると、ワンタッチで本機に接続を切り換えることができます(乗り換え機能)。

BLUETOOTHスタンバイ機能を使うには

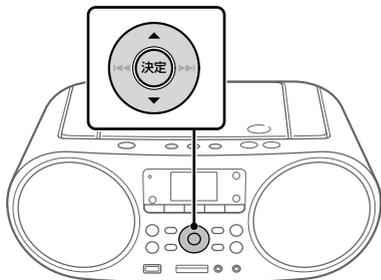
BLUETOOTHスタンバイ機能をオンにしておくと、本機の電源が切れた状態でも、ペアリング済みのBLUETOOTH機器からの接続操作で自動的に本機の電源が入り、操作することができます(本機に電源コードが接続されているときのみ)。

お買い上げ時の初期設定ではオフの状態ですが、お好みに応じてオン/オフを切り換えることができます。

- 1 本体のBLUETOOTHボタンを押す。
- 2 本体の設定ボタンを押す。



- 3 本体の▼ボタンを押して「BLUETOOTH」を選び、決定ボタンを押す。



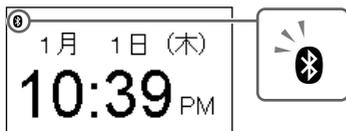
- 4 本体の▼ボタンを押して「スタンバイ」を選び、決定ボタンを押す。



- 5 本体の▲ボタンを押して「オン」を選び、決定ボタンを押す。



本体の電源を切るとスタンバイ状態になります。



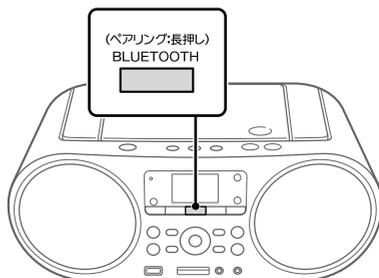
スタンバイ中は表示窓に時計が表示され、BLUETOOTHアイコン(8)が点滅します。BLUETOOTHスタンバイ機能をオフに戻りたいときは、1～4の手順に従って操作し、手順5で「オフ」を選んでください。

ご注意

- 時計用電池を交換したあとなど日付と時刻を設定していない場合は、表示窓に「電源を入れて初期設定してください」と表示されます。時計の合わせかたについては、「準備6：時計を合わせる(初期設定)」(13ページ)をご覧ください。
- 本機を乾電池でお使いの場合は、BLUETOOTHスタンバイ機能は使えません。電源コードを接続してお使いください。

音楽を聞く

- 1 本体のBLUETOOTHボタンを押す。すでにペアリングが済んでいるときは、本体のBLUETOOTHボタンを押すだけで自動的に機器とのBLUETOOTH接続が完了します。接続されない場合は、「ペアリング済みの機器が自動で接続されないときは」の操作を行ってください。



接続が完了すると、BLUETOOTHアイコン(8)が点滅から点灯に変わります。接続した機器の名称が取得された場合は、表示窓に名称が表示されます。



- 2 BLUETOOTH機器の音楽を再生して、音量を調節する。

まず、接続したBLUETOOTH機器側で適度な音量にして、次に本機の音量+または-ボタンで調節します(16ページ)。

💡 ちょっと一言

- 本機はSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しています。SCMS-T方式対応の携帯電話やワンセグTVなどの音楽(または音声)を、本機で聞くことができます。
- お使いのBLUETOOTH機器がAVRCPに対応している場合には、本機の▶|| (再生/一時停止)、◀▶▶▶ボタン、■ (停止) ボタンで再生を操作できます。AVRCPに対応していない機器をお使いの場合には、BLUETOOTH機器側で再生の操作をしてください。

BLUETOOTH接続を終了するには

以下の手順のいずれかを行ってください。

- BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオフにする。詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- BLUETOOTH機器の電源を切る。
- CDボタン、SD/USBボタンなどを押して、本機の機能をBLUETOOTH以外に切り換える。
- 本機の電源を切る。
- もう一度本機にタッチする(NFC機能搭載のスマートフォンの場合)。

迫力のある重低音を楽しむには

本体のMEGA BASSボタンを押す(16ページ)。

ペアリング済みの機器が自動で接続されないときは

機器を検出できず、接続が完了しなかった場合は、本機の表示窓に「ペアリングまたは接続を行ってください」と表示されます。その場合は以下の操作をしてください。



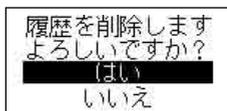
- 1 BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能がオン(有効)になっているか確認する。
- 2 BLUETOOTH機器の画面に表示されている「ZS-RS80BT」を選ぶ。

ペアリング情報を消去するには

- 1 本体のBLUETOOTHボタンを押す。
- 2 本体の設定ボタンを押す。
- 3 本体の▼ボタンを押して「BLUETOOTH」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 「接続履歴削除」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



- 5 本体の▲ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押す。



「削除中」と表示され、登録されているすべてのペアリング情報が削除されます。削除が完了すると「削除しました」と表示された後、自動でペアリングモード(37ページ)になります。

ご注意

削除中は電源を切らないでください。データが破損するおそれがあります。

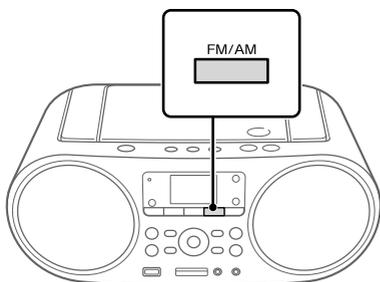
ラジオを聞く

あらかじめ地域設定(12ページ)で登録した放送局を簡単に選ぶことができます。**ただし、ワイドFMは地域設定では登録されません。**詳しくは「ワイドFMを聞くには」(48ページ)をご覧ください。

本体に電源コードが接続されているか、本体用の乾電池が入っていることを、あらかじめ確認してください(10ページ)。

1 本体のFM/AMボタンを押す。

自動で電源が入ります。



2 本体のFM/AMボタンを押し、「FM」または「AM」を選ぶ。

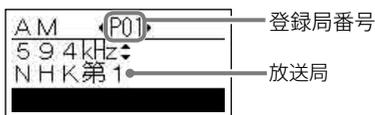
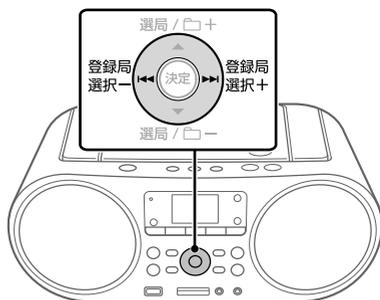
「FM」または「AM」と、周波数が表示されます。FMとAMを切り換える場合は、再び本体のFM/AMボタンを押します。



FMステレオ放送を受信すると、表示窓に「ST」と表示されます。



3 登録局選択+または-ボタンを繰り返し押し続けて聞きたい放送局を選ぶ。



周波数で選局して聞くこともできます。詳しくは「放送周波数を選んで聞く(マニュアル選局)」(45ページ)をご覧ください。

受信状態が悪いときは、受信する場所を変えたり、アンテナを調整してみてください。FMの場合はFMアンテナを立て、FMアンテナの長さ、方向、角度を調節してください(44ページ)。

AMの場合は、本機の方向を最も受信状態の良い方向へ向けてください(45ページ)。

音量を調節するには

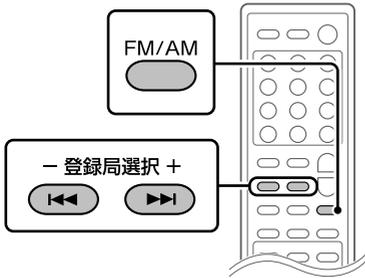
音量+または-ボタンを押す(16ページ)。

迫力のある重低音を楽しむには

本体のMEGA BASSボタンを押す(16ページ)。

リモコンで選局するには

FM/AMボタンを繰り返し押しして「FM」または「AM」を選び、◀◀（登録局選択-）または▶▶（登録局選択+）ボタンで登録局番号を選ぶ。



登録局番号を入力してラジオ局を選ぶには(ダイレクト入力)

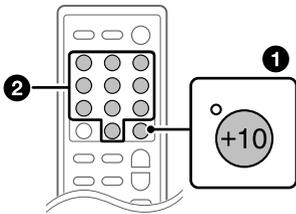
リモコンの数字ボタンを使って登録済みのラジオ局を選ぶことができます。

(例1) 20を入力する場合

+10ボタンを2回押してから、数字ボタンの0を押す。

(例2) 3を入力する場合

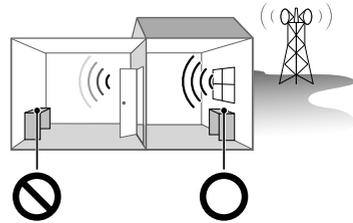
数字ボタンの3を押す。



- 1 番号が10以上のときは10の位の数だけ+10ボタン(❶)を押す。
番号が9以下のときは押さずに手順2を行う。
- 2 1の位の数の数字ボタン(❷)を押す。

受信状態をよくする

受信環境によって電波状況が変わります。電波状況が悪い所ではうまく受信できないことがあります。また、電波の届きやすさは周辺の環境に左右されます。電波状況の良い場所を探してご使用ください。また、受信したい放送に合わせてアンテナを調整してください。



窓の遠くなど
受信しにくい場所

窓の近くなど
受信しやすい場所

ご注意

本機に人の手が触れていると電波状況が変わることがあります。手を触れない状態で、電波状況が良い場所を探してください。

FM放送のとき

- 1 本体のFMアンテナをアンテナ留めから外し、水平方向に回転させる。



約30度傾けた状態で回転させてください。

- 2 FMアンテナを伸ばし、垂直方向の角度を調整する。



ご注意

- FMアンテナの角度を調整するときは、付け根の部分を持ってください。先端部分を持ったり過剰な力を加えると、FMアンテナを破損することがあります。

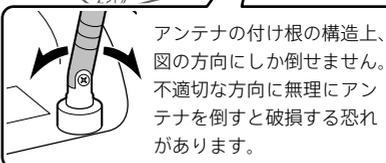
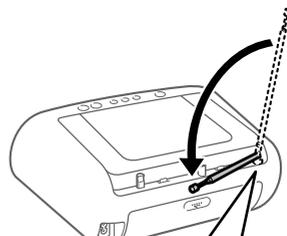


FMアンテナの収納のしかた

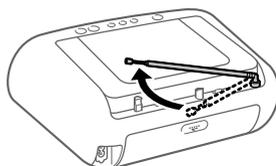
- 1 FMアンテナを縮める。



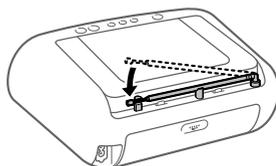
- 2 軽い力で倒せる方向を確認して約30度まで傾ける。



- 3 傾けた状態でアンテナ留めの上部まで回す。



- 4 先端付近を上から押してアンテナ留めにはめる。



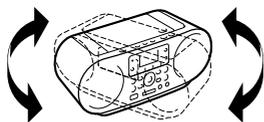
FMステレオ放送の雑音が気になるときは

FMステレオ放送の受信中に雑音が多いときは、モノラル受信に切り換えると雑音を低減できる場合があります。

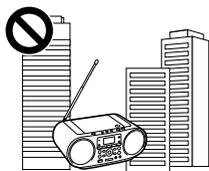
ステレオ受信・モノラル受信を切り換えるには、設定メニューの「FMモード」から設定してください(82ページ)。

AM放送のとき

本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。
(AMのアンテナは本体に内蔵されています。)



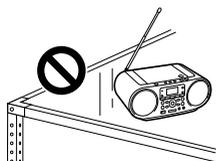
それでも感度が悪いときは
受信する場所を変えてみてください。



ビルの谷間は
避ける。



家電製品や携帯
電話の近くで使
わない。



金属製の机や
台の上に置か
ない。

放送周波数を選んで聞く (マニュアル選局)

1 FM/AMボタンを押して「FM」または「AM」を選ぶ。

ボタンを押すたびに「FM」と「AM」が切り換わります。

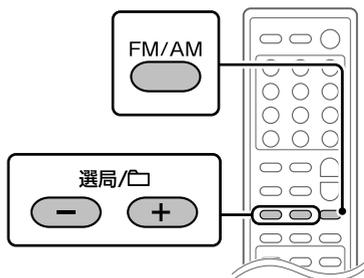
2 選局+または-ボタンを押したままに、周波数の数字が動き始めたら指を離す。

受信状態の良い放送局が見つかったら、周波数の数字の動きが自動的に止まり、放送を受信します。受信できなかったときは、聞きたい局の周波数に切り換わるまで、選局+または-ボタンを繰り返し押します。



リモコンで選局するには

FM/AMボタンを繰り返し押して「FM」または「AM」を選び、選局+/-ボタンで周波数を選ぶ。



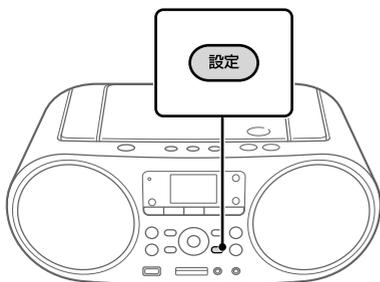
ラジオ放送局を自動で登録する (ラジオ局自動登録)

受信状態の良い放送局を自動的に検索して記憶させ、次からは記憶された番号(登録局番号)でその局を選ぶことができます。FM20局、AM10局の合計30局まで記憶できます。地域設定で登録した放送局の受信状態が良くないときは、ラジオ局自動登録を行ってください。

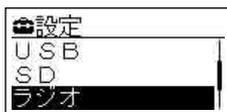
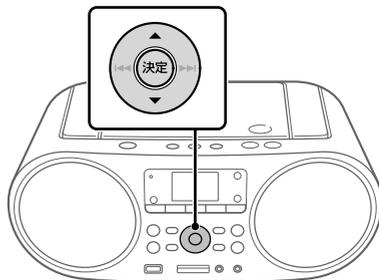
ご注意

- ラジオ局自動登録を実行すると、検索した放送局で登録が上書きされますが、地域設定(12ページ)で登録されていた放送局が検索された場合は放送局名が表示されます。
- AMの登録局番号P01にNHK第1放送またはNHK第2放送が登録されなかった場合は、自動時刻補正(76ページ)が動きません。

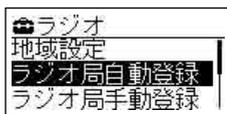
1 ラジオ(FMまたはAM)の受信中に 本体の設定ボタンを押す。



2 ▲▼ボタンを押して「ラジオ」を選び、 決定ボタンを押す。



3 ▲▼ボタンを押して「ラジオ局自動 登録」を選び、決定ボタンを押す。



登録局の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ検索された局が自動的に記憶されます。

登録局番号を選んで放送局を記憶させる には(ラジオ局手動登録)

電波が弱くラジオ局自動登録で記憶できなかった局があるときや、特定の登録局番号に放送局を記憶させたいときは、登録局番号を選んで放送局を記憶させることができます。詳しくは「ラジオ局手動登録」(81ページ)をご覧ください。

登録局を削除するには

記憶させた放送局は、電源コードを抜いたり、乾電池を取り出ししたりしても消えません。「登録局削除」(82ページ)をご覧ください。

「お気に入りラジオ局」ボタンに登録する

よく聞く放送局を登録しておくと、ボタンを押すだけで登録した放送局を聞くことができます。

「お気に入りラジオ局」ボタンには、FM、AMあわせて3局まで登録できます。

1 登録したい放送局を受信する。

「ラジオを聞く」(42ページ)の手順1～3をご覧ください。

2 「ピー」と音がするまで、①、②、③のいずれかの「お気に入りラジオ局」ボタンを押したままにする。

(例) ボタン①に登録する場合



「お気に入りラジオ局」ボタンの数字が点灯すると放送局の登録が完了です。



登録済みのボタンに別の放送局を登録するには

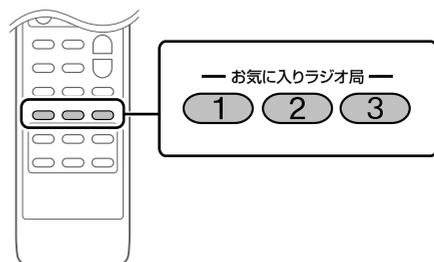
上の手順1～2を繰り返す。

新しい放送局を登録すると、同じボタンに登録されていた前の局は消えます。

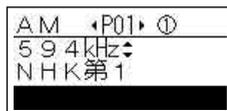
「お気に入りラジオ局」ボタンに登録した放送局を聞く

「お気に入りラジオ局」ボタンを使うと、電源を切った状態からでもすぐにラジオを聞くことができます。

お好みの「お気に入りラジオ局」ボタンを押して、すぐ指を離す。



放送局を受信します。表示窓には選んだ「お気に入りラジオ局」ボタンの数字と、周波数が表示されます。



ご注意

「お気に入りラジオ局」ボタンを押して登録した放送局を聞くときは、ボタンを2秒以上押さないでください。2秒以上押すと、登録していた放送局は、現在受信中の放送局に置き換わります。

ワイドFMを聞く

本機は、FMの90MHz以上の周波数を受信でき、ワイドFMに対応しています。

ワイドFM（FM補完放送）とは、AM（中波）放送局の放送エリアにおいて、難聴対策や災害対策のために従来のFM放送用の周波数（76MHz～90MHz）に加えて新たに割り当てられた周波数（90MHz～95MHz）を用いてAM番組を放送することです。

ワイドFMは、以下の方法でお聞きください。

- 「ラジオ放送局を自動で登録する（ラジオ局自動登録）」（46ページ）の手順で、放送局を記憶させて、登録局番号から選局して聞く。
- 「放送周波数を選んで聞く（マニュアル選局）」（45ページ）の手順で、周波数で選局して聞く。

また、「お気に入りラジオ局」ボタン（47ページ）に登録しておくことで、ボタンを押すだけで手軽に聞くことができます。

ワイドFMのラジオ番組放送の予約録音（66ページ）をする場合は、あらかじめ「ラジオ局自動登録」（46ページ）または「ラジオ局手動登録」（81ページ）のいずれかの方法で、登録局番号に放送局を記憶させてください。

ご注意

ワイドFMの受信可能範囲はAMラジオよりも狭いため、AMラジオを受信可能な地域でも、ワイドFMの電波が届かない場合があります。

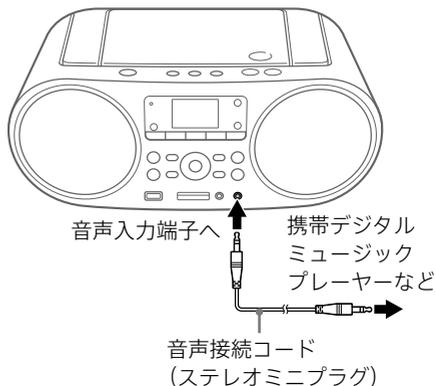
外部機器をつないで聞く

携帯デジタルミュージックプレーヤーなどの外部機器を本機の音声入力端子につないで、スピーカーから流れる音を楽しむことができます。

本機と外部機器をつなぐときは、本機と外部機器の電源を切って作業してください。

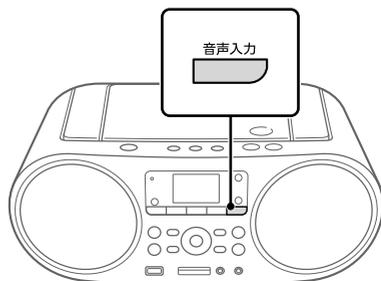
1 外部機器を本体の音声入力端子につなぐ。

別売りの音声接続コード（ステレオミニプラグ）を使って、外部機器の音声出力端子（ヘッドホン端子など）につなぎます。



2 本体の音声入力ボタンを押す。

自動で電源が入ります。



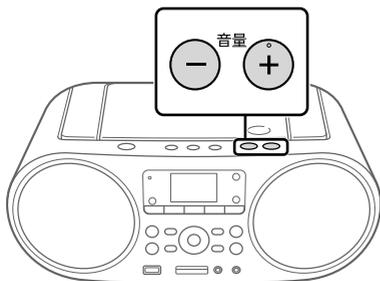
3 つないだ機器で再生を始める。

本機のスピーカーから音声が出力されます。

再生について詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。



4 音量+または-ボタンを押して、音量を調節する。



ご注意

- 接続した外部機器の出力端子がモノラルジャックの場合は、本機の右側のスピーカーから音が出ない場合があります。
- 接続した外部機器の出力端子がラインアウト端子の場合は、ひずみが発生する場合があります。音がはずんだ場合は、外部機器のヘッドホン端子につないでください。
- ミュージックプレーヤーのヘッドホン端子とつないだ場合は、ミュージックプレーヤー側で音量を上げてから、本機の音量を調節してください。

ヘッドホンをつないで聞く

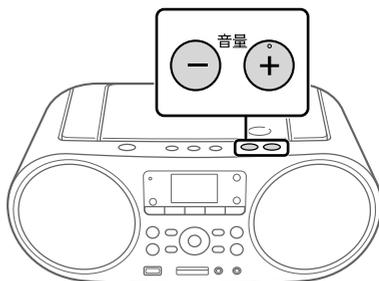
1 別売りのヘッドホンを本体の (ヘッドホン) 端子につなぐ。



2 再生を始める。

3 音量+または-ボタンを押して、音量を調節する。

耳を刺激しないように適度な音量で聞いてください。



聞く

おやすみタイマーを使う

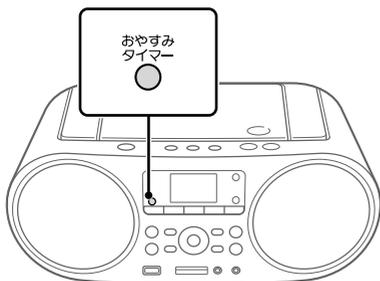
指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。

1 聞きたい音源の再生を始める。

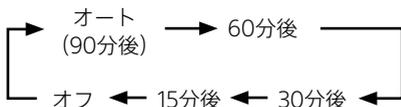
以下のページをご覧ください。

- CDを聞く (15ページ)
- USB機器の音楽を聴く (20ページ)
- SDカードの音楽を聞く (25ページ)
- ラジオを聞く (42ページ)
- BLUETOOTH機器の音楽を聞く (36ページ)
- 外部機器をつないで聞く (48ページ)

2 おやすみタイマーボタンを繰り返し押し続けて電源が切れるまでの時間(分)を選ぶ。



ボタンを押すたびに、次のとおり表示が切り換わります。



操作しない時間が約4秒経つと、タイマーが開始します。タイマーを使わないときは「オフ」にします。

💡 ちょっと一言

- 音源がCD、USB機器、SDカードで「オート (90分後)」を設定した場合は、再生が終了すると、90分経過する前でも自動的に電源が切れます。
- おやすみタイマーが働いているときは、表示窓の画面の明るさが暗くなります。
- 電源が切れる1分前から、「おやすみタイマー 電源をオフします」と表示されます。

電源が切れるまでの時間を確認するにはタイマー開始後におやすみタイマーボタンを1回押す。

おやすみタイマーを取り消すには

「オフ」になるまで、おやすみタイマーボタンを繰り返し押す。

または電源ボタンを押して電源を切る。

アラームと組み合わせて使うには

先にアラームを設定してから (51ページ)、おやすみタイマーを設定する。

音源や音量は、アラームとおやすみタイマーそれぞれに設定することができます。

ご注意

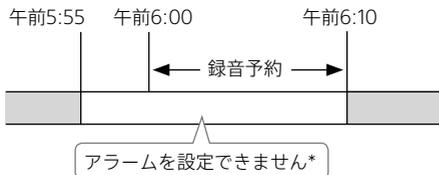
- おやすみタイマー動作中に録音を開始した場合、おやすみタイマーは解除されます。
- おやすみタイマー動作中に予約録音開始時刻となった場合、おやすみタイマーは解除されず、予約録音が始まります。
- 録音した曲や音声を削除しているときにおやすみタイマーの設定時刻となった場合、削除が完了したあとで本機の電源が切れます。

タイマーを使って目覚める(アラーム)

CD、USB機器、SDカード、ラジオまたはブザーのいずれかお好みの音源を目覚まし代わりにすることができます。

ラジオの録音予約を設定している場合(66ページ)、録音開始時刻の5分前から録音終了時刻までの間はアラームを設定することはできません。ラジオの録音予約の時間帯と重なっていないか、あらかじめ確認してください。

(例)午前6:00～6:10の番組を録音予約している場合

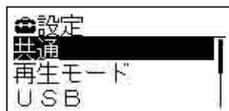
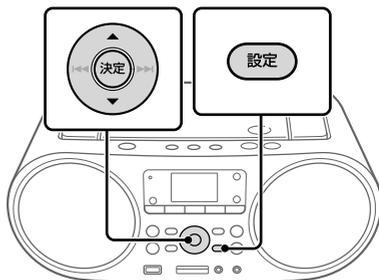


* 「録音予約xxと重複しています」と表示されます。(xxは録音予約の番号)

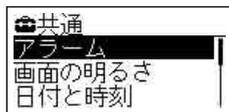
あらかじめ、次の準備をしてください。

- 時計を合わせる(13ページ)。
- ラジオを音源とする場合、聞きたい放送局が登録されていることを確認する(12ページ、46ページ)。
- CD、USB機器またはSDカードを音源とする場合、聞きたいCD、USB機器またはSDカードが入っていることを確認する。

- 1 電源を入れる。
- 2 本体の設定ボタンを押し、「共通」が選択されていることを確認して決定ボタンを押す。



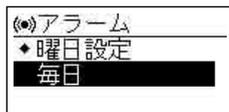
- 3 「アラーム」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



- 4 アラームの繰り返しを設定する。

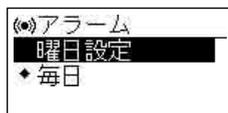
毎日繰り返す場合

本体の▼ボタンを押して「毎日」を選び、決定ボタンを押す。



曜日を指定して繰り返す場合

- 1 本体の▲ボタンを押して「曜日設定」を選び、決定ボタンを押す。



- ② ◀▶▶▶▶ ボタンを押して設定する曜日を選び、決定ボタンを押す。
選んだ曜日には、チェックが入ります。



- ③ 複数の曜日の場合、手順②を繰り返す。
④ 本体の▼ボタンを押して「次へ」を選び、決定ボタンを押す。

5 アラームの時刻を設定する。

「準備6：時計を合わせる(初期設定)」の手順5～6(14ページ)と同じように操作して「時」と「分」を合わせます。

☀ ちょっと一言

「録音予約xxと重複しています」(xxは録音予約の番号)と表示されたときは、アラームの設定時間をずらすか、いったんアラーム設定を中断して、表示された番号の録音予約を削除してください。

設定時間をずらすときは、「時刻の修正」が選択されていることを確認して決定ボタンを押してください。手順5に戻ります。

表示された番号の録音予約を削除するときは、本体の▼ボタンを押して「登録の中止」を選び、決定ボタンを押してから録音予約を削除してください(68ページ)。

6 本体の▲▼ボタンを押して設定したい音源を選び、決定ボタンを押す。



「ブザー」を設定した場合は手順9の操作へ、それ以外を設定した場合は手順7の操作へ進んでください。

7 本体の▲▼ボタンを押して曲または放送局を選び、決定ボタンを押す。

8 音量を調節する。

本体の▲▼ボタン(または音量+ボタン)を押して音量を調節してから、決定ボタンを押します。

9 ◀▶▶▶▶ ボタンで設定確認後、「完了」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

「設定しました」と表示され、(●●)(アラーム)が点灯します。

☀ ちょっと一言

手順9で決定ボタンを押す前であれば、本体の戻るボタンを押して1つ前の画面に戻し、設定し直すことができます。

アラームを止めるには

■ (停止)ボタンを押す。または電源ボタンを押して電源を切る。

アラームの内容を確かめるには

「タイマーを使って目覚める(アラーム)」の手順1～3の操作を行い、◀▶▶▶▶ ボタンで画面を切り換える。



予約内容を変更するときは、「アラームの内容を変更するには」(52ページ)の手順2へ進んでください。

変更しないときは、本体の設定ボタンを押して確認を終了します。

アラームの内容を変更するには

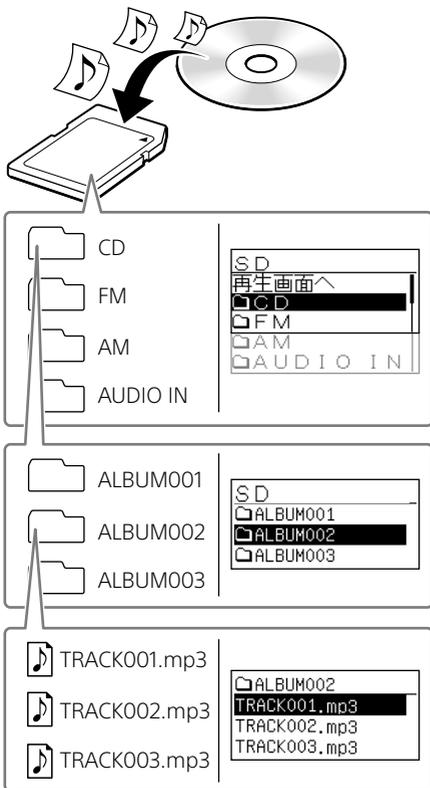
- 1 「タイマーを使って目覚める(アラーム)」の手順1～3の操作を行う。
- 2 「編集」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



ウォークマン®、“ポケットビット”などのUSB機器やSDカードに録音する

本機の操作のみでUSB機器(ウォークマン®や“ポケットビット”(ソニー製USBメモリー))やSDカードに録音できます。

本機を使ってUSB機器やSDカードに録音した曲や音声は、録音元の機能名(CD、FMなど)の名前のフォルダ内にオーディオファイルとして記録されます。



詳しくは「USB機器／SDカードのフォルダ(グループ)構成と録音データについて」(71ページ)をご覧ください。

録音フォーマットについて

本機でUSB機器やSDカードに録音するときは、サンプリング周波数 44.1 kHz (固定)、ビットレート 128 kbps (固定)のMP3フォーマットで録音されます。サンプリング周波数、ビットレートは変更できません。

ただし、データCD (MP3/WMAディスク)から録音する場合は、元のフォーマット(MP3またはWMA)とビットレート(kbps)のまま録音されます。

ご注意

- 本機の録音機能は、CDやラジオ、外部機器の音源をUSB機器またはSDカードに録音するためのものです。本機を使って、CD-RやCD-RWに録音することはできません。
- USB機器またはSDカードへの録音中は、USB機器やSDカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- USB機器やSDカードの書き込み性能に起因して、音が途切れた状態で録音されるなど、お使いのUSB機器やSDカードによっては、正常に本機での録音ができないことがあります。このような症状が発生した場合には、別のUSB機器やSDカードを使って録音を行ってください。

あらかじめ、次の準備をしてください。

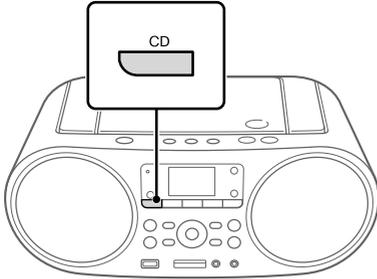
- 本体用電源を準備する(10ページ)。
- 使用できるUSB機器／SDカードについて確認する(95ページ、96ページ)。
- ラジオや外部機器の音声を録音する場合、USB機器またはSDカードの録音可能時間が十分あるか確認する。
- ラジオを録音する場合、ラジオが受信できる状態になっているか確認する。
- 外部機器の音声を録音する場合、音声が入力できる状態になっているか確認する(48ページ)。

CDをUSB機器に録音する (シンクロ録音)

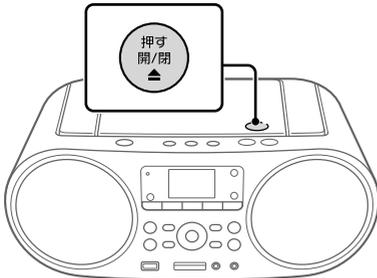
「シンクロ録音」を行うと、「全曲録音」、「1曲録音」、「フォルダ内全曲録音」、「登録曲録音」の4つの録音方法でCDの曲を録音することができます。

1 本体のCDボタンを押す。

自動で電源が入ります。



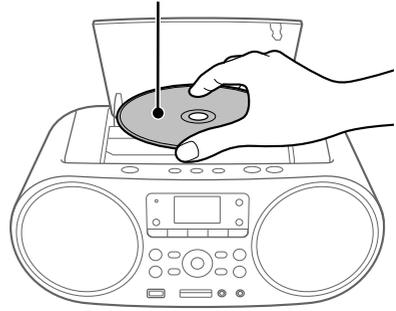
2 開/閉△部を押してCDぶたを開ける。



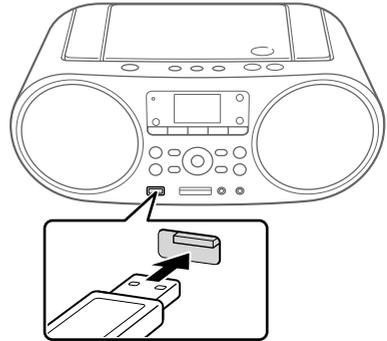
3 ディスクをセットし、CDぶたを閉める。

ディスクの中央部を押して回転部にしっかり装着し、開/閉△部を押してCDぶたを閉めます。

文字のある面を上



4 USB端子にUSB機器を差し込む。



使用できるUSB機器については「本機で使用できる機器について」(95ページ)をご覧ください。

5 録音する曲の準備をする。

CDの全曲を録音する場合

そのままの曲順で録音する場合は手順6の操作へ進んでください。

1曲を録音する場合

- 1 ◀▶▶▶▶ ボタンを押して録音する曲を選ぶ。

データCDの場合の曲の選び方については、「データCD (MP3/WMAディスク)のフォルダや曲を選んで聞く」(19ページ)をご覧ください。

- 2 再生して曲を確認し、■ (停止) ボタンを押す。

💡 ちょっと一言

ディスクが完全停止状態のとき(手順①で曲の選択をしなかった場合、または手順②でもう一度■ (停止) ボタンを押した場合)は、ディスクの1曲目が録音されます。ディスクの完全停止状態について詳しくは、「再生をやめるには」(17ページ)をご覧ください。

データCDでフォルダ内の全曲を録音する場合

- 1 再生モードを「□フォルダ中再生」(31ページ)、または「◀▶ フォルダリピート」(30ページ)に設定する。
- 2 録音するフォルダを選び、決定ボタンを押す(19ページ)。

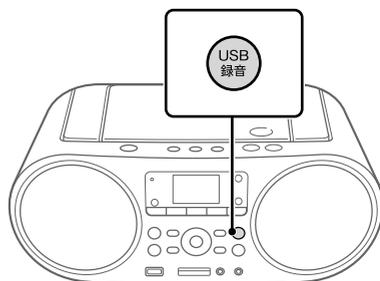
💡 ちょっと一言

- ルートフォルダに曲がある場合にその全曲を録音したいときは、手順②で「全てのフォルダ」を選んで決定ボタンを押します。
- ルートフォルダに曲が無い場合、手順②で「全てのフォルダ」を選んで決定ボタンを押し、次の階層のフォルダを選ばなかったときは、再生順が先頭のフォルダ内の全曲を録音できません。

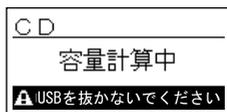
曲をプログラムして録音する場合

「聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム再生)」(31ページ)の手順1～6の操作を行い、曲をプログラム登録する。

6 CDが停止していることを確認し、本体のUSB録音ボタンを押す。



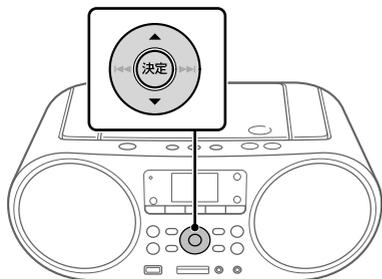
USB録音ボタンが赤く点滅して「録音準備中」と表示されます。本機がUSB機器を正常に認識すると、「容量計算中」と表示され、USB機器の空き容量(録音可能容量)の算出が始まります。



ご注意

- 容量計算中、録音中は電源ボタンを押しても電源を切ることはできません。
- 容量計算中、録音中に本体のCDボタン、SD/USBボタン、FM/AMボタン、BLUETOOTHボタン、または音声入力ボタンを押すと、「録音を中止しますよろしいですか」と表示されます。録音を続ける場合は「いいえ」を選んで決定ボタンを押してください。「はい」を選んで決定ボタンを押すと録音を中止し、機能が切り換わります。

7 本体の▲▼ボタンを押して録音方法を選び、決定ボタンを押す。



CDの全曲を録音する場合

「全曲録音」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



1曲を録音する場合

本体の▼ボタンを押して「1曲録音」を選び、決定ボタンを押す。



データCDのフォルダ内の全曲を録音する場合

「フォルダ内全曲録音」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

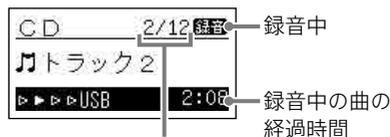


プログラム登録した曲を録音する場合

「登録曲録音」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



録音が始まり、USB録音ボタンが赤く点灯します。録音中の表示は、次のとおりです。録音の最後にデータ保存などの終了処理が始まり、USB録音ボタンが点滅します。処理が完了すると、USB録音ボタンが消灯し、録音が自動的に停止します。



録音中の曲の登録曲番号／プログラムの登録曲の総数

録音が始まらず、「USBデバイスに空きがありません」と表示されたときは、USB機器の空き容量が足りません。いったん録音を中止し、別のUSB機器を使うか、不要なデータを削除して空き容量を確保してください(70ページ)。

💡 ちょっと一言

- 録音中は、スピーカーから音は出ません。
- 録音は、CDの収録時間の約半分の時間で完了します。
- 録音が完了すると、自動的に録音が停止します。

再生中の曲を録音するには

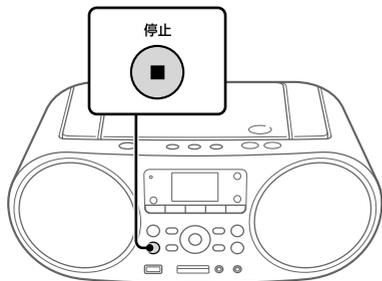
- 録音したい曲を再生する。
- 本体のUSB録音ボタンを押す。
再生中の曲の先頭から録音が始まります。

💡 ちょっと一言

- 録音が完了すると、自動的に録音が停止します。CDを再生中または一時停止中に録音を始めた場合、録音完了後は、次の曲の再生が始まります。再生を停止したいときは■(停止)ボタンを押してください。
- 録音対象の曲を一時停止の状態にしても、再生中にUSB録音ボタンを押す場合と同様に曲の先頭から録音することができます。ただし録音完了後は、一時停止状態が解除され、次の曲の再生が始まります。

録音を途中でやめるには

- (停止) ボタンを押す。



ご注意

音楽CDの場合に曲の途中で録音を止めると、止めたところまで録音されたMP3/WMAファイルが作成されます。不要な場合は、削除して録音をやり直してください(70ページ)。

録音可能時間を確認するには

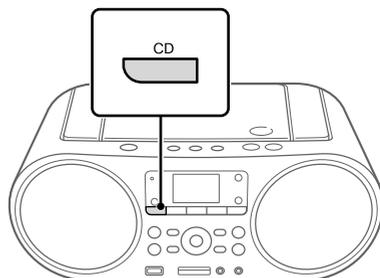
- 1 本体のSD/USBボタンを押して「USB」を選び、設定ボタンを押す。
- 2 本体の▲▼ボタンを押して「USB」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 「録音可能時間」(79ページ)が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。録音可能時間と空き容量が表示されます。
- 4 本体の設定ボタンを押して終了する。

CDをSDカードに録音する (シンクロ録音)

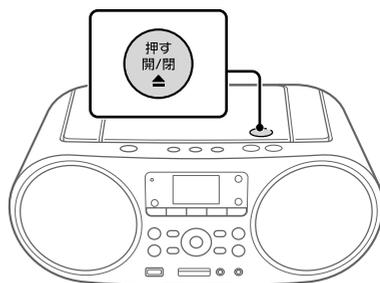
「シンクロ録音」を行うと、「全曲録音」、「1曲録音」、「フォルダ内全曲録音」、「登録曲録音」の4つの録音方法でCDの曲を録音することができます。

1 本体のCDボタンを押す。

自動で電源が入ります。



2 開/閉▲部を押してCDぶたを開ける。

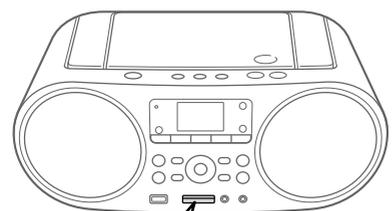


3 ディスクをセットし、CDぶたを閉める。

ディスクの中央部を押して回転部にしっかり装着し、開/閉▲部を押してCDぶたを閉めます。



4 SDカードを入れる。



ご注意

microSDおよびmicroSDHCは、専用のSDカードアダプターに入れてから使用してください。詳しくは、「SDカードの使用について」(96ページ)をご覧ください。

5 録音する曲の準備をする。

CDの全曲を録音する場合

そのままの曲順で録音する場合は手順6の操作へ進んでください。

1曲を録音する場合

- ① ◀▶▶▶ ボタンを押して録音する曲を選ぶ。

データCDの場合の曲の選び方については、「データCD (MP3/WMAディスク)のフォルダや曲を選んで聞く」(19ページ)をご覧ください。

- ② 再生して曲を確認し、■ (停止) ボタンを押す。

💡 ちょっと一言

ディスクが完全停止状態のとき(手順①で曲の選択をしなかった場合、または手順②でもう一度■ (停止) ボタンを押した場合)、ディスクの1曲目が録音されます。ディスクの完全停止状態について詳しくは、「再生をやめるには」(17ページ)をご覧ください。

データCDでフォルダ内の全曲を録音する場合

- ① 再生モードを「フォルダ中再生」(31ページ)、または「フォルダリピート」(30ページ)に設定する。
- ② 録音するフォルダを選び、決定ボタンを押す(19ページ)。

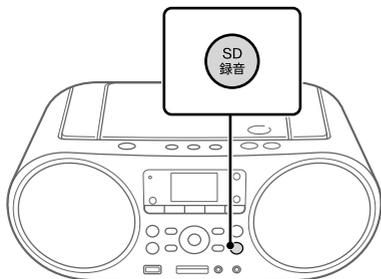
💡 ちょっと一言

- ルートフォルダに曲がある場合にその全曲を録音したいときは、手順②で「全てのフォルダ」を選んで決定ボタンを押します。
- ルートフォルダに曲が無い場合、手順②で「全てのフォルダ」を選んで決定ボタンを押し、次の階層のフォルダを選ばなかったときは、再生順が先頭のフォルダ内の全曲を録音できます。

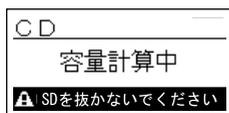
曲をプログラムして録音する場合

「聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム再生)」(31ページ)の手順1～6の操作を行い、曲をプログラム登録する。

6 CDが停止していることを確認し、本体のSD録音ボタンを押す。



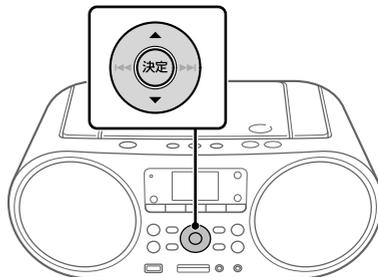
SD録音ボタンが赤く点滅して「録音準備中」と表示されます。本機がSDカードを正常に認識すると、「容量計算中」と表示され、SDカードの空き容量(録音可能容量)の算出が始まります。



ご注意

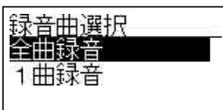
- 容量計算中、録音中は電源ボタンを押しても電源を切ることはできません。
- 容量計算中、録音中に本体のCDボタン、SD/USBボタン、FM/AMボタン、BLUETOOTHボタン、または音声入力ボタンを押すと、「録音を中止しますよろしいですか」と表示されます。録音を続ける場合は「いいえ」を選んで決定ボタンを押してください。「はい」を選んで決定ボタンを押すと録音を中止し、機能が切り換わります。

7 本体の▲▼ボタンを押して録音方法を選び、決定ボタンを押す。



CDの全曲を録音する場合

「全曲録音」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



1曲を録音する場合

本体の▼ボタンを押して「1曲録音」を選び、決定ボタンを押す。



データCDのフォルダ内の全曲を録音する場合

「フォルダ内全曲録音」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

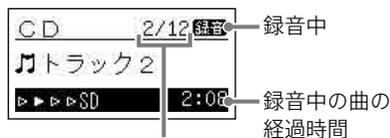


プログラム登録した曲を録音する場合

「登録曲録音」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



録音が始まり、SD録音ボタンが赤く点灯します。録音中の表示は、次のとおりです。録音の最後にデータ保存などの終了処理が始まり、SD録音ボタンが点滅します。処理が完了すると、SD録音ボタンが消灯し、録音が自動的に停止します。



録音中の曲の登録曲番号
／プログラムの登録曲の
総数

録音が始まらず、「SDカードに空きがありません」と表示されたときは、SDカードの空き容量が足りません。いったん録音を中止し、別のSDカードを使うか、不要なデータを削除して空き容量を確保してください(70ページ)。

💡 ちょっと一言

- 録音中は、スピーカーから音は出ません。
- 録音は、CDの収録時間の約半分の時間で完了します。
- 録音が完了すると、自動的に録音が停止します。

再生中の曲を録音するには

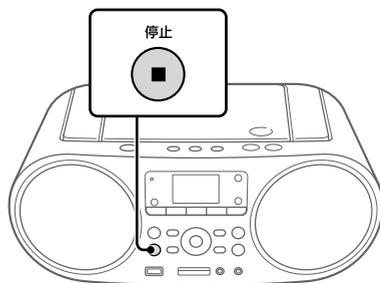
- 録音したい曲を再生する。
- 本体のSD録音ボタンを押す。
再生中の曲の先頭から録音が始まります。

💡 ちょっと一言

- 録音が完了すると、自動的に録音が停止します。CDを再生中または一時停止中に録音を始めた場合、録音完了後は、次の曲の再生が始まります。再生を停止したいときは■（停止）ボタンを押してください。
- 録音対象の曲を一時停止の状態にしても、再生中にSD録音ボタンを押す場合と同様に曲の先頭から録音することができます。ただし録音完了後は、一時停止状態が解除され、次の曲の再生が始まります。

録音を途中でやめるには

- （停止）ボタンを押す。



ご注意

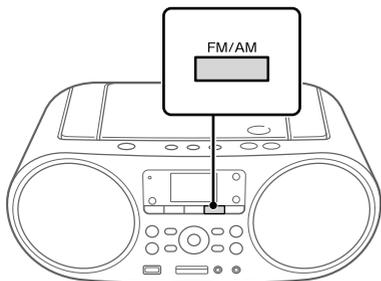
音楽CDの場合に曲の途中で録音を止めると、止めたところまで録音されたMP3/WMAファイルが作成されます。不要な場合は、削除して録音をやり直してください(70ページ)。

録音可能時間を確認するには

- 本体のSD/USBボタンを押して「SD」を選び、設定ボタンを押す。
- 本体の▲▼ボタンを押して「SD」を選び、決定ボタンを押す。
- 「録音可能時間」(79ページ)が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
録音可能時間と空き容量が表示されます。
- 本体の設定ボタンを押して終了する。

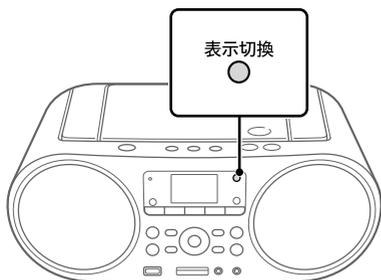
ラジオをSDカードに録音する

- 1 本体のSD/USBボタンを押して「SD」を選ぶ。
- 2 SDカードを入れる(59ページ)。
- 3 FM/AMボタンを押して「FM」または「AM」を選ぶ。
自動で電源が入ります。



- 4 録音する放送局を受信する。
「ラジオを聞く」の手順3 (42ページ) または「放送周波数を選んで聞く(マニュアル選局)」の手順2 (45ページ)をご覧ください。放送局を受信してください。

- 5 本体の表示切換ボタンを押してSDカードの録音可能時間を確認する。



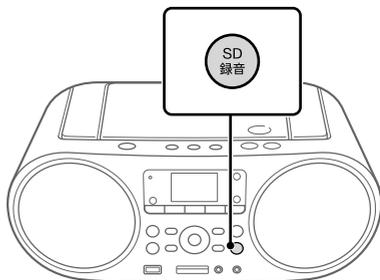
「SD : ****時間録音可能」と表示されます。



表示切り換えボタンを繰り返し押すと、SDカードとUSB機器の録音可能時間の表示が切り換わります。

録音可能時間が十分でないときは、いったん操作を中止し、別のSDカードを使うか、不要なデータを削除して空き容量を確保してください(70ページ)。

- 6 本体のSD録音ボタンを押す。



SD録音ボタンが赤く点滅して「録音準備中」と表示されたあと、録音が始まり、SD録音ボタンが赤く点灯します。録音中の表示は次のとおりです。



- 7 録音を止める。

録音を止めたいところで■ (停止) ボタンを押してください(61ページ)。データ保存などの終了処理が始まり、SD録音ボタンが点滅します。処理が完了すると、SD録音ボタンが消灯します。

ご注意

- CDの曲を録音する場合と異なり、ラジオの録音では録音は自動的に停止しません。
■ (停止) ボタンを押して録音を停止してください。また、ラジオ放送の番組全体を録音する場合は、あらかじめ放送時間やSDカードの録音可能時間を確認してから録音を行ってください。
- 一度に録音できるのは最大18時間です。

外部機器の音声をUSB機器に録音する

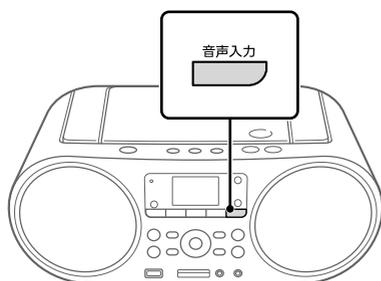
1 本体のSD/USBボタンを押して「USB」を選ぶ。

2 USB機器を差し込む(55ページ)。

3 外部機器をつなぐ。

「外部機器をつないで聞く」(48ページ)の手順1をご覧になり、外部機器の準備をしてください。

4 本体の音声入力ボタンを押す。



5 本体の表示切換ボタンを2回押してUSB機器の録音可能時間を確認する。

「USB: ****時間録音可能」と表示されます。

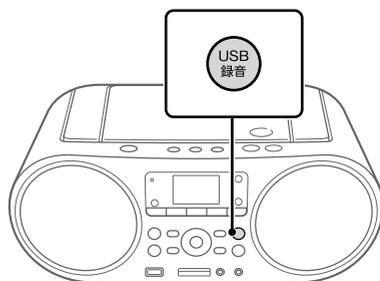


表示切り換えボタンを繰り返し押すと、SDカードとUSB機器の録音可能時間の表示が切り換わります。

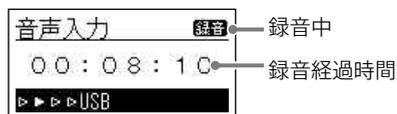
録音可能時間が十分でないときは、いったん操作を中止し、別のUSB機器を使うか、不要なデータを削除して空き容量を確保してください(70ページ)。

6 つないだ機器で再生を始める。

7 本体のUSB録音ボタンを押す。



USB録音ボタンが赤く点滅して「録音準備中」と表示されたあと、録音が始まり、USB録音ボタンが赤く点灯します。録音中の表示は次のとおりです。



8 録音を止める。

録音を止めたいところで■(停止)ボタンを押してください(58ページ)。データ保存などの終了処理が始まり、USB録音ボタンが点滅します。処理が完了すると、USB録音ボタンが消灯します。

ご注意

- CDの曲を録音する場合と異なり、外部機器の音声の録音では録音は自動的に停止しません。
 - (停止)ボタンを押して録音を停止してください。
- 一度に録音できるのは最大18時間です。

外部機器の音声をSDカードに録音する

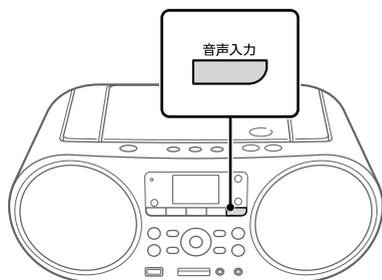
1 本体のSD/USBボタンを押して「SD」を選ぶ。

2 SDカードを入れる(59ページ)。

3 外部機器をつなぐ。

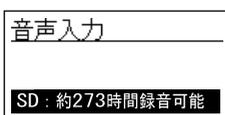
「外部機器をつないで聞く」(48ページ)の手順1をご覧になり、外部機器の準備をしてください。

4 本体の音声入力ボタンを押す。



5 本体の表示切換ボタンを押してSDカードの録音可能時間を確認する。

「SD : ****時間録音可能」と表示されます。

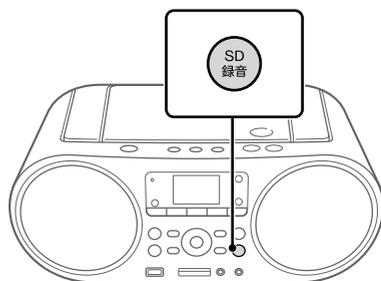


表示切り換えボタンを繰り返し押すと、SDカードとUSB機器の録音可能時間の表示が切り換わります。

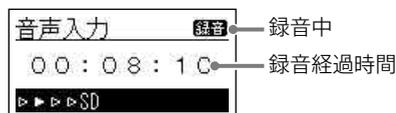
録音可能時間が十分でないときは、いったん操作を中止し、別のSDカードを使うか、不要なデータを削除して空き容量を確保してください(70ページ)。

6 つないだ機器で再生を始める。

7 本体のSD録音ボタンを押す。



SD録音ボタンが赤く点滅して「録音準備中」と表示されたあと、録音が始まり、SD録音ボタンが赤く点灯します。録音中の表示は次のとおりです。



8 録音を止める。

録音を止めたいところで■(停止)ボタンを押してください(61ページ)。データ保存などの終了処理が始まり、SD録音ボタンが点滅します。処理が完了すると、SD録音ボタンが消灯します。

ご注意

- CDの曲を録音する場合と異なり、外部機器の音声の録音では録音は自動的に停止しません。
 - (停止)ボタンを押して録音を停止してください。
- 一度に録音できるのは最大18時間です。

ラジオの予約録音をする

お気に入りのラジオ番組を予約して、USB機器やSDカードに録音することができます。1回の予約録音で録音できるのは最大6時間で、最大10件の予約が設定できます。

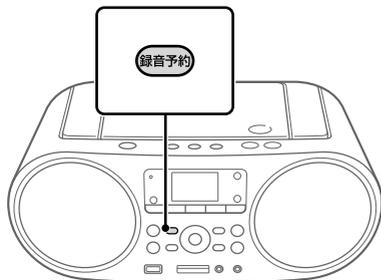
あらかじめ、次の準備をしてください。

- 時計を合わせる (13ページ)。
- 録音したい放送局が登録されているか確認する (12ページ、46ページ)。
- USB機器またはSDカードの録音可能時間が十分あるか確認する (79ページ)。
- SDカードをお使いの場合は、書き込み禁止スイッチが解除されているか確認する (97ページ)。

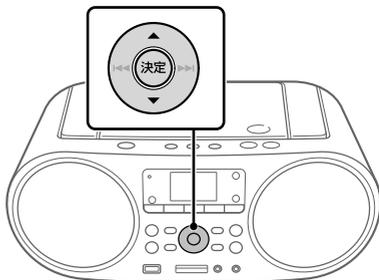
1 電源を入れる。

2 USB機器を差し込む(55ページ)、またはSDカードを入れる(59ページ)。

3 本体の録音予約ボタンを押す。



4 「新規予約」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



5 本体の▲▼ボタンを押して録音先(「SD」または「USB」)を選び、決定ボタンを押す。



6 予約の繰り返しを設定する。

1回のみ予約録音する場合

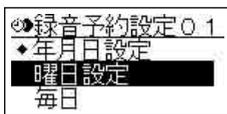
- 1 「年月日設定」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



- 2 年月日を合わせる。
「準備6：時計を合わせる(初期設定)」の手順2～4 (13ページ)と同じように操作して「年」、「月」、「日」を合わせます。

曜日を指定して繰り返す場合

- 1 本体の▲▼ボタンを押して「曜日設定」を選び、決定ボタンを押す。



- 2 ◀▶▶▶ボタンを押して録音予約したい曜日を選び、決定ボタンを押す。選んだ曜日には、チェックが入ります。チェックを外したいときは、もう一度決定ボタンを押してください。



- 3 複数の曜日を指定するときは、手順2を繰り返す。
- 4 本体の▼ボタンを押して「次へ」を選び、決定ボタンを押す。

毎日繰り返す場合

本体の▲▼ボタンを押して「毎日」を選び、決定ボタンを押す。



7 録音の開始時刻と終了時刻を設定する。

「準備6：時計を合わせる(初期設定)」の手順5～6(14ページ)と同じように操作して「時」と「分」を合わせます。最後に設定した時刻を確認し、決定ボタンを押します。

💡 ちょっと一言

- 「アラームと重複しています」と表示されたときは、録音予約の設定時間をずらすか、いったん録音予約設定を中断してアラームを変更してください。設定時間をずらすときは、「時刻の修正」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押してください。手順7に戻ります。

アラームを変更するときは、本体の▼ボタンを押して「登録の中止」を選んで決定ボタンを押し、戻るボタンで録音予約を中断し、アラームを変更してください(51ページ)。

- 「録音予約xxと重複しています」(xxは録音予約の番号)と表示されたときは、設定中の録音予約の時間をずらすか、いったん録音予約設定を中断して表示された番号の録音予約を削除してください。

設定中の録音予約の時間をずらすときは、「時刻の修正」が選択されていることを確認して決定ボタンを押してください。手順7に戻ります。

表示された番号の録音予約を削除するときは、本体の▼ボタンを押して「登録の中止」を選び、決定ボタンを押してから録音予約を削除してください(70ページ)。

8 本体の▲▼ボタンを押して録音したい音源(「FM」または「AM」)を選び、決定ボタンを押す。



9 本体の▲▼ボタンを押して録音したい放送局を選び、決定ボタンを押す。

地域設定(12ページ)で登録された放送局は放送局名、それ以外で登録した放送局(46ページ)は周波数で表示されます。



10 ◀◀▶▶ ボタンを押して予約内容を確認し、決定ボタンを押す。

登録した順に予約の番号がつけられます。録音予約されているときは、表示窓に

 (録音予約) が点灯します。

ちょっと一言

- 手順10で決定ボタンを押す前であれば、本体の戻るボタンを押して1つ前の画面に戻し、設定し直すことができます。
- 「設定しました 録音可能時間が不足しています」と表示されたときは、録音が開始しても設定した終了時刻より早く終了します。録音可能時間を確認し(79ページ)、別のUSB機器またはSDカードを使うか不要なデータを削除して、空き容量を確保してください(70ページ)。

録音予約を確認するには

- 1 本体の録音予約ボタンを押す。
- 2 本体の▼ボタンを押して「予約済み一覧」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 本体の▲▼ボタンを押して確認したい録音予約の番号を選び、決定ボタンを押す。
- 4 ◀◀▶▶ボタンを押して内容を確認する。予約内容を変更するときは、「録音予約の内容を変更するには」の手順4へ進んでください。
- 5 本体の録音予約ボタンを押して確認を終了する。

録音予約の内容を変更するには

- 1 本体の録音予約ボタンを押す。
- 2 本体の▼ボタンを押して「予約済み一覧」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 本体の▲▼ボタンを押して変更する録音予約の番号を選び、決定ボタンを押す。
- 4 「編集」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- 5 「内容変更」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- 6 「ラジオの予約録音をする」の手順5～10に従い、録音予約の内容を変更する。

録音予約を削除するには

- 1 本体の録音予約ボタンを押す。
- 2 本体の▼ボタンを押して「予約済み一覧」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 本体の▲▼ボタンを押して削除したい録音予約の番号を選び、決定ボタンを押す。
- 4 「編集」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- 5 本体の▼ボタンを押して「削除」を選び、決定ボタンを押す。
- 6 本体の▲ボタンを押して「実行」を選び、決定ボタンを押す。
- 7 本体の録音予約ボタンを押して録音予約の削除を終了する。

ご注意

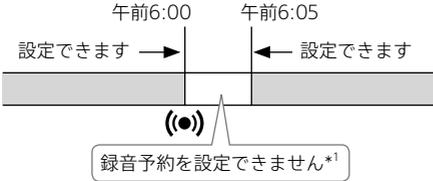
- 時計用電池を本体に入れていない状態で(または電池が消耗した状態で)電源コードを抜いたり、停電になった場合、録音予約の内容は保持されますが、時計設定はリセットされます。もう一度時計を設定してください。
- 電源がオフの状態では、録音開始1分前からUSB録音ボタンまたはSD録音ボタンが赤く点滅し、予約録音中は赤く点灯した状態になります。このとき、音声は出力されません。
- 電源がオンの状態で予約録音開始時刻の1分前になると、予約録音が優先され、録音する放送局に切り換わります。予約録音が終了しても、引き続き録音した放送局を受信します。
- 予約録音開始時刻に電源がオフの状態でも録音できます。録音終了前の電池切れなどの問題を回避するため、電源コードを接続しておくことをおすすめします。

予約時刻の制限について

設定済みの録音予約やアラーム設定と時刻が重なる場合、録音予約を設定できなかったり、録音を設定時刻より早く終了します。

アラームの設定時刻から5分間は、予約録音の開始時刻または終了時刻を設定することはできません。

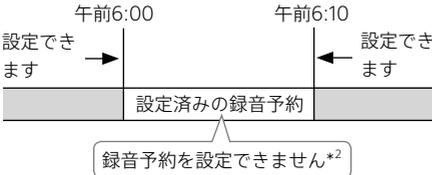
(例) 午前6:00にアラームを設定している場合



*1 時刻設定の完了時に「アラームと重複しています」と表示されます。

設定済みの録音予約と重なる時刻に、別の録音の開始時刻または終了時刻を設定することはできません。

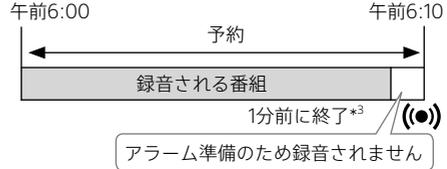
(例) 午前6:00～6:10の番組をすでに録音予約している場合



*2 「録音予約xxと重複しています」と表示されます。(xxは録音予約の番号(1-10))

予約録音の終了時刻とアラームの設定時刻が重なる場合、録音が設定した時刻より早く終了します。

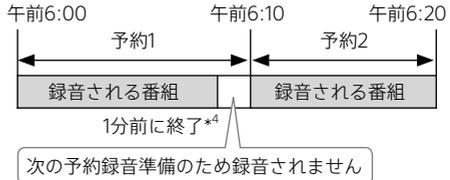
(例) 午前6:00～6:10の番組を録音予約し、アラームを午前6:10に設定している場合



*3 「連続予約のため録音を約1分早く終了します」と表示されます。

予約録音が連続する場合、先行する録音を設定した時刻より早く終了します。

(例) 午前6:00～6:10と午前6:10～6:20の番組を録音予約している場合



*4 「連続予約のため録音を約1分早く終了します」と表示されます。

ご注意

次のような場合も録音予約を設定することができません。

- 開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定しようとした場合
- 開始時刻の1分後に終了時刻を設定しようとした場合
- 開始時刻の6時間後よりもあとに終了時刻を設定しようとした場合
- 設定しようとした終了時刻がすでに過ぎている場合

録音した曲や音声を削除する

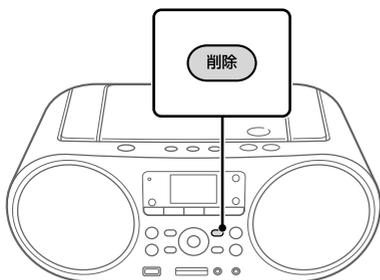
削除するフォルダやファイルを間違えないよう、あらかじめ再生をしてフォルダ番号やファイル番号を控えておいてください。

ご注意

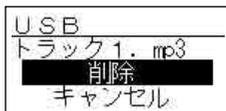
シャッフル再生やプログラム再生のときは、録音した曲を削除できません。シャッフル再生やプログラム再生が設定されている場合は、設定メニューから再生モードを「通常再生」に設定してください(79ページ)。

USB機器／SDカードのデータを削除する

- 1 本体のSD/USBボタンを押し、「USB」または「SD」を選ぶ。
- 2 USB機器を差し込む(55ページ)、またはSDカードを入れる(59ページ)。
- 3 本体の▲▼ボタンを押し、削除したい曲(またはフォルダ)を選ぶ。
別のフォルダや別のフォルダ内の曲を削除したいときは、本体の戻るボタンを繰り返し押し、目的のフォルダまたは曲を選択してください。
- 4 本体の削除ボタンを押す。



- 5 ▲ボタンを押して「削除」を選び、決定ボタンを押す。



「削除中」と表示されます。表示窓に「削除中」が表示されている間は、USB機器またはSDカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。削除が完了すると、「削除しました」と表示されます。

再生中の曲を削除するには

- 1 曲の再生中に本体の削除ボタンを押す。
- 2 本体の▲ボタンを押して「削除」を選び、決定ボタンを押す。

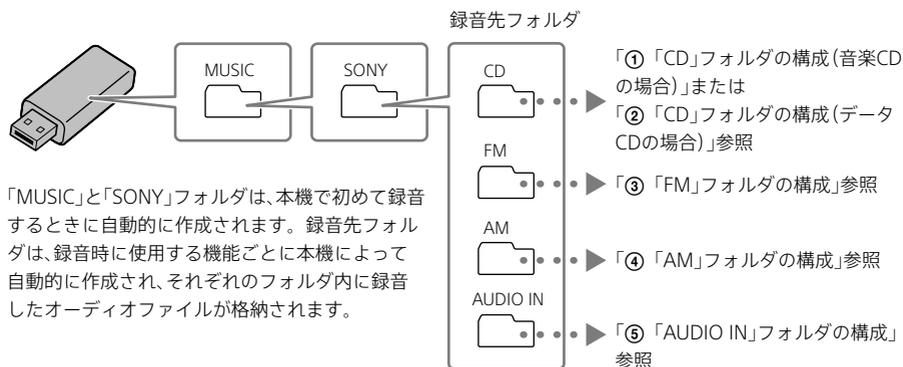
USB機器またはSDカードのデータを一度にすべて削除するには

「全削除」(80ページ)をご覧ください。

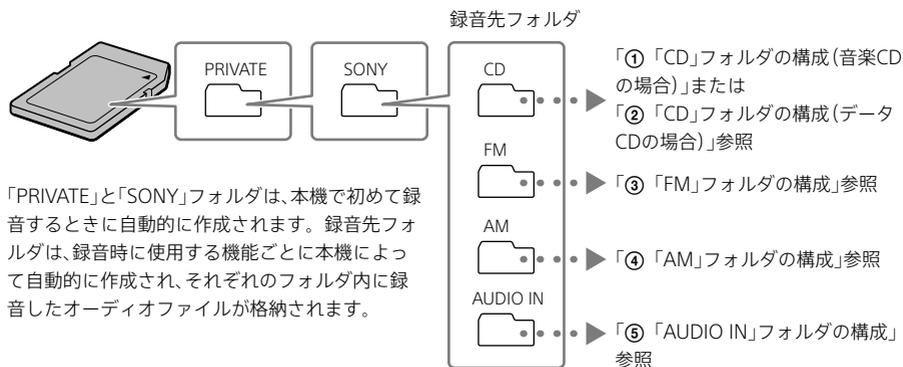
USB機器／SDカードのフォルダ(グループ)構成と録音データについて

本機でUSB機器またはSDカードに録音すると、録音データ(オーディオファイル)は次のフォルダ(グループ)構成でUSB機器またはSDカード上に格納されます。

USB機器上のフォルダ構成

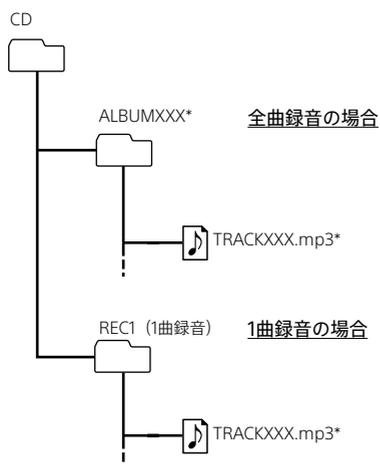


SDカード上のフォルダ構成



① 「CD」フォルダの構成(音楽CDの場合)

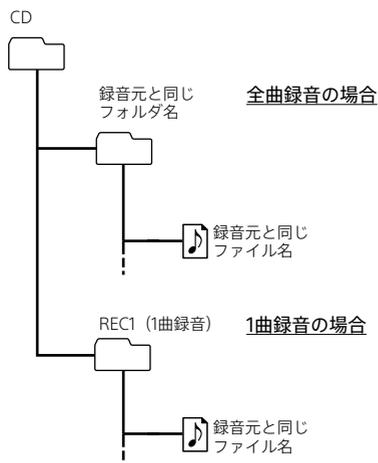
音楽CDからUSB機器またはSDカードに録音した場合、全曲まとめて録音するか、1曲単位で録音するかでそれぞれ次のフォルダ構成でオーディオファイルが格納されます。



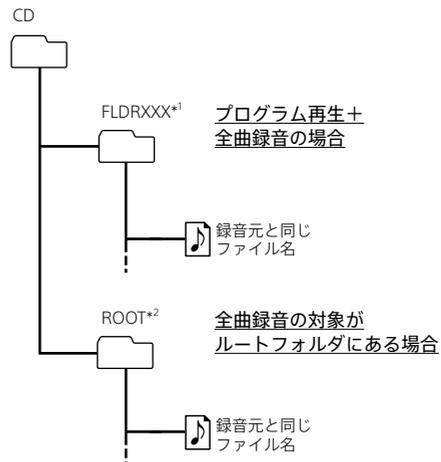
* 「XXX」には連番の数字(001～999)が入ります。

② 「CD」フォルダの構成(データCDの場合)

データCD (MP3ディスク、WMAディスク)からUSB機器またはSDカードに録音した場合、全曲まとめて録音するか、1曲単位で録音するかでそれぞれ次のフォルダ構成でオーディオファイルが格納されます。

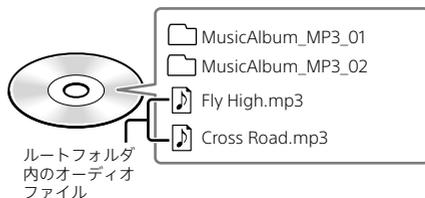


なお、データCDからプログラム再生(31ページ)の設定を行ってシンクロ録音をした場合と、データCD上のルートフォルダ内のオーディオファイルを録音した場合のフォルダ構成は、次のとおりとなります。



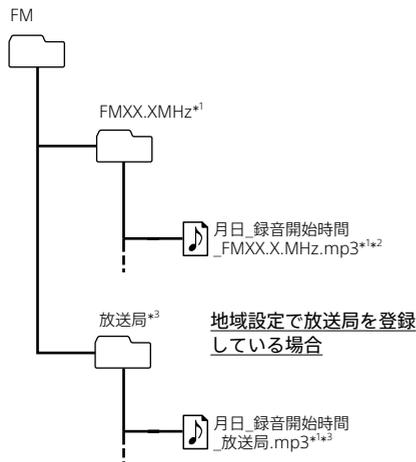
*1 「XXX」には連番の数字(001～999)が入ります。

*2「ROOT」は、データCD上のルートフォルダ内のオーディオファイルを録音したときに格納するためのフォルダです。データCD作成時にフォルダに入れずにオーディオファイルを記録すると、ディスク上の最上層フォルダ(ルートフォルダ)にオーディオファイルが記録されます。不可視の設定の特別なフォルダのため、見かけ上は下図の例のようにフォルダに入っていない状態に見えます。



③ 「FM」フォルダの構成

FMラジオ放送をUSB機器またはSDカードに録音した場合は、次のフォルダ構成でオーディオファイルが格納されます。



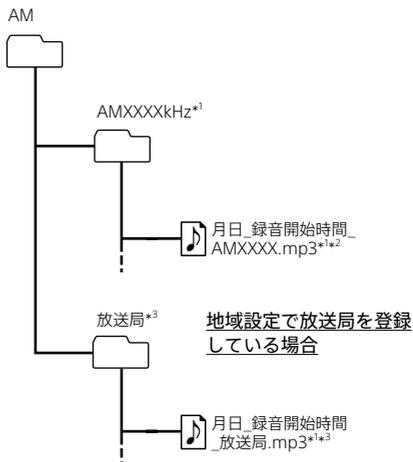
*1 「XX.X」には周波数の数字が入ります。

*2 録音した日時と周波数がファイル名になります。
(例:07月15日_0123_FM79.8MHz.mp3)

*3 地域設定 (12ページ) で放送局を登録している場合は、放送局名がフォルダ・ファイル名に使用されます。

④ 「AM」フォルダの構成

AMラジオ放送をUSB機器またはSDカードに録音した場合は、次のフォルダ構成でオーディオファイルが格納されます。



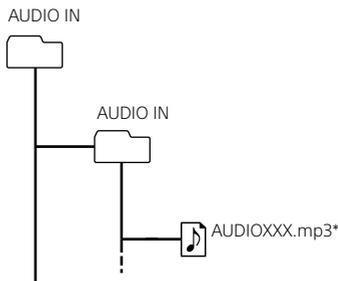
*1 「XXXX」には周波数の数字が入ります。

*2 録音した日時と周波数がファイル名になります。
(例:07月15日_0123_AM1234kHz.mp3)

*3 地域設定 (12ページ) で放送局を登録している場合は、放送局名がフォルダ・ファイル名に使用されます。

⑤ 「AUDIO IN」フォルダの構成

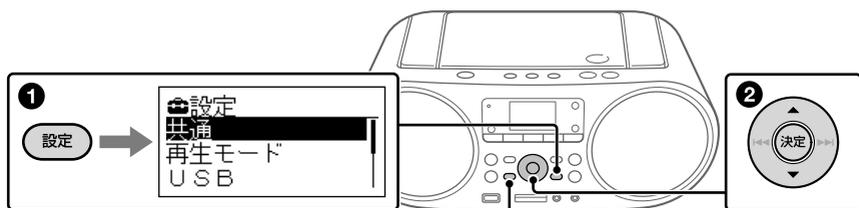
本機に接続した外部機器の音声をUSB機器またはSDカードに録音した場合は、次のフォルダ構成でオーディオファイルが格納されます。



* 「XXX」には連番の数字 (001 ~ 999) が入ります。

設定ボタンから設定する

電源が入っているときに本体の設定ボタンを押すと、さまざまな設定ができます。表示される項目は、使用状況によって異なります。



1 本体の設定ボタンを押して、設定画面に切り換える。

1つ前の画面に戻すには、本体の戻るボタンを押します。

2 本体の▲▼ボタンを押して「共通」、「再生モード」、「USB」、「SD」、「ラジオ」、「BLUETOOTH」から設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。

設定できる項目は次のとおりです。設定方法については、それぞれの項目をご覧ください。

共通

項目	できること
アラーム (51ページ)	アラームの動作を設定します。
画面の明るさ (75ページ)	表示窓の画面の明るさを調整します。
日付と時刻 (75ページ)	日付と時刻を設定します。
自動時刻補正 (76ページ)	時報を使って、自動で時計のずれを修正します。
時計用電池残量 (77ページ)	時計用電池の残量を確認できます。
コントラスト (77ページ)	表示窓の画面の濃淡を調整します。
設定初期化 (78ページ)	設定メニューのすべての設定値をお買い上げ時の状態に戻します。

再生モード

リピートやシャッフルなど曲の再生方法を設定します。(29ページ)

CD、USB機器、SDカード使用時のみ設定できます。

項目	できること
通常再生	全曲を曲順通りに再生します。
1曲リピート	1曲だけ繰り返します。
全曲リピート	全曲を繰り返します。
フォルダ中再生	MP3またはWMAディスク、USB機器、SDカードで、指定したフォルダ内の全曲を再生します。
フォルダリピート	MP3またはWMAディスク、USB機器、SDカードで、指定したフォルダ内の全曲を繰り返して再生します。
シャッフル再生	全曲を順不同に再生します。
PGM プログラム再生	聞きたい曲を聞きたい順にプログラム登録して再生します。
PGM プログラムリピート	プログラム登録した曲を繰り返して再生します。

USB

USB機器使用時のみ設定できます。

項目	できること
録音可能時間 (79ページ)	USB機器の録音可能時間を調べます。
USB情報 (79ページ)	USB機器内のフォルダ数・総ファイル数を確認できます。
全削除 (80ページ)	USB機器内にある本機が対応するオーディオファイルをすべて削除します。

SD

SDカード使用時のみ設定できます。

設定できる項目はUSBと同様です。

ラジオ

ラジオ受信時のみ設定できます。

項目	できること
地域設定 (81ページ)	地域を設定します。
ラジオ局自動登録 (46ページ)	受信状態の良い放送局を自動的に登録局番号に記憶させます。
ラジオ局手動登録 (81ページ)	特定の登録局番号に放送局を記憶させます。
登録局削除 (82ページ)	登録した登録局番号を削除します。
FMモード (82ページ)	ステレオとモノラルを切り換えます。

BLUETOOTH

BLUETOOTH機能のときのみお使いいただけます。

項目	できること
接続履歴削除 (41ページ)	ペアリング情報を削除します。
スタンバイ (39ページ)	BLUETOOTHスタンバイ機能のオン/オフの設定をします。

共通設定

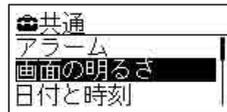
アラーム

アラームのオン/オフ、繰り返し、開始時間、音源、音量を設定します。
「タイマーを使って目覚める(アラーム)」
(51ページ)の手順をご覧ください。

画面の明るさ

表示窓の画面の明るさを3段階の中から選んで設定できます。

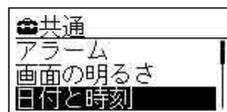
- 1 本体の設定ボタンを押す。
- 2 「共通」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- 3 本体の▲▼ボタンを押して「画面の明るさ」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 本体の▲▼ボタンを押して好みの設定を選び、決定ボタンを押す。
 明るい(初期設定)：画面が明るくなります。
 暗い：画面が暗くなります。
 オフ：画面のバックライトが消えます。
- 5 本体の設定ボタンを押して設定を終了する。

日付と時刻

- 1 本体の設定ボタンを押す。
- 2 「共通」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- 3 本体の▲▼ボタンを押して「日付と時刻」を選び、決定ボタンを押す。



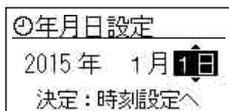
- 4 本体の▲▼ボタンで設定したい「年」を選び、決定ボタンを押す。



- 5 本体の▲▼ボタンで設定したい「月」を選び、決定ボタンを押す。



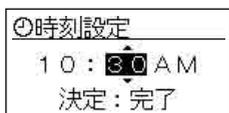
- 6 本体の▲▼ボタンで設定したい「日」を選び、決定ボタンを押して時刻設定に進む。



- 7 本体の▲▼ボタンで「時」を合わせ、決定ボタンを押す。



- 8 本体の▲▼ボタンで「分」を合わせ、決定ボタンを押して設定を完了する。



- 9 本体の設定ボタンを押して設定を終了する。

自動時刻補正

本機はNHK第1放送またはNHK第2放送の時報を検出し、自動で時刻を補正することができます。自動時刻補正を「オン」に設定すると、毎日午後0:00、午後4:00、午後8:00の時刻に3回の補正が行われます。

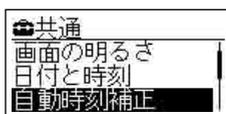
時刻補正を行うためには次の条件を満たしている必要があります。

- 電源コードが接続されている。
 - 本機の時計と時報の時刻のずれが3分以内である。
 - AMの登録局番号P01にNHK第1放送またはNHK第2放送が登録されて受信できる環境である。(45ページ) *。
 - 本機の電源を切っている。
- * 地域設定(12ページ、81ページ)が完了している場合は、AMの登録局番号P01にはNHK第1放送がすでに登録されていて、自動時刻補正は自動的に「オン」に設定されます。

- 1 本体の設定ボタンを押す。

- 2 「共通」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

- 3 本体の▲▼ボタンを押して「自動時刻補正」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 本体の▲▼ボタンを押して「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す。



オン：自動時刻補正の機能を有効にします。
オフ(初期設定)：自動時刻補正の機能を無効にします。

- 5 本体の設定ボタンを押して設定を終了する。

ご注意

以下の場合は自動時刻補正が機能しません。

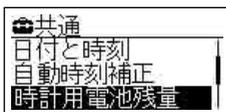
- －時計を設定していない場合
- －AMの登録局番号P01にNHK第1放送またはNHK第2放送が登録されていない場合
- －ラジオの受信状態が悪い場合
- －BLUETOOTHスタンバイ機能をオンにしている場合(39ページ)
- －ラジオの時報が放送の音と重なって明瞭でない場合

- 電源が入っている場合
- 電源コードを接続していない場合
- 予約録音動作中
- アラーム動作中
- 予約録音終了時刻と時刻補正開始時刻が同じ場合
- 時計設定で設定された時刻が3分以上ずれている、処理中に時報音が検出できない場合

時計用電池残量

時計用電池の残量を一目で確認することができます。

- 1 本体の設定ボタンを押す。
- 2 「共通」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- 3 本体の▲▼ボタンを押して「時計用電池残量」を選び、決定ボタンを押す。

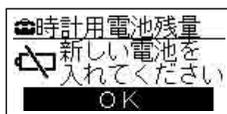


「新しい電池を入れてください」と表示された場合、すべての電池を交換してください。

電池残量がある場合



電池残量がない場合

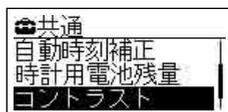


- 4 本体の設定ボタンを押して終了する。

コントラスト

表示窓の画面の濃淡を9段階で調整できます。

- 1 本体の設定ボタンを押す。
- 2 「共通」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- 3 本体の▲▼ボタンを押して「コントラスト」を選び、決定ボタンを押す。



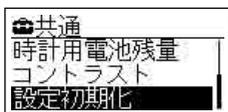
- 4 ◀▶▶▶ボタンでコントラストを調節し、決定ボタンを押す。



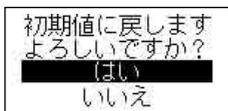
- 5 本体の設定ボタンを押して設定を終了する。

設定初期化

- 1 本体の設定ボタンを押す。
- 2 「共通」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- 3 本体の▼ボタンを押して「設定初期化」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 本体の▲ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押す。



初期化が完了すると「初期化しました」と表示され、本機の電源が自動的に切れます。日付と時刻の設定や地域設定、録音予約設定などの各種設定はお買い上げ時の状態にリセットされますので、電源を入れて設定をやり直してください。

再生モードの設定

CD/USB機器/SDカードについて、曲順の変更や繰り返しを設定して再生できます。「いろいろな再生方法で音楽を聞く」(29ページ)の手順をご覧ください。

全曲または1曲を繰り返して再生するには(↺)

「繰り返し聞く(リピート再生)」(29ページ)をご覧ください。

全曲を順不同に再生するには(↻)

「順不同に聞く(シャッフル再生)」(30ページ)をご覧ください。

フォルダを選択して再生するには(□)

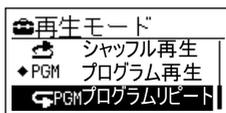
「選んだフォルダ内の曲だけを聞く(フォルダ中再生)」(31ページ)をご覧ください。

曲と曲順を指定して再生するには(PGM)

「聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム再生)」(31ページ)をご覧ください。

曲と曲順を指定して繰り返し再生するには(↺ PGM)

- 1 再生が停止していることを確認し、本体の設定ボタンを押す。
- 2 本体の▲▼ボタンを押して「再生モード」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 本体の▲▼ボタンを押して「PGM プログラムリピート」を選び、決定ボタンを押す。



再生モードが「プログラムリピート再生」に切り換わります。

- 4 「聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム再生)」(31ページ)の手順3～7の操作を行う。

通常再生について

全曲を曲順通りに再生します。通常再生に戻すには、次の手順で再生モードを切り換えます。

- 1 本体の設定ボタンを押してから▲▼ボタンを押して「再生モード」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 ▲ボタンを押して「通常再生」を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

CDふたを開けたとき、USB機器またはSDカードを交換したとき、および本体の電源を入れ直したときは、再生モードが「通常再生」に戻ります。

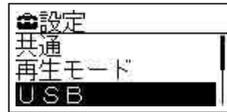
USB機器/SDカード使用時の設定

USB機器を差し込んでから、またはSDカードを入れてから設定してください。

録音可能時間

USB機器またはSDカードの録音可能時間と残容量を表示します。

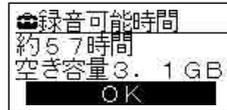
- 1 本体の設定ボタンを押す。
- 2 本体の▲▼ボタンを押して「USB」または「SD」を選び、決定ボタンを押す。



- 3 「録音可能時間」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



録音可能時間と空き容量が表示されます。



決定ボタンを押すとひとつ前の画面に戻ります。

- 4 本体の設定ボタンを押して終了する。

USB情報/SD情報

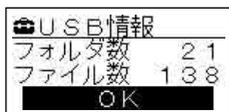
USB機器またはSDカード内の総フォルダ数・総ファイル数を表示します。

- 1 本体の設定ボタンを押す。
- 2 本体の▲▼ボタンを押して「USB」または「SD」を選び、決定ボタンを押す。

- 3 本体の▲▼ボタンを押して「USB情報」または「SD情報」を選び、決定ボタンを押す。



フォルダ数とファイル数が表示されます。



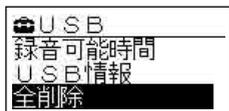
決定ボタンを押すとひとつ前の画面に戻ります。

- 4 本体の設定ボタンを押して終了する。

全削除

USB機器またはSDカード内にある本機が対応するオーディオファイルをすべて一度に削除します。

- 1 本体の設定ボタンを押す。
- 2 本体の▲▼ボタンを押して「USB」または「SD」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 本体の▼ボタンを押して「全削除」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 本体の▲ボタンを押して「全削除」を選び、決定ボタンを押す。



「削除中」と表示されます。表示窓に「削除中」が表示されている間は、USB機器またはSDカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

削除が完了すると、「削除しました」と表示されます。

- 5 本体の設定ボタンを押して設定を終了する。

ご注意

一度削除したデータは元に戻すことはできません。データを削除する際は、充分注意して行ってください。

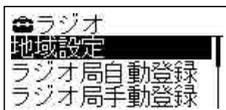
ラジオ受信時の設定

地域設定

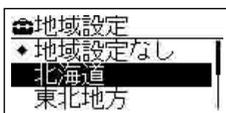
- 1 FM/AMボタンを押してラジオを受信する。
- 2 本体の設定ボタンを押す。
- 3 本体の▲▼ボタンを押して「ラジオ」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 「地域設定」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

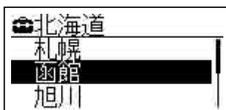


- 5 本体の▲▼ボタンでお住まいの地方を選び、決定ボタンを押す。

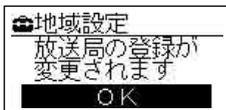


「地域設定なし」を選ぶと、放送局は登録されず、自動時刻補正(76ページ)も働きません。

- 6 本体の▲▼ボタンでお住まいの地域を選び、決定ボタンを押す。



- 7 決定ボタンを押して登録を完了する。



設定できる地域については13ページをご覧ください。

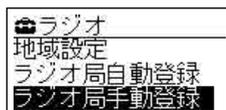
ラジオ局自動登録

「ラジオ放送局を自動で登録する(ラジオ局自動登録)」(46ページ)の手順をご覧ください。

ラジオ局手動登録

電波が弱く、ラジオ局自動登録で記憶できない局があるときや、特定の登録局番号に放送局を記憶させたいときに便利です。

- 1 記憶させたい放送局を受信する。
- 2 本体の設定ボタンを押す。
- 3 本体の▲▼ボタンを押して「ラジオ」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 本体の▲▼ボタンを押して「ラジオ局手動登録」を選び、決定ボタンを押す。

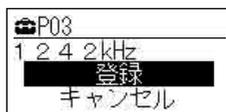


- 5 本体の▲▼ボタンを押して登録したい番号を選び、決定ボタンを押す。

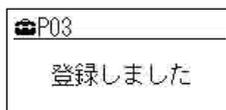


FM受信時はP01～P20、AM受信時はP01～P10から番号を選べます。

- 6 本体の▲ボタンを押して「登録」を選び、決定ボタンを押す。



「登録しました」と表示されます。



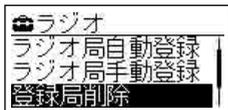
ご注意

自動時刻補正機能(76ページ)を使用する場合は、AMの登録局番号P01にNHK第1放送またはNHK第2放送を登録してください。

登録局削除

登録局番号に登録されている放送局を削除します。

- 1 FM/AMボタンを押して「FM」または「AM」を選ぶ。
- 2 本体の設定ボタンを押す。
- 3 本体の▲▼ボタンを押して「ラジオ」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 本体の▲▼ボタンを押して「登録局削除」を選び、決定ボタンを押す。



- 5 本体の▲▼ボタンを押して削除したい番号を選び、決定ボタンを押す。

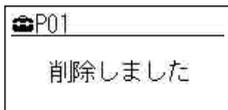


すべての登録局を削除する場合は、「全削除」を選びます。

- 6 本体の▲ボタンを押して「削除」(または「全削除」)を選び、決定ボタンを押す。



「削除しました」と表示されます。

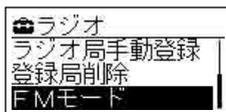


- 7 本体の設定ボタンを押して終了する。

FMモード

本機では、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。AMの放送は常にモノラルになります。

- 1 FM/AMボタンを押して「FM」を選ぶ。
- 2 本体の設定ボタンを押す。
- 3 本体の▲▼ボタンを押して「ラジオ」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 本体の▼ボタンを押して「FMモード」を選び、決定ボタンを押す。



- 5 本体の▲▼ボタンを押して好みの設定を選び、決定ボタンを押す。



自動ステレオ(初期設定)：音声をステレオで受信します。

常時モノラル：音声をモノラルで受信します。

- 6 本体の設定ボタンを押して設定を終了する。

BLUETOOTH使用時の設定

接続履歴削除

登録されているすべてのペアリング情報を削除します。

「ペアリング情報を消去するには」(41ページ)の手順をご覧ください。

スタンバイ

BLUETOOTHスタンバイ機能のオン／オフの設定をします。

「BLUETOOTHスタンバイ機能を使うには」(39ページ)の手順をご覧ください。

故障かな?と思ったら

本機が正しく動作しないときは、下記の項目をチェックしてください。

それでも正しく動作しないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

共通

電源が入らない。

- 電源コードをAC IN端子の奥に当たるまでしっかり差し込む。
- 時計用電池のみでは、本機は動作しません。
- 本体用電池を正しく入れる。
- 本体用電池が消耗している。
 - すべて新しいものと交換する。または電源コードを接続する。
- 買い置きしたまま長時間放置した乾電池を入れた場合、消耗している可能性があります。販売店で新しい電池を購入して交換してみてください。(乾電池は未開封でも時間とともに消耗していきます。消耗する早さは、乾電池の保管場所の温度などによって異なります。)

電池の消耗が早い。

- 本体用電池にマンガン電池をお使いの場合、使用時間が著しく短くなることがあります。乾電池で使う場合は、アルカリ乾電池をお使いください。

音が出ない。

- 音量を調節する。
- スピーカーで聞くとときは、ヘッドホンをつなぐ(ヘッドホン)端子から抜く。
- 現在選択されている機能を、表示窓のテキスト情報表示部(104ページ)のいちばん上の行で確認する。
 - 聞きたい音源の機能になっていない場合は、本体のCDボタン、SD/USBボタン、BLUETOOTHボタン、FM/AMボタン、音声入力ボタンを押すか、またはリモコンの機能選択ボタンを繰り返し押して機能を選択する。

電源が切れる

- おやすみタイマーが働いた可能性があります(50ページ)。

本体から「ブーン」と小さいノイズ音がある。

- 電源の状況により本体から「ブーン」と小さいノイズ音がある場合がありますが、故障ではありません。

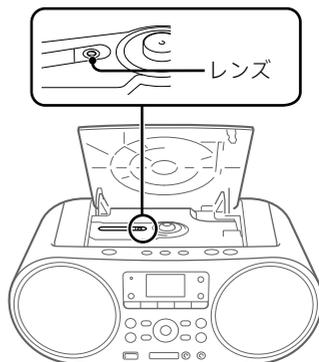
雑音が入る。

- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。
 - 携帯電話などを本機から離して使用する。

CD

CDが入っているのに「再生できるCDを入れてください」が表示される。

- CDが裏返しになっている。
 - 文字のある面を上にする。
- CDの汚れがひどい。
 - クリーニングする(92ページ)。
- レンズに露(水滴)がついている。
 - CDを取り出して電源を切り、CDぶたを開けたまま1時間くらい置く。



- パソコンやCDレコーダーで作成されたCD-R/CD-RWディスクを本機で再生する場合は、ディスクのファイナライズ処理(通常のCDプレイヤーで再生できるようにする処理)が必要です。ファイナライズ処理されていないディスクは本機では再生できません。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります(94ページ)。

再生が始まらない。

- CDぶたが閉まっていることを確認する。
- 本体用電池が消耗している。
→ すべて新しいものと交換する。または電源コードを接続する。

ディスクをセットすると「ファイルがありません」が表示される。

- CD-R/CD-RWにMP3/WMA形式のオーディオファイル(曲)が記録されていない。
→ 対応するフォーマット*を確認する(98ページ)。

* AAC形式のオーディオファイルは、USB機器またはSDカードでのみ再生することができます。

フォルダを選択すると「ファイルがありません」が表示される。

- フォルダ内にMP3/WMA形式のオーディオファイル(曲)がない。

音飛び。

雑音が入る。

- 音量が大きすぎると、音飛びことがあります。
→ 音量を下げる。
- CDの汚れがひどい。
→ クリーニングする(92ページ)。
- CDに傷がある。
→ CDを取り換える。
- 本機を振動のない場所に置く。
- CD-R/CD-RWのディスク自体の品質やディスク作成時の作成環境によっては、ディスクの記録品質が最適な状態にならないことがあります。このようなディスクではデータが読み取りにくく、再生時に振動や音飛びが発生することがあります。使用するディスクのブランドを変えてみる、書き込み速度を遅くするなどしてディスクを作成し直してください。
- 著作権保護機能付き音楽ディスクの中には、コンパクトディスク(CD)規格に準拠していないものも販売されています(91ページ)。そのようなディスクを再生すると、異音が発生したり、ディスクの振動によって音飛びが発生することがあります。本機ではそのようなディスクの動作は保証していません。

MP3/WMAファイルを再生できない

- オーディオファイルの拡張子が適切でない。本機が対応するオーディオファイルのフォーマットは、次のとおりです。
– MP3：拡張子「.mp3」
– WMA：拡張子「.wma」
- オーディオファイルがMP3、WMA以外のフォーマットで作成された。
- MP3-PRO形式で作成されているオーディオファイルは、本機では再生できません。
- WMAファイルが、WMA DRM/WMA Lossless/WMA PRO形式で作成されている。本機は、これらの形式に対応していません。
- 本機が認識可能な最大階層(フォルダレベル)を超えている(8階層まで認識可能)。
- データCDに記録されているフォルダ数が256を超えている。
- ファイル総数が999を超えている。
- パスワードでプロテクトされたファイル、暗号化によって保護されたファイルは再生できません。

DVD、BD(ブルーレイディスク)が本機に認識されない

- 本機でDVD、BDの再生はできません。詳しくは「再生できるディスクについて」(94ページ)をご覧ください。

再生が始まるまでに時間がかかる。

- 次のような場合、ディスクの再生が始まるまでにしばらく時間がかかることがあります。
– ディスク内のファイル構造が極端に複雑になっている。
– ディスク内のフォルダ数が多すぎる、またはディスク内にMP3/WMA形式以外のファイルが含まれている。

CDを聞くと、近くのテレビやラジオに雑音が入る。

- 本機をテレビやラジオからできるだけ離す。

USB機器

再生が始まらない。

- ➔ 「USB機器を取り外すには」(23ページ)の手順に従ってUSB機器を抜く。本機の電源を入れ直し、USB機器を差し込み直す。
- 本体用電池が消耗している。
 - ➔ すべて新しいものと交換する。または電源コードを接続する。

USB機器が本機に認識されない。

- ➔ 本機の電源を切って電源を入れ直してからUSB機器を差し込み直す。

USB機器が正常に動作しない。

- お使いのUSB機器が対応しているか確認する(95ページ)。非対応のUSB機器を使うと、次のような問題が発生するおそれがあります。
 - USB機器が本機に認識されない。
 - ファイル名(曲名)やフォルダ名(アルバム名)が表示窓に表示されない。
 - 再生が始まらない。
 - 音飛びする。
 - ノイズが混じる。
 - 音がひずむ。

「USBデバイスの過電流が検出されました」と表示されて、本機の電源が自動的に切れる。

- USB機器から過電流が流れている。
 - ➔ USB端子からUSB機器を抜く。本機の電源を入れ直し、USB機器を差し込み直す。電源を入れ直した後も表示されているときは、ソニーの相談窓口にご連絡ください。

音が出ない。

- USB機器が正しく接続されていない。
 - ➔ 本機の電源を切ってからUSB機器を差し込み直し、もう一度本機の電源を入れる。

USB機器をUSB端子に差し込めない。

- コネクタが逆さになっている。
 - ➔ コネクタを正しい向きにして差し込む。

「読み込み中」と表示されたまま、再生が始まるまで時間がかかる。

- 次のような場合には読み込みに時間がかかります。
 - USB機器に記録されているファイルやフォルダの数が多し。
 - ファイル構成が複雑になっている。
 - メモリーがほぼ一杯になっている。
 - 内部メモリーが断片化している。このような問題を回避するために、次のような使いかたをおすすめします。
 - ➔ USB機器内の総フォルダ数を100以下にする。
 - ➔ 各フォルダ内の総ファイル数を100以下にする。

表示窓に情報が正しく表示されない。

- 録音データそのものが破損している可能性があります。データを新たに作り直してください。

録音できない(「USBデバイスに空きがありません」と表示される)。

- USB機器の空き容量がない。
 - ➔ 不要なデータを削除する。

録音できない(「USBデバイスに録音できませんでした」と表示される)。

- 録音元データそのものが破損している可能性があります。データを新たに作り直してください。
- オーディオファイルのフォーマットが適切でない。
 - ➔ 対応するフォーマットを確認する(98ページ)。

ノイズ・音飛びが発生する。

音がひずむ。

- ➔ 「USB機器を取り外すには」(23ページ)の手順に従ってUSB機器を抜く。本機の電源を入れ直し、USB機器を差し込み直す。
- 本機の電源を入れ直し、USB機器を差し込み直す。
- 録音データそのものにノイズやひずみの原因が混入している可能性があります。ノイズは、エンコードの過程で混入する場合があります。このようなときは、データを新たに作り直してください。

- 音量が大きすぎる。
→ 音量を調節する。

再生が最初から始まらない。

- 設定ボタンを押して「再生モード」を選択し、「通常再生」に設定する(79ページ)。

MP3/WMA/AACファイルを再生できない

- 本機が対応するファイルシステム*でフォーマットされていない。
 - オーディオファイルの拡張子が適切でない。本機が対応するオーディオファイルのフォーマットは、次のとおりです。
 - MP3：拡張子「.mp3」
 - WMA：拡張子「.wma」
 - AAC：拡張子「.m4a」「.mp4」「3gp」
 - オーディオファイルがMP3、WMA、AAC以外のフォーマットで作成された。
 - USB機器がパーティション分割されている。1つめのパーティションに記録されているファイルのみ再生できます。
 - MP3 PRO形式で作成されているオーディオファイルは、本機では再生できません。
 - WMAファイルが、WMA DRM/WMA Lossless/WMA PRO形式で作成されている。本機は、これらの形式に対応していません。
 - 音声以外を含むAACファイル、複数の音声トラックを含むAACファイルは本機では再生できません。
 - 本機が認識可能な最大階層(フォルダレベル)を超えている(8階層まで認識可能)。
 - USB機器に記録されているフォルダ数が256を超えている。
 - フォルダあたりのファイル数が999を超えている。
 - ファイル総数が5,000を超えている。
 - パスワードでプロテクトされたファイル、暗号化によって保護されたファイルは再生できません。
- * 本機が対応するファイルシステムは、「FAT16」と「FAT32」のみです。USB機器によっては、「exFAT」などほかのFAT形式でフォーマットされている場合があります。その場合には、パソコンを使って「FAT16」または「FAT32」形式にフォーマットし直す必要があります。詳しくは、USB機器に付属の取扱説明書で確認するか、USB機器のお買い上げ店、またはメーカーにご相談ください。

SDカード

再生が始まらない。

- 表示窓に「SDを抜かないでください」と表示されていないことを確認してから、SDカードを取り出す。本機の電源を入れ直し、SDカードを入れ直す。
- 本体用電池が消耗している。
→ すべて新しいものと交換する。または電源コードを接続する。

SDカードが本機に認識されない。

- SDカードを取り出し、入れ直す。
- お使いのSDカードが対応しているか確認する(96ページ)。非対応のSDカードを使うと、次のような問題が発生するおそれがあります。
 - ファイル名(曲名)やフォルダ名(アルバム名)が表示窓に表示されない。
 - 再生が始まらない。
 - 音飛びする。
 - ノイズが混じる。
 - 音がひずむ。

「読み込み中」と表示されたまま、再生が始まるまで時間がかかる。

- 次のような場合には読み込みに時間がかかります。
 - SDカードに記録されているファイルやフォルダの数が多。
 - ファイル構成が複雑になっている。
 - メモリーがほぼ一杯になっている。
 - 内部メモリーが断片化している。
- このような問題を回避するために、次のような使いかたをおすすめします。
 - SDカード内の総フォルダ数を100以下にする。
 - 各フォルダ内の総ファイル数を100以下にする。

表示窓に情報が正しく表示されない。

- 録音データそのものが破損している可能性があります。データを新たに作り直してください。

録音できない(「SDカードに録音できませんでした」と表示される)。

- SDカードの空き容量がない。
 - ➔ 不要なデータを削除する。
 - ➔ 新しいSDカードを使用する。

録音できない(「SDカードが書き込み禁止です」と表示される)。

- SDカードが書き込み禁止となっている。
 - ➔ SDカード上のスイッチを解除方向へスライドさせる(97ページ)。

音が出ない。

ノイズ・音飛びが発生する。

音がはずむ。

- SDカードが本機にしっかり挿入されているか確認する。
- 本機の電源を入れ直し、SDカードを入れ直す。
- 録音データそのものにノイズやはずみの原因が混入している可能性があります。ノイズは、エンコードの過程で混入する場合があります。このようなときは、データを新たに作り直してください。
- 音量が大きすぎる。
 - ➔ 音量を調節する。

再生が最初から始まらない。

- ➔ 設定ボタンを押して「再生モード」を選択し、「通常再生」に設定する(79ページ)。

録音停止の操作後に、表示窓に「SDを抜かないでください」と表示されている。

- データの書き込みが完全に終了していないため、表示が消えるまで待つ。

MP3/WMA/AACファイルを再生できない

- 本機が対応するファイルシステム*でSDカードがフォーマットされていない。
- オーディオファイルの拡張子が適切でない。本機が対応するオーディオファイルのフォーマットは、次のとおりです。
 - ー MP3：拡張子「.mp3」
 - ー WMA：拡張子「.wma」
 - ー AAC：拡張子「.m4a」「.mp4」「3gp」
- オーディオファイルがMP3、WMA、AAC以外のフォーマットで作成された。

- MP3 PRO形式で作成されているオーディオファイルは、本機では再生できません。
- WMAファイルが、WMA DRM/WMA Lossless/WMA PRO形式で作成されている。本機は、これらの形式に対応していません。
- 著作権保護付きのAACファイル、AAC Lossless形式のAACファイルは本機では再生できません。
- 音声以外を含むAACファイル、複数の音声トラックを含むAACファイルは本機では再生できません。
- 本機が認識可能な最大階層(フォルダレベル)を超えている(8階層まで認識可能)。
- SDカードに記録されているフォルダ数が256を超えている。
- フォルダあたりのファイル数が999を超えている。
- ファイル総数が5,000を超えている。
- パスワードでプロテクトされたファイル、暗号化によって保護されたファイルは再生できません。
- * 本機が対応するファイルシステムは、「FAT16」と「FAT32」のみです。SDカードによっては、ほかのFAT形式でフォーマットされている場合があります。その場合には、パソコンを使って「FAT16」または「FAT32」形式にフォーマットし直す必要があります。詳しくは、SDカードに付属の取扱説明書で確認するか、SDカードのお買い上げ店、またはメーカーにご相談ください。

BLUETOOTH機器

再生が始まらない。

- 本体用電池が消耗している。
→ すべて新しいものと交換する。または電源コードを接続する。

音が出ない。

- 本機とスマートフォンまたはBLUETOOTH機器の距離が離れすぎているか、無線LANや他の2.4 GHz無線機器や電子レンジなどの影響を受けていないか確認する。
- 本機とスマートフォンまたはBLUETOOTH機器が正しく接続されているか確認する。
- 本機とスマートフォンまたはBLUETOOTH機器をもう一度ペアリングする(36ページ)。
- 金属物の近くや金属製のラックの上で操作すると、金属が無線通信に影響し、操作できない場合があります。
→ 金属物の近くや金属製のラックの上を避けて使用する。
- 本機とスマートフォンまたはBLUETOOTH機器の電源が入っていることを確認する。

音が途切れたり、通信距離が短い。

- 無線LANやほかのBLUETOOTH機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れて使用する。
- 本機とスマートフォンまたはBLUETOOTH機器との間に障害物がある場合は、障害物を避けるか取り除く。
- 本機とスマートフォンまたはBLUETOOTH機器をできるだけ近づける。
- 本機の位置を変える。
- スマートフォンまたはBLUETOOTH機器を使う位置を変える。

音が割れる。

- 音量が大きすぎる。
→ 接続しているスマートフォンまたはBLUETOOTH機器の音量を調節する。

BLUETOOTH接続ができない。

- 接続する機器により、接続が完了するまで時間がかかることがあります。
- ペアリングが失敗したか、完了していない。
→ 本機とスマートフォンまたはBLUETOOTH機器をもう一度ペアリングする(36ページ)。
- お使いのスマートフォン、BLUETOOTH機器が本機に対応しているか確認する(95ページ)。

ペアリングできない。

- 接続する機器のBLUETOOTH機能をオンにする。
- 本機とスマートフォンまたはBLUETOOTH機器を近づける。
- お使いのスマートフォンまたはBLUETOOTH機器から本機の登録を削除し、もう一度ペアリングし直す。
- お使いのスマートフォン、BLUETOOTH機器が本機に対応しているか確認する(95ページ)。

「NFC簡単接続」で接続できない。

- お使いのスマートフォンが対応機種か確認する(95ページ)。
- スマートフォンが反応するまで本機のNマークに近づけたままにして、反応しない場合はゆっくり前後左右に動かす。
- スマートフォンにケースを付けている場合は、ケースをはずす。
- スマートフォンのNFC機能がオンになっているか確認する。
- NFCの受信感度は、お使いのスマートフォンによって異なるため、接続に何度も失敗する場合は、スマートフォンのお手元操作で接続/切断する。

ラジオ

ラジオが受信できない。

- 本体用電池が消耗している。
 - ➔ すべて新しいものと交換する。または電源コードを接続する。
- 正しい地域を選んでいるか。
 - ➔ 「地域設定」で現在ラジオを使っている地域を設定する(81ページ)。
- 置き場所を変えてみる。
- アンテナの向きを変えてみる。

FMラジオが受信できない。

- FMアンテナが引き出されていない。
 - ➔ FMアンテナを伸ばす(44ページ)。

ラジオ受信時、音が小さい、または音質がよくない。

- 建物の中では電波が弱いので、なるべく窓際でお聞きください。
- テレビから離す。

FMラジオ受信時、テレビの画像が乱れる。

- 室内アンテナを使用しているテレビの近くでFMラジオを受信している場合は、テレビから離す。

ワイドFMが受信できない。

- ワイドFMの受信可能範囲はAMラジオよりも狭いため、AMラジオを受信可能な地域でも、ワイドFMの電波が届かない場合があります。

聞きたい放送局が受信できない。

- 正しい登録局番号を選んでいるか。
 - ➔ 正しい放送局の登録局番号を選ぶ。
- 正しい地域を選んでいるか。
 - ➔ 「地域設定」で現在ラジオを使っている地域を設定する(81ページ)。

録音した音声に雑音が入る。

- 録音中に、本機をこすってしまうなど、雑音が生じた。
- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入る場合があります。

タイマー機能

アラームが働かない。

- 時計を正しい時刻に合わせる(75ページ)。
- 電源コードで使用中、停電があった。
- (●)が表示されていることを確認する。
- 再生できないファイルを音源に指定した。

予約録音が動作しない。

- 時計を正しい時刻に合わせる(75ページ)。
- 予約録音の開始時刻に電源が入っていないときは、録音中の表示画面にはなりませんが、録音は行われています。

リモコン

リモコンで操作ができない。

- リモコンと本体の間の障害物を取り除く。
- 本体に近づいて操作する。
- リモコン受光部に向けて操作を行う。(「各部のなまえ」の「リモコン受光部」(102ページ)をご覧ください。)
- リモコンの電池が消耗していたら、新しい電池と交換する(9ページ)。
- リモコン受光部に強い光(直射日光や高周波点灯の蛍光灯など)を当てない。

上記以外の症状で正常に動作しないときは、電源コードを抜き、時計用電池を入れ直してから、電源コードを差し込んでください(10ページ)。症状が改善する場合があります。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご連絡ください。

使用上のご注意

設置時のご注意

- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のスピーカーのそばに置かないでください。磁気に変化して不具合が起きることがあります。
 - ー時計
 - ークレジットカードなどの磁気カード
 - ーカセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
 また、本機をテレビの近くには置かないでください。テレビの画像が乱れることがあります。
- 本機は防水仕様ではありません。特にキッチンなどの水場や、雨や雪、湿度の多い場所で使用するときは、水がかからないようご注意ください。
- 本機の上に重いものを置かないでください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に本機を設置すると、変色、染みなどが残ることがあります。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- SDカードスロットには、液体・金属・燃えやすいものなど、SDカード以外のものは入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。
- 本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります(結露)。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

本機のお手入れのしかた

- 本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

温度上昇について

- 本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が発音されることがあります。

CDについて

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- CD-R/CD-RWについて
本機は、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R(レコーダブル)およびCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

* CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

- 再生可能なCDについて
本機では以下のCDが再生できます。
 - ー音楽用CD(CD-DA)
 - ーCD-DA/MP3/WMA(CD-R/CD-RW)
- 著作権保護機能付き音楽ディスクについて
本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。
- DualDiscについて
DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面(再生面)に触れないように持ちます。



- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間再生しないときは、ケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。

- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

SDカードの取り扱いかた

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらしたりしないでください。
- 以下のような場所での使用や保管はしないでください。
 - 炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中/直射日光のあたる場所/熱器具の近く
 - 湿気が多い場所や腐食性のある場所
- SDカードにケースが付属している場合、SDカードを携帯するときや保管するときは、付属のケースに入れてください。
- SDカードの端子部に手や金属で触れないでください。
- 小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz ~ 20,000 Hz +1/-2 dB

BLUETOOTH

通信方式	BLUETOOTH標準規格Ver. 2.1+EDR
出力	BLUETOOTH標準規格Power Class 2
最大通信距離	見通し距離約10 m*1
使用周波数帯域	2.4 GHz 帯 (2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz)
変調方式	FHSS
対応BLUETOOTHプロファイル*2	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)、AVRCP*3 (Audio Video Remote Control Profile)
対応コーデック*4	SBC*5
対応コンテンツ保護	SCMS-T方式
伝送帯域 (A2DP)	20 Hz ~ 20,000 Hz (44.1 kHz サンプリング時)

*1 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

*2 BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

*3 BLUETOOTH機器の仕様により機能が異なる場合があります。

*4 音声圧縮変換方式のこと

*5 Subband Codec の略

ラジオ部

受信周波数	FM: 76.0 MHz ~ 108.0 MHz AM: 531 kHz ~ 1,710 kHz
アンテナ	FM: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ (内蔵)

対応ファイルフォーマット

対応ビットレート	MP3 (MPEG-1 AUDIO Layer-3) : 32 kbps ~ 320 kbps, VBR WMA : 5 kbps ~ 384 kbps, VBR AAC (MPEG-4 AAC-LC)* : 16 kbps ~ 320 kbps, VBR
サンプリング周波数	MP3 (MPEG-1 AUDIO Layer-3) : 32/44.1/48 kHz WMA : 8/11.025/16/22.05/32/44.1/48 kHz AAC (MPEG-4 AAC-LC)* : 8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz

* AACはUSB機器およびSDカードのみ対応

共通部

スピーカー	フルレンジ : 8 cm、 コーン型6 Ω、2個
入力端子	音声入力(ステレオミニジャック) 1個 USBタイプA (Full-speed USB) SDカードスロット ヘッドホン(ステレオミニジャック) 1個 負荷インピーダンス : 16 Ω ~ 68 Ω
出力端子	2 W + 2 W (JEITA*/6 Ω) 本体用 : 家庭用電源 (AC100 V 50/60 Hz) 単2形乾電池6本使用 (DC9V) (別売)
実用最大出力電源	時計用 : 単3形乾電池3本使用 (DC 4.5 V) (別売)
消費電力	16 W 約0.9 W (電源オフ時) 約1.8 W (BLUETOOTHスタンバイ時)

電池持続時間*2	CD再生時 (JEITA*1) 約6時間 (音量25程度) USB機器再生時 約6時間 (負荷電流100mA時) 約1.5時間 (負荷電流500mA時) SDカード再生時 約4.5時間 (音量25程度) FM受信時 約8時間 (音量25程度) BLUETOOTH接続時 約8時間 (音量25程度)
最大外形寸法	約320 mm × 133 mm × 215 mm (幅 × 高さ × 奥行き) (最大突起部含む) (JEITA*1)
質量 (本体)	約2.2 kg (乾電池除く) 約2.7kg (乾電池含む)
付属品	電源コード (1) リモコン RM-CRS80 (1) リモコン用単4形乾電池 (2) 取扱説明書・保証書 (1) BLUETOOTH®接続ガイド (1) 周波数一覧表 (1)

*1 JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。

*2 ソニー単2形 (LR14) アルカリ乾電池使用時。周囲の温度や使用状況、電池のメーカーや種類により、上記の電池持続時間と異なることがあります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、この取扱説明書の全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものに著作物となるデータが含まれている場合、個人として楽しむなど私的使用の目的の他は、著作権法上、権利者に無断で使用することができません。著作権で守られたデータを録音したUSB機器、SDカード、データCDなどは、著作権法で規定された範囲内で使用してください。

商標について

- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- SD、SDHC、microSDおよびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLC. の商標です。
- Windows Media は米国および／またはその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
- 本機はMicrosoft Corporationの知的所有権により保護されています。Microsoftまたはその認可された子会社の許可なしにこの製品に関わる技術を使用、販売することは禁止されています。
- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- BLUETOOTH®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- Android™とGoogle Play™はGoogle Inc.の商標です。
- XperiaおよびXperia Tabletは、Sony Mobile Communications ABの商標です。

- その他、本書に記載されているシステム名、製品名、企業名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは省略している場合があります。

再生できるディスクについて

本機では、次のディスクを再生できます。

ディスクの種類	曲／ファイルのフォーマット	対応
CD、 CD-R/CD-RW*1*3	CD-DA*2	○
CD-R/CD-RW*1*3	MP3	○
	WMA	○
	AAC	×
DVD		×
BD (ブルーレイディスク)		×

○：対応しています。

×：対応していません。

*1 音楽CD (CD-DAフォーマット)の規格に準拠していない形式で記録されたCD-R/CD-RWディスク、ISO9660Level 1/Level 2またはJolietのフォーマットに準拠しないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。

*2 CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般の音楽CDに使用されている、音楽収録用の規格です。

*3 ファイナライズ処理が必要です。

ご注意

円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星型など)をしたディスクは再生できません。

本機で使用できる機器について

ウォークマン®

動作確認済み機種(2015年8月現在)

最新の対応機種については、下記ホームページの機種別サポートをご覧ください。

<http://www.sony.jp/support/radio/>

シリーズ	機種名
ZXシリーズ	NW-ZX1
	NW-ZX2
Fシリーズ	NW-F805/F806/F807
	NW-F805K/F806K
	NW-F805BT
	NW-F807/S
	NW-F885/F886/F887
Sシリーズ	NW-S14/S15/S14K/S15K
	NW-S774/S775
	NW-S774K/S775K
	NW-S774BT
	NW-S774/WI
Eシリーズ	NW-S774K/WI
	NW-S784/S785/S786
	NW-S785K/S786K
Mシリーズ	NW-E083
	NW-E083K
Wシリーズ	NW-M505
	NW-W273
	NW-W273S
	NW-W274S
Zシリーズ	NW-WH303
	NW-WS615
	NW-Z1050/Z1060/Z1070/ Z1070/W
Aシリーズ	NW-A16/A17
	NW-A865/A866/A867

ご注意

- 対応機種以外のウォークマン®は使用しないでください。対応機種以外の機種の動作は保証しておりません。
- ウォークマン®をフォーマットするときは、ウォークマン®本体の機能(メモリーの初期化機能)を使ってフォーマットしてください。他の方法でフォーマットした場合、本機からの録音が行えないなどの不具合が発生するおそれがあります。詳しくは、ウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。
- 本機はウォークマン®の動作のすべてを保証するものではありません。
- お使いのウォークマン®の機種によっては、本機の実操作に対する反応が遅れる場合があります。

USB機器

本機で使用できるUSB機器についての最新情報は、次のURLでご確認ください。

<http://www.sony.jp/support/radio/>

ご注意

- USB端子にiPhone/iPad/iPodをつないでも再生できません。iPhone/iPad/iPodを再生する場合は、BLUETOOTH接続を行ってください。
- x-アプリで転送した曲は、本機で再生できません。

USB機器に関するご注意

- USBハブを介さず、本機のUSB端子に直接USB機器を差し込んでください。
- USB機器によっては、USB機器で操作してから実際に本機が動くまで時間がかかる場合があります。
- USB機器のすべての機能の動作を保障するものではありません。
- 本機ではUSB機器を充電できません。

BLUETOOTH機器

本機で使用できるBLUETOOTH機器についての最新情報は、次のURLでご確認ください。

<http://www.sony.jp/support/radio/>

SDカードの使用について

使用できるSDカード

本機で使用できるSDカードは次のとおりです。

メーカー	種類	対応
ソニー 東芝 Panasonic SanDisk	SD* ¹	○
	SDHC* ²	○
	SDXC	×
	microSD* ^{1*3}	○
	microSDHC* ^{2*3}	○
	microSDXC	×

- ：対応しています。
×：対応していません。

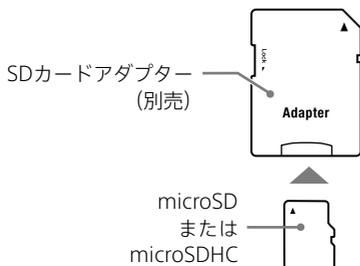
- *1 2GBまでのSDカードでのみ動作確認を行っています。
- *2 32GBまでのSDHCカードでのみ動作確認を行っています。なおSDHCカードは、Class4以上の製品のご使用をおすすめします。
- *3 SDカードアダプター（別売）に入れてから使用してください。

ご注意

- すべてのSDカードの接続と動作を保証するものではありません。
- マルチメディアカードは使用できません。

microSDまたはmicroSDHCを使うときは

下図のとおり、SDカードアダプターに入れてから使用してください。



ご注意

アダプターが装着されていない状態でSDカードスロットに挿入すると、取り出せなくなる場合があります。

録音可能時間の目安

録音フォーマットがMP3、ビットレートが128kbps（固定）の場合、SDカードへの録音可能時間は、次のとおりです。

容量	録音可能時間
2GB	約33時間
4GB	約66時間
8GB	約132時間
16GB	約264時間
32GB	約528時間

SDカードのフォルダ数・ファイル数を調べるには

「USB情報/SD情報」(79ページ)をご覧ください。

SDカードのデータをパソコンにコピーするには(バックアップ)

1 SDカードをパソコンに接続する。

パソコンのSDカードスロットに直接挿入するか、市販のSDカードリーダーなどを使用してパソコンに接続してください。

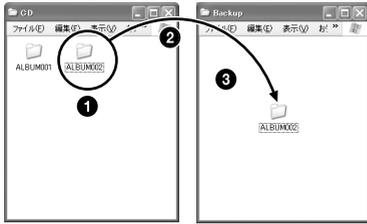
2 SDカードが正しく接続されているか確認する。

Windowsの場合：
「コンピューター」(または「マイコンピュータ」)を開き、SDカードが認識されているかを確認してください。

Mac OSの場合：
FinderにSDカードのドライブが表示されているかを確認してください。

3 SDカードのデータをパソコンにコピーする。

コピーしたいフォルダやファイルをパソコンのローカルディスクにドラッグアンドドロップします。



SDカード

パソコン

- ① コピーしたいフォルダをクリックしたまま、
- ② 保存先まで移動(ドラッグ)して、
- ③ はなす(ドロップ)

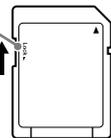
4 SDカードをパソコンから取り出す。

パソコンから取り出す方法については、お使いのSDカードリーダーまたはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- SDカードを本機のSDカードスロットに挿入するときは、正しい向きで挿入してください。
- SDカードを挿入するときは、無理に押し込まないでください。無理に押し込むと、SDカードが破損したり、本機が故障するおそれがあります。
- SDカード上の大切なデータはバックアップすることをおすすめします。
- SDカードによっては、「読み込み中」のメッセージが表示されるまで、しばらく時間がかかることがあります。
- 本機はSDカードの8ビットパラレルデータ転送には対応していません。
- ROMタイプのSDカード、誤消去防止、書き込み禁止のSDカードへは、録音できません。
SDカードの書き込み禁止は、SDカード上のスイッチを矢印方向へスライドさせることで解除することができます。

書き込み禁止
スイッチ



- 以下の場合、データが破損するおそれがあります。
 - 録音/再生中にSDカードを取り出した場合
 - 読み込み中、書き込み中にSDカードを取り出したり、機器の電源を切った場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- お客様の記録したデータの破損(消滅)については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 当社は、エンコードソフトウェアや書き込み用ソフトウェアのすべてを保証するものではありません。作成したファイルが本機での再生に適さない場合、ノイズが再生される、再生が途切れる、まったく再生されないなど、不具合が発生するおそれがあります。
- SDカード上のフォルダ数、ファイル数が以下のケースに該当する場合は、本機では再生できません。本機またはパソコンなどを使って不要なフォルダやファイルを削除してください。また、不要なフォルダやファイルは保存しないでください。
 - フォルダ数が256を超えた場合。
 - フォルダあたりのファイル数が999を超えた場合。
 - ファイル総数が5,000を超えた場合。
 上記の上限は、SDカードのファイル構造の状態によっても異なります。
- データの書き込み速度が遅いSDカードを使用すると、ラジオの録音などが途中で止まってしまう場合があります。

再生できるファイルについて

ファイルフォーマットについて

本機が対応するオーディオファイルのフォーマットは、次のとおりです。

- **MP3 (MPEG-1 AUDIO Layer-3)**
拡張子：.mp3
サンプリング周波数：32/44.1/48 kHz
ビットレート：32 kbps - 320 kbps, VBR
- **WMA**
拡張子：.wma
サンプリング周波数：
8/11.025/16/22.05/32/44.1/48 kHz
ビットレート：5 kbps - 384 kbps, VBR
- **AAC (MPEG-4 AAC-LC)**
(USB機器、SDカードのみ対応)
拡張子：.m4a/.mp4/.3gp
サンプリング周波数：8/11.025/12/16/
22.05/24/32/44.1/48 kHz
ビットレート：16 kbps - 320 kbps, VBR

ご注意

- 本機が対応するUSB機器、SDカードのファイルシステムは「FAT16」と「FAT32」のみです。ほかのFAT形式でフォーマットされたUSB機器、SDカードは再生できません。
- WMA DRM/WMA Lossless/WMA PRO形式で作成されているWMAファイルは、本機では再生できません。
- 著作権保護付きのAACファイル、AAC Lossless形式のAACファイルは本機では再生できません。
- 音声以外を含むAACファイル、複数の音声トラックを含むAACファイルは本機では再生できません。
- パスワードでプロテクトされたファイル、暗号化によって保護されたファイルは再生できません。
- 上記に該当する拡張子をファイル名が持っていますが、フォーマットが異なっている場合は、本機では再生できない、または再生するときに不具合が生じる場合があります。

フォルダ数・ファイル数の上限について

本機が再生対象として認識できるフォルダ数とファイル数は、次のとおりです。

- データCD (MP3/WMAディスク)の場合
最大フォルダ数：256
最大ファイル数：999
- USB機器、SDカードの場合
最大フォルダ数：256
最大ファイル数：5,000
フォルダあたりの最大ファイル数：999

BLUETOOTH機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること

周波数について

本機は2.4000 GHzから2.4835 GHzの周波数で使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書の105ページをご覧ください。

2.4 FH1

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

BLUETOOTH無線技術について

BLUETOOTH無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m程度までの距離で通信を行うことができます。必要に応じて2つの機器をつなげて使うのが一般的な使いかたですが、1つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。BLUETOOTH標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

BLUETOOTH機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記のBLUETOOTHバージョンとプロファイルに対応しています。

対応BLUETOOTHバージョン：

BLUETOOTH標準規格Ver. 2.1+EDR準拠

対応BLUETOOTHプロファイル：

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) :
高音質な音楽コンテンツを送受信する。
- AVRCP (Audio Video Remote Control Profile) :
音量の大小や再生、一時停止、停止などAV機器を操作する。

通信有効範囲

見通し距離で約10 m以内で使用してください。以下の状況においては、通信有効範囲が短くなる場合があります。

- BLUETOOTH接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANが構築されている場所
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他電磁波が発生している場所

他機器からの影響

BLUETOOTH機器と無線LAN (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯 (2.4 GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本機とBLUETOOTH機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
- 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

他機器への影響

BLUETOOTH機器が発する電磁波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。

- 病院内/ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

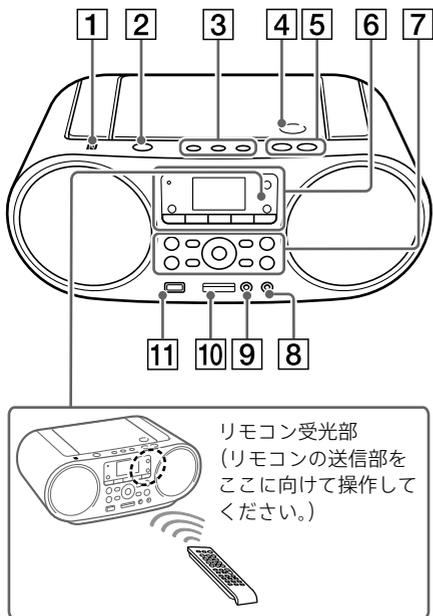
ご注意

- BLUETOOTH機能を使うには、相手側BLUETOOTH機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。
ただし、同じプロファイルに対応していても、BLUETOOTH機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- BLUETOOTH無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。
- 本機は、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。BLUETOOTH無線通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIGの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、BLUETOOTH標準規格に適合していても、BLUETOOTH機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

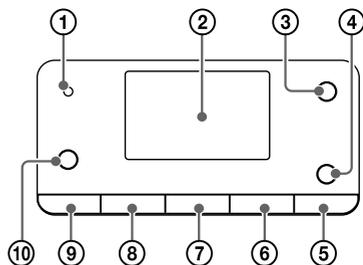
各部のなまえ

本体

正面

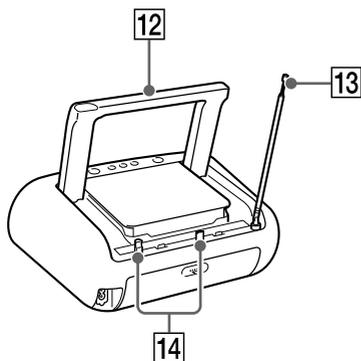


- ① Nマーク
- ② 電源ボタン
- ③ お気に入りラジオ局ボタン(登録:長押し)
- ④ CDふた(押す 開/閉▲)
- ⑤ 音量+*/-ボタン
- ⑥ 操作パネル(上部分)ほか

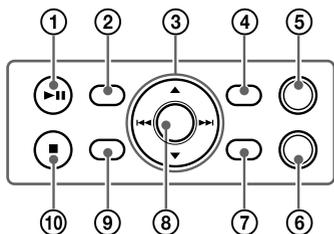


- ① 電源/電池ランプ
- ② 表示窓
- ③ 表示切換ボタン
- ④ MEGA BASSボタン
- ⑤ 音声入力ボタン
- ⑥ FM/AMボタン
- ⑦ BLUETOOTHボタン(ペアリング:長押し)
- ⑧ SD/USBボタン
- ⑨ CDボタン
- ⑩ おやすみタイマーボタン

背面



7 操作パネル(下部分)



- ① ▶|| (再生/一時停止) ボタン*
- ② 録音予約ボタン
- ③ メニュー操作ボタン
登録局選択-・◀◀ ボタン(曲戻し・早戻し)
登録局選択+・▶▶ ボタン(曲送り・早送り)
選局/□+・▲ボタン
選局/□-・▼ボタン
- ④ 削除ボタン

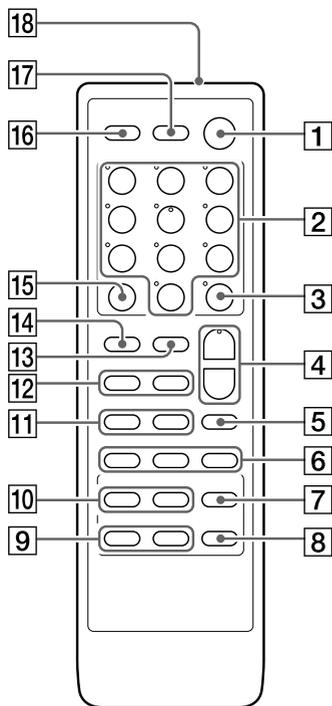
- ⑤ USB録音ボタン
- ⑥ SD録音ボタン
- ⑦ 設定ボタン
- ⑧ 決定ボタン
- ⑨ 戻るボタン
- ⑩ ■ (停止) ボタン

- ⑧ 音声入力端子
- ⑨ ♻️ (ヘッドホン)端子
- ⑩ SDカードスロット
- ⑪ ⚡️USB端子
- ⑫ ハンドル
- ⑬ FMアンテナ
- ⑭ アンテナ留め

* 本体の▶|| (CD再生/一時停止) ボタン、音量+ボタンには、凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

その他

リモコン



- ① 電源ボタン*¹
- ② 数字ボタン*²
- ③ +10ボタン
- ④ 音量+*²/-ボタン
- ⑤ FM/AMボタン
- ⑥ お気に入りラジオ局ボタン
- ⑦ 速度調整 標準ボタン
- ⑧ ⇄A-Bボタン
- ⑨ イージーサーチ-3秒ボタン
イージーサーチ+10秒ボタン
- ⑩ 速度調整 遅くボタン
速度調整 速くボタン
- ⑪ 選局/□-ボタン*³
選局/□+ボタン*³
- ⑫ 登録局選択-・◀◀ ボタン
(曲戻し・早戻し)
登録局選択+・▶▶ ボタン
(曲送り・早送り)
- ⑬ ■ (停止) ボタン
- ⑭ ▶|| (再生/一時停止) ボタン
- ⑮ 決定ボタン

- 16 機能切換ボタン
ボタンを押すたびに次の順で切り換わります。



- 17 おやすみタイマーボタン

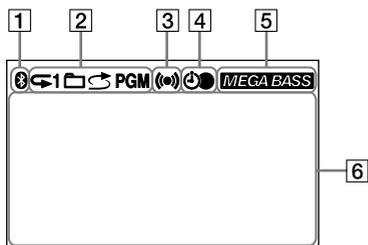
- 18 送信部

*1 本機を乾電池でお使いの場合は、リモコンで電源を入れることはできません。リモコンで電源を入れたいときは、電源コードを接続してください。

*2 リモコンの音量+ボタン、数字ボタンの5には凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

*3 本体の選局/□+・▲ボタン、選局/□-・▼ボタンと同様に、設定画面の項目選択などに対して▲▼の選択操作ができます。

表示窓



- 1 Bluetooth表示

- 2 再生方法表示

現在選択されている再生方法を表すアイコンが表示されます。

- 3 (●)(アラーム)表示

- 4 (●)(録音予約)表示

- 5 **MEGA BASS**(MEGA BASS)表示

- 6 テキスト情報表示

曲名やアルバム名、機能名などのテキスト情報や、進捗を表すプログレスバーなどを表示します。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店またはソニーの相談窓口(下記)にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

製品登録のおすすめ

ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

◆ パソコン・スマートフォンから
<http://www.sony.co.jp/radio-regi/>



◀ 二次元コードで
スマートフォンからアクセス

製品のご登録についてのお問い合わせ

ソニーマーケティング(株)

My Sony Club お客様窓口

電話：フリーダイヤル 0120-735-106

携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9639

受付時間：月～金 9:00 ～ 18:00

土日祝 9:00 ～ 17:00

型名：ZS-RS80BT

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………… 0120-333-020

携帯電話・PHS・一部のIP電話・050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル…………… 0120-222-330

携帯電話・PHS・一部のIP電話・050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に

➡ 「304」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

索引

ア行

頭出し

CD 17

SDカード 26

USB機器 22

アラーム 51、69

アンテナ 43

イージーサーチ機能 34

お気に入りラジオ局ボタン 47

お手入れ

CD 92

本体 91

おやすみタイマー 50

音声入力端子 48

カ行

画面

明るさを調節する 75

コントラストを調節する 77

再生画面 16

繰り返し聞く 29

語学学習 34

サ行

再生する

BLUETOOTH機器 40

CD 15

SDカード 25

USB機器 20

いろいろな再生方法 29

外部機器 48

再生モード 29

フォルダ 31

削除する

SDカードの曲 70、80

USB機器の曲 70、80

全削除(SDカード) 80

全削除(USB機器) 80

登録局(ラジオ) 82

プログラム 33

録音予約 68

自動時刻補正 76

シャッフル再生 30

初期化する 78

接続する

BLUETOOTH機器 36

外部機器 48

電源コード 10

設定する

アラーム 51

おやすみタイマー 50

設定メニュー 74

地域設定 12

時計 13

録音予約 66

タ行

タイマー

アラーム 51

おやすみタイマー 50

地域設定 12、81

データCD 16、19

デジタルピッチコントロール機能 34

電源

接続する 10

電源を入れる・切る 11

電池

時計用 9

本体用 11

リモコン用 9

登録局(ラジオ)

削除する 82

選択する 42

時計

自動時刻補正 76

設定する 13、75

時計用電池

電池残量を調べる 77

電池を入れる 9

ナ行

日時を表示する 14、76

ハ行

早戻し・早送り

CD 17

SDカード 26

USB機器 22

表示窓

明るさを調節する 75

各表示の説明 104

曲情報を表示する 18、22、27

コントラストを調節する 77

ファイル 19、24、28、71、98

フォルダ 19、24、28、71、98

フォルダ中再生 31

- プログラム再生 31
- ペアリング 36
- ヘッドホン端子 49、103
- 本体各部のなまえと働き 102

ヤ行

- 予約録音 66

ラ行

ラジオ

- アンテナを調節する 43
- お気に入りラジオ局ボタン 47
- 聞く 42、45
- 自動登録 46
- 地域設定 12、81
- 放送局を登録する 46、81

- 予約録音 66

リピート再生 29

リモコン

- 電池 9
- ボタン名と働き 103

録音する

- CD 55、58
- SDカード 54、58、63
- USB機器 54、55、62
- 誤消去防止 97
- 予約録音 66
- ラジオ 62、63、66

ワ行

- ワイドFM 48

A-Z

- A-Bリピート機能 35

BLUETOOTH機器

- NFC簡単接続 37
- 使用できるBLUETOOTH機器 95
- スタンバイ 39
- 接続する 36
- 接続履歴削除 41
- ペアリングする 36

CD

- 再生できるディスク 94
- データCD 16、19

- FM補完放送 48

- FMモード 82

- MEGA BASS 16

- MP3 19、54、98

SDカード

- 曲を削除する 70、80
- 使用できるSDカード 96
- フォルダ数・ファイル数を表示する 79
- 録音可能時間 61、79、96

USB機器

- 曲を削除する 70、80
- 使用できるUSB機器 95
- フォルダ数・ファイル数を表示する 79
- 録音可能時間 58、79

- WMA 19、54、98

保証書

持込修理

品名	パーソナルオーディオシステム
型名	ZS-RS80BT
お買上げ日	平成・西暦 年 月 日

本書は、本書記載内容(下記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。

ソニー特約店

お問合せ先：修理相談窓口
 フリーダイヤル：0120-222-330
 携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、050-3754-9599
 ホームページ：<http://www.sony.jp/support/>
 ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から 1年
お客様住所 お名前	電話 - - 様

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(出張修理、持込修理、引取修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書(再発行しませんので、大切に保管してください)の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1)お買上げのお店、(2)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理となる場合、出張費用(実費)を申し受けます。

※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。
3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
 (1)本書のご提示がない場合(2)本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合(3)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合(4)使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷(5)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷(6)お買上げ後の移送、輸送、落下などによる故障・損傷(7)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷(8)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷(9)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換
4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。
6. 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

*本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

*保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 T02-4

ソニーの相談窓口
 については、105ページ
 をご覧ください。

©2015 Sony Corporation
 Printed in China



* 4 5 7 5 8 9 2 0 4 *

(1)